
会 告 ・ 通 知

定 時 社 員 総 会 開 催 の お 知 ら せ

下記により5月26日(土)に本会の定時社員総会を開催致します。

記

- 日 時 平成24年5月26日(土)午後2時から
場 所 機械振興会館地下2階ホール(東京都港区芝公園3-5-8)
議 題 1. 平成23年度事業報告
2. 平成23年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)
3. 新任理事及び新任監事の選任
4. 平成24年度事業計画書及び収支予算書

-----◇-----◇-----◇-----◇-----

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側MENU上から3番目会告ページ入)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

◇定時社員総会開催のお知らせ	1
◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 5 月 10 日～6 月 1 日）	3
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	35
◇2012 年ソサイエティ大会開催案内	38
◇平成 24 年度春季先端オープン講座開講——御案内と受講者募集——	39
◇支部大会	
・平成 24 年度電気関係学会東北支部連合大会	42
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部日帰り見学会 「第 3 回『でんきの礎』受賞先：琵琶湖疏水記念館と蹴上発電所」	43
・本会が協賛等のもの	43
◇国際会議	46
◇受賞候補者募集等	47
◇求人欄	48
◇お知らせ	
・平成 24 年度会費お払込みのお願い	50
・転勤・引越し及び学生員申請の届出について	50
・英文論文誌 B レターカテゴリ廃止について	50
・平成 24 年 5 月号及び 6 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	50
・「本会出版物に掲載された論文等の著作権の利用申請基準」の一部改正について	51
◇論文特集号原稿募集	
・ネットワーク制御システムの基礎理論と応用小特集号（英文論文誌 A）	52
・Special Section on Advances and Applications in Nonlinear Time Series Methods（英文論文誌 NOLTA）	52
・フォーマルアプローチ小特集号（英文論文誌 D）	53
◇論文特集号論文募集カレンダー	54
◇IEICE Communications Express（ComEX）創刊のお知らせ	56
♡複製される方へ	1
♡各種証明，閲覧の手数料について	42
♡新刊案内	
・本会発行図書	
[Excel で学ぶ組込みシステム要素技術]	37
[光波工学の基礎]	45
・現代電子情報通信選書「知識の森」シリーズ	
[感覚・知覚・認知の基礎]	46
[医療情報システム]	49
♡総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	50

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 5 月 10 日～6 月 1 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
技 術 と 社 会 ・ 倫 理	16 日(水)	10 : 00～17 : 00	国立情報学研究所	5
情 報 セ キ ュ リ テ ィ	18 日(金)	13 : 00～17 : 25	機械振興会館	9
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ	18 日(金)	13 : 00～16 : 15	東海大学・高輪キャンパス	9
安 全 性	24 日(木)	13 : 00～17 : 00	機械振興会館	11
超 音 波	28 日(月)	13 : 30～15 : 50	機械振興会館	14
I T S	31 日(木)	14 : 00～16 : 30	横須賀リサーチパーク・YRP センター 1 番館	14
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	24 日(木)	13 : 00～16 : 30	岩手県立大学・滝沢キャンパス	17
衛 星 通 信	25 日(金)	9 : 30～15 : 00		
非 線 形 問 題	28 日(月)	13 : 30～17 : 10	秋田市民交流プラザ・市民活動センター	18
	29 日(火)	9 : 30～11 : 45		
応 用 音 響	24 日(木)	10 : 45～17 : 35	大阪大学・中之島センター	25
信 号 処 理 声	25 日(金)	10 : 00～16 : 50		
信 頼 性	25 日(金)	13 : 00～17 : 45	出雲グリーンホテルモーリス	28
情 報 理 論	25 日(金)	14 : 00～17 : 40	福岡県立飯塚研究開発センター	33
V L S I 設 計 技 術	30 日(水)	14 : 30～17 : 20	北九州国際会議場	34
	31 日(木)	9 : 30～11 : 45		

5 月休会の研究会；回路とシステム，システム数理と応用，思考と言語，スマートインフォメディアシステム

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	17 日(木)	13 : 30～18 : 05	国立情報学研究所	6
	18 日(金)	10 : 00～11 : 40		
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	17 日(木)	9 : 25～17 : 20	東京工業大学・蔵前会館	6
無 線 通 信 シ ス テ ム	18 日(金)	9 : 00～17 : 45		
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス	18 日(金)	10 : 40～16 : 10	防衛大学校	9
光 通 信 シ ス テ ム	18 日(金)	9 : 30～15 : 15	機械振興会館	10
ソ フ ト ウ ェ ア 無 線	24 日(木)	9 : 30～18 : 30	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	12
	25 日(金)	10 : 00～11 : 40		
電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術	25 日(金)	13 : 00～15 : 00	機械振興会館	13
環 境 電 磁 工 学	31 日(木)	13 : 00～17 : 00	首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス	15
	6 月 1 日(金)	9 : 30～11 : 45		
情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト	10 日(木)	9 : 00～18 : 05	秋田大学・手形キャンパス	15
	11 日(金)	9 : 00～17 : 40		
衛 星 通 信	24 日(木)	13 : 00～16 : 30	岩手県立大学・滝沢キャンパス	17
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	25 日(金)	9 : 30～15 : 00		
ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	17 日(木)	10 : 00～18 : 40	豊橋技術科学大学	19
ユ ビ キ タ ス ・ セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	18 日(金)	9 : 00～17 : 05		
光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	24 日(木)	14 : 00～18 : 35	飛騨・世界生活文化センター	23
	25 日(金)	9 : 00～12 : 35		
モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信	21 日(月)	9 : 00～17 : 45	沖縄県青年会館	29
	22 日(火)	9 : 00～16 : 20		
ア ン テ ナ ・ 伝 播	24 日(木)	10 : 30～17 : 40	アクロス福岡	32
	25 日(金)	10 : 30～11 : 45		

5 月休会の研究会；通信方式，コミュニケーションクオリティ，フォトニックネットワーク，インターネットアーキテクチャ

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
光エレクトロニクス	18日(金)	10:05~16:45	機械振興会館	11
有機エレクトロニクス	24日(木)	13:00~17:00	NTT・武蔵野開発センター	12
機構デバイス	25日(金)	13:30~16:40	東北文化学園大学	17
電子デバイス 電子部品・材料 シリコン材料・デバイス	17日(木) 18日(金)	13:00~17:10 9:00~16:30	豊橋技術科学大学・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	20
レーザ・量子エレクトロニクス	25日(金)	9:30~16:10	福井大学・文京キャンパス	24
マイクロ波	24日(木) 25日(金)	14:00~17:10 9:00~14:40	京都大学・生存圏研究所	26
電磁界理論	25日(金)	9:30~16:45	広島市立大学・講堂	28
5月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，集積回路，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトンクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	17日(木) 18日(金)	10:00~17:00 9:20~17:10	千葉工業大学	8
知能ソフトウェア工学	25日(金) 26日(土)	13:40~17:15 10:30~15:20	慶應義塾大学・理工学部・矢上キャンパス	13
ソフトウェアインタプライズモデリング	26日(土)	13:00~17:00	機械振興会館	14
画像認識・メディア理解 医用画像	17日(木) 18日(金)	10:00~17:15 9:30~16:45	名古屋工業大学	22
MEとバイオサイバネティクス	25日(金)	10:30~17:00	富山大学・工学部・五福キャンパス	24
音応用音処 信号音処	24日(木) 25日(金)	10:45~17:35 10:00~16:50	大阪大学・中之島センター	25
教育工学	26日(土)	10:25~15:40	近畿大学・東大阪キャンパス	27
ソフトウェアサイエンス	10日(木) 11日(金)	14:00~16:45 9:30~11:45	愛媛大学	29
コンピュータシヨウ	14日(月)	10:00~17:00	愛媛大学・総合情報メディアセンター	29
リコンフィギャラブルシステム	29日(火) 30日(水)	9:00~18:00 9:00~18:15	沖縄県男女共同参画センター	33
今後の予定；ニューロコンピューティング (35 ページ)				
5月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション，コンピュータシステム，人工知能と知識処理，データ工学，ディペンダブルコンピューティング，ニューロコンピューティング，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
マルチメディア・仮想環境基礎	14日(月) 15日(火)	13:00~17:20 10:20~16:10	東京工業大学・すずかけ台キャンパス	5
福祉情報工学	25日(金) 26日(土)	13:00~16:15 10:00~12:00	新潟大学・駅南キャンパス	18
ヒューマンコミュニケーション基礎 ヒューマン情報処理	22日(火) 23日(水)	10:00~17:30 10:00~16:30	沖縄産業支援センター	31

◇第二種研究会開催案内

光通信システム研究会 25周年記念シンポジウム	5月18日(金)	機械振興会館	35
第3回情報ネットワーク科学研究会	5月18日(金)	首都大学東京・秋葉原キャンパス	35

◇第二種研究会発表募集案内

第48回機能集積情報システム研究会	6月8日(金)	関西大学・千里山キャンパス	36
平成24年度第1回医療情報通信技術研究会	6月13日(水)	東京工業大学・大岡山キャンパス	36
第4回集積光デバイスと応用技術研究会	7月27日(金)	東京大学・本郷キャンパス・工学部	36
情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ	8月9日(木)，10日(金)	北海道大学	37

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 苗村 健 副委員長 柳田康幸・遠藤 守

幹事 川本一彦・橋本直己

幹事補佐 井手一郎・蔵田武志・吉田俊介

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔

幹事 井手一郎・蔵田武志 幹事補佐 酒田信親・杉本麻樹

日時 5月14日(月) 13:00~17:20

15日(火) 10:20~16:10

会場 東京工業大学すずかけ台キャンパス (http://www.titech.ac.jp/about/campus/s_illust.html?id=03)

議題 エンタテインメントのためのメディアとリアリティ

14日 EC—一般講演1

1. 大型施設が与える消極的な印象を改善するエンタテインメントシステムの開発 ○浦野 幸・斉藤哲也・星野准一(筑波大)

2. わっとボトル:運動と音声加工フィードバックによりストレスを解消するペットボトル型デバイス ○里井大輝・星野准一(筑波大)

3. 衣服の通信販売サイトにおける商品探索支援システム ○牟田将史・益子 宗・星野准一(筑波大)

MVE—一般講演1

MVE-4. スマートフォンと携帯型センサの連携による歩行リハビリ支援環境に関する検討 ○久原政彦・遠藤 守・伊藤 誠(中京大)

MVE-5. シームレスな館内ナビゲーションとAR展示を実現するユーザ測位システム ○大隈隆史・牧田孝嗣・石川智也・興梠正克(産総研)・Thomas Vincent・Laurence Nigay(UJF)・蔵田武志(産総研)

15日午前 MVE—萌芽・ショート発表セッション

MVE-1. 超指向性スピーカー群を用いた鑑賞支援システムの基礎検討 ○長尾 俊・苗村 健(東大)

MVE-2. ラジオ聴取時における感想共有の基礎検討 ○加藤由訓・苗村 健(東大)

MVE-3. ファンを用いた風覚提示における風向知覚特性に対する頭部刺激部位の影響 ○吉岡有哉・中野拓哉・柳田康幸(名城大)

MVE-4. 快適な飲酒を支援するコースター型飲酒検知デバイスの開発 ○植田将基・久原政彦・伊藤 誠・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也(中京大)

MVE-5. 非同期な複数距離カメラを用いた移動物体の3次元位置合わせ ○山崎 亮・川本一彦(千葉大)

15日午後 EC—一般講演1

6. 非接触給電を利用した玩具の提案 ○東藤絵美・吉池俊貴・馬場哲晃・串山久美子(首都大東京)

7. 簡易な手書き譜面を利用した演奏手法の検討と実装 ○馬場哲晃・菊川裕也・串山久美子(首都大東京)・青木 允(WITH コーポレーション)

8. 公共交通機関における立ち状態を動機付けするエンタテインメントシステムの実装と評価 ○石橋拓也・山本景子・倉本 到・辻野嘉宏(京都工繊大)

9. 高齢者に最適なりハビリ用ゲームをめざして—リハビリ用起立運動支援ゲームの開発及び検証より— ○松隈浩之(九大)・梶原治朗(長尾病院)

MVE—一般講演2

MVE-10. 複数の対話ロボットが連携する道案内システム

米澤 謙・鈴木 優・○上田博唯(京都産大)

MVE-11. 体験記録の閲覧を目的とした個人視点映像の加工—閲覧時の注目対象に応じた仮想カメラワーク生成—

○松井研太・近藤一晃・中村裕一(京大)

◆情報処理学会; EC 研究会連催, VR 学会; アート&エンターテインメント研究委員会協賛

◎14日研究会終了後, 研究室見学会を開催します。

☆MVE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月26日(火), 27日(水) 東大山上会館〔縮切済〕テーマ:人工現実感(VR学会共催, HI学会SIGVR及びITE-HI連催)

【問合先】

井手一郎(名大), 蔵田武志(産総研)

E-mail: mve-apply2012@mail.ieice.org

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 稲葉宏幸 副委員長 中西通雄・吉開範章

幹事 森下社一郎・鈴木一弘 幹事補佐 杉山典正・山肩大祐

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 中西道雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志

幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐

日時 5月16日(水) 10:00~17:00

会場 国立情報学研究所(千代田区一ツ橋2-1-2)

議題 知的財産, 一般

SITE-1. 知的遺産はどう生かすべきか—いくつかのノーベル講演の理解を試みた経験から— 得丸公明(システムエンジニア)

SITE-2. DNSトラフィックおよびDNSログの取り扱いに関する法的検討 ○加藤尚徳(総研大)・野川裕記(JAMINA)・岡田仁志(NII)

SITE-3. 私立大学情報セキュリティ担当者への情報セキュリティに関するアンケート調査について 小川 賢(神戸学院大)

SITE-4. IPTVサービスにおける著作権問題—デジタル映像コンテンツの流通促進に向けて— ○平松幸男・竹村茉莉(阪工大)

午後

5. [招待講演] クラウド時代のメカニズムデザイン 櫻井祐子(九大)

6. 企業におけるブランドの譲渡に関する問題点(第一報) 湯田恵美(筑波大)

7. 特許権の放棄パターンからみる製品開発能力 犬塚 篤(岡山大)

8. 商標の類否判定の自動化に関する研究 ○川地智子・平塚三好(東京理科大)

9. 法律情報の視覚的検索 金子宏直(東工大)

10. ウルグアイの個人情報保護法制—EUデータ保護指令上の第29条作業部会の十分性認定とその狙い—

○河井理穂子(埼玉工大)・板倉陽一郎(消費者庁/弁護士)

11. 第33回データ保護・プライバシーコミッショナー会議における「データ保護と大規模自然災害に関する決議」の意義

板倉陽一郎(消費者庁/弁護士)・○河井理穂子(埼玉工大)

◆情報処理学会; 電子化知的財産・社会基盤研究会連催

◎プログラムは変更になる可能性がございます。最新情報は SITE の Web ページを御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/site/>

☆SITE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月 北海道工大〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

森下壮一郎 (東大/電通大)

E-mail: smori@hi.mce.uec.ac.jp

◎SITE 研究会ホームページ <http://www.ieice.org/ess/site/>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 木村丈治 副委員長 漆谷重雄

幹事 萬代雅希・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 5月17日(木) 13:30~18:05

18日(金) 10:00~11:40

会場 国立情報学研究所(千代田区一ツ橋 2-1-2, 東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線:神保町, A8 出口, 東京メトロ東西線:竹橋, 1b 出口徒歩 3~5 分, <http://www.nii.ac.jp/access/青木道宏>)

議題 高度プロトコル・ネットワークング技術 (IP 及び高位レイヤルーティング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNW の利用技術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

17日

1. パースト廃棄がインタラクティブ通信の応答性能に与える影響の評価 ○小口直樹 (総研大/富士通研)・阿部俊二 (NII)
2. サーバ仮想化を用いたデータセンター省電力化に関する基礎検討 荒幡 亘・○萬代雅希 (上智大)
3. 複数サーバ動画ストリーミングシステムのための効率的な輻輳回避アルゴリズム 高橋英士 (NEC)

技術開発講演

4. 光空間通信用トランスポートプロトコル TCP-FSO の実環境評価 ○長谷川洋平・水越康博 (NEC)・高山佳久・豊嶋守生 (NICT)
5. スター型とメッシュ型のハイブリッド IP-VPN アーキテクチャ 大矢貴文 (NTT 西日本)
6. IPTV フォーラム準拠 VoD に適するキャッシュサーバ振り分け方式 ○渡辺智之・大矢貴文・北御門靖宏・久保田 敏 (NTT 西日本)
7. Development of browser-based NMS using NETCONF/WebSocket ○Tomoyuki Iijima (Hitachi)・Hiroyasu Kimura・Hidemitsu Higuchi (Alaxala)
8. Hadoop クラスタシステムの構築と運用 ○甲本 健・石田 創・趙 晩熙・鈴木亮平・石井健司 (NTT ドコモ)・土橋 昌 (NTT テラ)・遠藤 賢 (NTT ソフトウェア)・田中 聡 (NTT ドコモ)

チュートリアル講演

9. [チュートリアル講演] イーサネットの歴史と最近のホットトピック 瀬戸康一郎 (日立電線)

18日

1. コンテンツ指向型ネットワークにおける経路選択手法に関する一検討 真田亮平・○萬代雅希 (上智大)
 2. Prototype Implementation and Evaluation of ID/Locator-Split Protocol Stack ○Ved P. Kafle・Tomoji Tomuro・Hajime Tazaki・Hiroaki Harai (NICT)
 3. IP fast reroute の予備ルートを活用した負荷分散ルーティング方式 ○新井 裕・大木英司 (電通大)
 4. パケット処理遅延揺らぎとタイム粒度を考慮した遅延計測によるリンク利用率推定法 ○伊賀井清史・大木英司 (電通大)
- ◎17日研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(木), 22日(金) 山形大〔締切済〕 テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月19日(木), 20日(金) 岩手大〔未定〕 テーマ: 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散 MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 鈴木 光 副委員長 浅見 徹

幹事 村山純一・堀 賢治 幹事補佐 外山将司・田坂和之

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 大鐘武雄 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 原 嘉孝・浅井孝浩

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・二木康則

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

◎本研究会は IN 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 5月17日(木) 9:25~17:20
18日(金) 9:00~17:45

会場 東京工業大学蔵前会館(目黒区大岡山2-12-1, <http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html>)

議題 ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

17日午前 RCS1

RCS-1. LTE-Advanced 上りリンクにおける Cell Range Expansion を適用したヘテロジニアスネットワークに適した送信電力制御法の検討 ○森本彰人・三木信彦(NTTドコモ)・石井啓之(DOCOMO Innovations)・西川大祐(NTTドコモ)

RCS-2. リソース使用率の集計に基づく LTE フェムトセルの上り送信電力制御方法の提案 ○森田基樹・信清貴宏・濱辺孝二郎(NEC)

RCS-3. 複数基地局間協調送信制御におけるリファレンス信号干渉キャンセラの実験的検討 ○長手厚史・緒方大悟・藤井輝也(ソフトバンクモバイル)

RCS-4. System Level Performance Evaluation of Aggregated CQI to support CoMP Joint Transmission
Jing Li (PRDCC)・Tomofumi Takata (PMCRD)・Hui Tong (PRDCC)・Masayuki Hoshino・Akihiko Nishio (Panasonic)

RCS 招待講演

共通-5. [招待講演] 未来のための RCS の役割
中嶋信生(電通大)

17日午後 RCS2

RCS-6. LTE/Wi-Fi 搭載のスマートフォンとモバイルルータで構成されるヘテロジニアスネットワークを評価するためのシミュレーションテストベッドの構築 ○江森洋都・馬場寛之・入江真士・西浦升人・藤井義巳(構造研)

RCS-7. Development of Scalable MIMO Channel Sounder
○Minseok KIM・Yohei Konishi・YuYuan Chang・Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)

RCS-8. UHF 帯 RFID リーダシステムの試作検討(受信系)
(2) ○荒井雅行・鶴岡 勉(東京計器)

IN1

IN-9. ICT インフラ設備展開のためのエリア選択手法の一考察
岩下 基(千葉工大)

IN-10. ランダム効用理論に基づく確定的動作ルールを用いたシステム大域的秩序形成の自律分散制御技術 ○作元雄輔・会田雅樹(首都大東京)

IN-11. センサネットワークにおける低階数近似を用いた消失データ回復手法
松田崇弘(阪大)

IN 招待講演 1

共通-12. [招待講演] マルウェア感染を検知・制御するブラックリストシステムの設計
八木 毅(NTT)

共通-13. [招待講演] 仮想 NW 技術によるクラウド間連携のためのネットワーク制御
○上水流由香・波多浩昭(NTTコミュニケーションズ)

18日午前 RCS3

RCS-1. ブロック対角化 MU-MIMO システムにおけるユーザスケジューリングのためのフィードバック設計

○安藤生真・タン ザ カン・荒木純道(東工大)
RCS-2. ピーク電力を考慮したリソース割り当てにおける伝送速度を拡大する適切な CSI 制限法の検討

○田久 修(信州大)・榎田洋太郎(東京理科大)・笹森文仁・半田志郎(信州大)

RCS-3. スロットッドノンパルスシステント CSMA におけるフラクショナルスロット再送タイミング制御方式

○旦代智哉・鈴木 博・府川和彦・須山 聡(東工大)
RCS4

RCS-4. 適応型周波数オフセット選択を用いた AF リレー伝送方式の検討
○柴 孝幸・菊池直紀・稲森真美子・眞田幸俊(慶大)

RCS-5. 連続 OFDM 信号におけるタイミング検出方式の検討
○宮坂浩平・長橋崇晴(諏訪東京理科大)・野上昌雄・多田俊一(システクリサーチ)・大田健紘・松江英明(諏訪東京理科大)

RCS-6. 高速フェージング環境における信号配置点回転を加えたベクトル OFDM の性能解析
○韓 承鎬・橋本 猛(電通大)

RCS-7. 複数基地局と受信ビーム制御を用いた低速フェージング環境における下りリンク受信性能向上に関する一検討
○塚本 薫・加藤泰典・岡崎彰浩・福井範行・久保博嗣(三菱電機)

18日午後 RCS5

RCS-8. マルチユーザ MIMO 伝送におけるチャネルの2次統計量を用いた MMSE プリコーディング
○原田将如・府川和彦・鈴木 博・須山 聡(東工大)

RCS-9. 移動通信チャネルの2次統計量を用いるブロック対角化
○原田将如・府川和彦・鈴木 博・須山 聡(東工大)

RCS-10. 超高速ビットレート移動通信用 10 Gbps 8x8 MIMO-OFDM RF/BB 伝送実験系
○須山 聡・福田裕之・鈴木 博・府川和彦(東工大)

IN2

IN-11. リンク状況を考慮した TCP フローのデータ転送移行による省電力化のためのリンク利用時間の集約方式

川原憲治・古屋貴之・窪園晃一(九工大)・田村 瞳(福岡工大)・尾家祐二(九工大)

IN-12. トラヒック量及びバッファ使用率に基づく省電力パケットバッファの電力性能評価
○奥田兼三・阿多信吾(阪市大)・黒田泰斗・岩本 久・矢野祐二(ルネサス エレクトロニクス)・岡 育生(阪市大)

IN-13. A Proposal for improving the throughput of Wireless Multi-Hop Network
○Xinru Yao・Zilu Liang・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

IN-14. 端末密度の高い無線 LAN 環境における通信品質低下の改善に向けた検討
○石川圭也・妙中雄三・中山雅哉(東大)

IN 招待講演 2

共通-15. [招待講演] 遅延耐性ネットワークにおける勾配場を用いた経路制御における勾配形成方法
○小泉佑揮・金井秀行・大崎博之・今瀬 真(阪大)

共通-16. [招待講演] スマートコミュニティ市場におけるスマート NW の標準動向
福永 茂(OKI)

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(木), 22日(金) 函館市民会館[未定] テーマ:品質制御, 輻輳制御, 信頼性技術, IPTV, コンテンツネットワーク, ネットワークソフトウェア及び一般

7月19日(木), 20日(金) 北大[未定] テーマ:新世代・

次世代ネットワーク、ネットワークとシステムの仮想化、仮想化環境の管理・監視、オーバレイ、IPv6 ネットワーク、フォトニックネットワーク及び一般

8月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

村山純一 (NTT)

TEL [0422] 59-3949, FAX [0422] 59-5652

外山将司 (NTT)

TEL [0422] 59-4886, FAX [0422] 59-5652

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(木), 22日(金) 函館市中央図書館 [4月6日(金)] テーマ:初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7月19日(木), 20日(金) 岩手大 [未定] テーマ:有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバ, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

8月30日(木), 31日(金) 高知市 [未定] テーマ:移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

星野正幸 (パソニック)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 阿部匡伸 副委員長 若原俊彦

幹事 山元規晴・杵渕哲也 幹事補佐 小西宏志

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 杵渕哲也・山元規晴 幹事補佐 茂木 学

日時 5月17日(木) 10:00~17:00

18日(金) 9:20~17:10

会場 千葉工業大学 (変更の可能性あり) (習志野市津田沼2-17-1. JR 総武線:津田沼駅前南口. <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/index.html> 谷本茂明)

議題 グループウェアとネットワーク, ライフログ活用技術, オフィス情報システム, セキュリティ心理学とトラスト, 一般

17日午前 画像認証

1. 画像認証システムによる本人認証(1):登録画像の選択に影響を及ぼす要因の検討 ○高橋知世・北神慎司(名大)・宮代こずゑ・原田悦子(筑波大)・須藤 智(静岡大)

2. 画像認証システムによる本人認証(2):画像の種類及び再認のテスト反復効果 ○宮代こずゑ・原田悦子(筑波大)・北神慎司・高橋知世(名大)・須藤 智(静岡大)

災害における医療訓練と復興支援

3. 動的な傷病者情報を用いた災害医療訓練システムの提案

○高橋祐樹・安藤禎晃・岡田謙一(慶大)

4. 被災地における復興確認のための復興ウォッチャーの検討

○齊藤義仰・西岡 大・村山優子(岩手県立大)

17日午後 協調・共有システム

5. 方向を意識したフリック操作による情報送信機能を備えた協調検索ツールの構築 桑野元樹・森口友也・

○高田秀志(立命館大)

6. 留学生のための生活日本語共有システム ○吉野 孝・安 暁旭(和歌山大)

7. 関節リウマチ患者の日常生活情報共有システムの開発

○伊藤達明・武田季・藪内 勉・浦 哲也・篠原章夫・定方 徹・小林 稔(NTT)

LOIS-8. 電子メールにメモ機能を追加する手法についての提案 ○植田浩光・力宗幸男(兵庫県立大)

招待講演

9. [招待講演] プライバシーに関わる最近技術動向(仮)未定
10. [招待講演] トラストと安心の研究分野の動向

村山優子(岩手県立大)

18日午前 推薦システム

LOIS-1. 協調フィルタリングに基づく改良版授業推薦システムの構築と評価 ○蔭 再興・檜垣泰彦(千葉大)

LOIS-2. 複数アルゴリズムの評価検討を踏まえた映像コンテンツ推薦システムの設計と実装 ○片岡 明・木村篤信・大橋盛徳・中山 彰・深津信二・谷口行信・阿久津明人(NTT)

LOIS-3. 映像コンテンツ推薦システムのフィールド実験による客観評価 ○大橋盛徳・木村篤信・片岡 明・中山 彰・深津真二・谷口行信・阿久津明人・鈴木英夫(NTT)

LOIS-4. 映像コンテンツ推薦システムのフィールド実験による主観評価 ○木村篤信・深津真二・谷口行信(NTT)

招待講演

5. [招待講演] 情報セキュリティに関する最新標準化動向
中尾康二(KDDI)

18日午後 調査・報告(13:30~)

6. 知識のないユーザの情報セキュリティ技術の安心感に対する知識と経験の影響 ○西岡 大・藤原康宏・村山優子(岩手県立大)

7. インターネット利用の不安に関する日米比較—在日外国人へのグループインタビュー調査— ○山本太郎・植田広樹・高橋克巳(NTT)・小笠原盛浩(関西大)・関谷直也(東洋大)・小室広佐子(東京国際大)・中村 功(東洋大)・橋元良明(東大)

8. Workshop on Usable Security (USEC12) 参加報告
○金岡 晃・高橋健志(NICT)

ライフログと分析

9. 面型脈波センサ搭載マウスを用いた作業状態推定の検討
○千明 裕・前田篤彦・小林 稔(NTT)

10. ワールドカフェ型のダイアログにおけるターンテイキング構造と参加者の理解度の関係性の分析 ○根本啓一・高橋正道・林 直樹・堀田竜士(富士ゼロックス)

LOIS-11. ソーシャルグラフを利用したユーザ属性の推定によるTwitterからのブランド特徴分析 ○川中 翔・西田京介・倉島 健・星出高秀・藤村 考(NTT)

LOIS-12. ライフログサービスにおけるリスクマネジメントに関

する基本検討 ○谷本茂明・高橋 健 (千葉工大)・
関 良明 (NTT)・岩下 基 (千葉工大)・佐藤周行 (東大)・
金井 敦 (法政大)

◆情報処理学会；グループウェアとネットワークサービス研究会、情報セキュリティ心理学とトラスト研究会連催

☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月 東北〔未定〕テーマ：(仮) デジタルドキュメント，ライフログ活用技術，オフィス情報システム，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)
〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1
FAX [092] 606-0758
E-mail: nori@fit.ac.jp

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 鳥居直哉 副委員長 松本 勉・田中俊昭
幹事 中西 透・四方順司 幹事補佐 伊豆哲也
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

日時 5月18日 (金) 13:00~17:25

会場 機械振興会館地下3階研修2号室 (港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線：神谷町駅下車徒歩10分，JR：浜松町駅下車徒歩20分，都営地下鉄三田線：御成門駅・大江戸線：赤羽橋駅下車徒歩10分。 http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

1. Kolmogorov-Smirnov の片側検定を用いた Non-overlapping template matching test の改善案
○竹田裕一 (神奈川工科大)・藤井光昭・鎌倉稔成・渡邊則生 (中大)
2. 情報理論的安全な鍵共有の評価の不完全性について
広田 修 (玉川大)
3. Barreto-Naehrig 曲線上の楕円スカラー倍の高速なソフトウェア実装に関する一考察
○照屋唯紀・金山直樹・岡本栄司 (筑波大)
4. 奇標数素体上の 2^i 次原始多項式を構成するための一手法
○野上保之・高井悠輔 (岡山大)・小林茂樹 (長野高専)・杉村立夫 (信州大)・上原 聡 (北九州市大)
5. Construction of New Classes of Product-sum Type Public Key Cryptosystem, K (II) Σ IPKC, Constructed Based on the Maximum Length Code—A Possibility of Opening Up a New Field of Applications of Cryptosystem— Masao Kasahara (Kasahara Information and Culture Research Center)
6. 国際会議 SHARCS 2012 報告
○安田雅哉・伊豆哲也・下山武司・小暮 淳 (富士通研)
7. 国際会議 ASIACRYPT 2011 報告
國廣 昇 (東大)
8. [招待講演] Separating Short Structure-Preserving Signatures from Non-Interactive Assumptions
Masayuki Abe (NTT)
9. [招待講演] On the Joint Security of Encryption and Signature, Revisited
Kenneth Paterson (Univ. of London)・

第一種研究会開催案内

○Jacob Schuldt (AIST)・Martijn Stam (Univ. of Bristol)・Susan Thomson (Univ. of London)

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月 北海道工大〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中西 透 (岡山大)
TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255
E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事，幹事補佐宛)

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

日時 5月18日 (金) 13:00~16:15

会場 東海大学高輪キャンパス (港区高輪2-3-23. 東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線：白金高輪駅下車徒歩約8分。
http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/index.html TEL [03] 3441-1171 (代表) 山田光穂)

議題 イメージ・メディア・クオリティ一般

1. 視覚系の時間周波数特性を用いたイメージセンサの動画ノイズ評価手法
○藤井建行・鈴木将一・佐藤正章・齊藤新一郎 (ソニー)
2. エッジの強さを考慮したインペインティングを用いた超解像処理
○青嶋大地・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
3. クラスタ構造化された Web 画像群を用いた画質改善
○上田敦史・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
4. 動画フォーマットの量子化と符号構造に関する考察と提案
○杉山賢二・相良直哉・本土雄大 (成蹊大)
5. アンケートと行動分析による電子書籍と紙書籍の比較
○新川達矢・岩橋麻由・松山恵理・山田光穂 (東海大)
6. 高速撮像情報を用いた画像強調方式の検討
○菅井男也・片山泰志・浜本隆之 (東京理科大)

◎研究会終了後，施設見学会及び懇親会を予定しています。

☆IMQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月27日 (金) 名大 [5月20日 (日)] テーマ：視覚と IMQ 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

杉山賢二 (成蹊大)
E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一
幹事 若山俊夫・谷島正信 幹事補佐 富木淳史・灘井章嗣

日時 5月18日 (金) 10:40~16:10

会場 防衛大学校 (横須賀市走水1-10-20. 京浜急行：馬堀海岸駅下車，京急バス「防衛大学校」行き約6分 (徒歩ならば25

分). 防衛大入門の際, 対応者として「情報工学科 大内和夫先生」と書いて下さい. 念のため, 免許証等の身分証明書を持参して下さい. <http://www.mod.go.jp/nda/> TEL [046] 841-3810 (内線 3768) 大内和夫)

議題 リモートセンシング, EW 技術, 及び一般

1. 航空機搭載 HPRF レーダ向け低 S/N 目標の航跡抽出方式
○小幡 康・影目 聡・亀田洋志 (三菱電機)
2. アジマスアンビギュイティを抑圧する複数開口 SAR-MTI 方式とその性能評価
○諏訪 啓・若山俊夫 (三菱電機)
3. リニアアレイ受信型 3D Imaging LADAR の長距離・高分解能・リアルタイム 3D 撮像の実証
○小竹論季・亀山俊平・今城勝治・辻 秀伸・平井暁人・高林幹夫・平野嘉仁 (三菱電機)

午後

4. [特別講演] AOC JAPAN チャプターの歴史
風間茂穂 (総合電子)
5. 防衛科学技術として見た電子戦とそれを支えるエレクトロニクス技術
小林正明 (三菱電機)
6. GPS 地表反射波を用いたリモートセンシングにおける偏波情報を考慮した実験の評価
加藤竜太・○江川 光 (東大)・齋藤宏文・福田盛介 (JAXA)
7. Pi-SAR により観測された海面後方散乱の強度分布
○灘井章嗣・梅原俊彦・佐竹 誠・小林達治・上本純平・浦塚清峰 (NICT)
8. Three-Component Power Decomposition for Polarimetric SAR Data Based on Adaptive Volume Scattering Model
○Yi Cui・Yoshio Yamaguchi・Sang-Eun Park・Hirokazu Kobayashi・Gulab Singh (Niigata Univ.)
9. Polarimetric SAR Change Detection of Earthquake/Tsunami Disaster
○Sang-Eun Park・Yoshio Yamaguchi・Hirokazu Kobayashi (Niigata Univ.)

◆IEEE GRS, AOC Japan Chapter EW 研究会共催

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
6月28日(木), 29日(金) JAXA 筑波宇宙センター [締切済] テーマ: 宇宙応用シンポジウム

【問合先】

若山俊夫 (三菱電機)
TEL [0467] 41-2523, FAX [0467] 41-2419
E-mail: Wakayama.Toshio@ab.MitsubishiElectric.co.jp
谷島正信 (JAXA)
TEL [050] 3362-7573
E-mail: yajima.masanobu@jaxa.jp

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 尾中 寛 副委員長 石田 修
幹事 佐々木 隆・平野 章
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事
専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司
幹事 平野 章・斎藤恒聡

日時 5月18日(金) 9:30~15:15

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術, 非線形・偏波問題, コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光伝送システム設計・ツール, 一般 (OFC

報告)

OCS 単独セッション

1. 2次 PMD による偏波多重信号のクロストークとその超高速光伝送への影響

○廣岡俊彦・原子広大・関 鵬宇・中沢正隆 (東北大)

OCS/OPE 共通セッション (OFC 報告)

2. [招待講演] OFC2012 報告—超高速・大容量伝送関連—
安部淳一 (NEC)
3. [招待講演] OFC2012 報告—光ネットワーク関連—
大原拓也 (NTT)
4. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—アクセスシステム関連—
野田雅樹 (三菱電機)
5. [フェロー記念講演] パッシブ光ネットワークの研究開発—30年の研究を振り返って—
本島邦明 (三菱電機)

午後 OCS/OPE 共通セッション (OFC 報告)

6. [招待講演] OFC/NFOEC 2011 報告—光ファイバ関連—
土田幸寛 (古河電工)
7. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—パッシブモジュール/デバイス関連—
郷 隆司 (NTT)
8. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—アクティブデバイス・Si ハイブリッド (アクティブ・変調器)・アクティブモジュール—
中村 滋 (NEC)

◎議題 2~8 は OPE 研究会共催

◎14:15~15:15 に IEEE Photonics Society Distinguished Lecturer 講演会が開催されます。

◎引き続き 15:30 より, OCS 研究会 25 周年記念シンポジウムを開催します. 是非御参加下さい. お申し込みは以下のページより受付予定です (〆切 5/11).

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(木), 22日(金) 山形大 [締切済] テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月26日(木) ニューウェルシティ湯河原 [5月16日(水)] テーマ: 【光通信機器】 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用 LSI, 誤り訂正, 一般

8月30日(木), 31日(金) サンリフレ函館 [6月15日(金)] テーマ: 【光ファイバ伝送路】 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

佐々木 隆 (住友電工)
TEL [045] 853-7172, FAX [045] 851-1565

E-mail : ocscom@info.sei.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では、2007 年より「光通信システム研究会 奨励賞」及び「光通信システム研究会 論文賞」を設立しました。毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し、翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山内潤治 副委員長 清水健男

幹事 神徳正樹 幹事補佐 小川憲介・植之原裕行

5 月 26 日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 植之原裕行・小川憲介 幹事補佐 橋本俊和

日時 5 月 18 日 (金) 10:05~16:45

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題 光波ネットワーク・光アクセスに向けた光波デバイス、光集積回路、一般 (OFC 報告)

OPE/OCS 共通セッション (OFC 報告)

1. [招待講演] OFC2012 報告—超高速・大容量伝送関連—
安部淳一 (NEC)
 2. [招待講演] OFC2012 報告—光ネットワーク関連—
大原拓也 (NTT)
 3. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—アクセスシステム関連—
野田雅樹 (三菱電機)
 4. [フェロー記念講演] パッシブ光ネットワークの研究開発—30 年の研究を振り返って—
本島邦明 (三菱電機)
- 午後 OPE/OCS 共通セッション (OFC 報告)
5. [招待講演] OFC/NFOEC 2011 報告—光ファイバ関連—
土田幸寛 (古河電工)
 6. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—パッシブモジュール/デバイス関連—
郷 隆司 (NTT)
 7. [招待講演] OFC/NFOEC 2012 報告—アクティブデバイス・Si ハイブリッド (アクティブ・変調器)・アクティブモジュール—
中村 滋 (NEC)

OPE 単独セッション (16:20~16:45)

8. 選択成長 InAs 量子ドットアレイ LED のスペクトル解析
○山内雅之・三枝知充・岩根優人・
吉川翔平・下村和彦 (上智大)

◎議題 1~7 は OCS 研究会共催

◎14:15~15:15 に IEEE Photonics Society Distinguished Lecturer 講演会が開催されます。また、15:35~16:20 に 2011 年度 OPE 学生賞表彰式を行います。

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 22 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: アクティブデバイスと集積化技術、一般 [材料デバイスサマーミーティング]

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北大通研 [6 月 15 日 (金)]
テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性、及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

神徳正樹 (NTT フォトニクス研究所)

第一種研究会開催案内

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-4066, FAX [046] 240-4301

E-mail : kotoku@aecl.ntt.co.jp

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail : kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 5 月 24 日 (木) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下 3 階 6 号室

議題 交通関係を主として

1. 航空交通管理における軌道ベース運用のための安全尺度—安全指標と INTEGRA における Propensity と Resilience—
長岡 栄 (電子航法研)
2. ドライバの覚醒度低下に伴う生体指標・運転行動・主観評価の変化と相互関係
○石川 諒・伊藤 誠・
稲垣敏之 (筑波大)
3. 鉄道の安全性に関する国際規格の状況 田代維史 (交通研)
4. 列車制御システムの設計仕様書の安全性確認手法の検討
岩田浩司 (鉄道総研)
5. Model Based Specification Validation for a Novel Railway Signalling System
○Guo Xie・Tomoya Kuroda・
Hiroshi Mochizuki・Sei Takahashi・
Hideo Nakamura (Nihon Univ.)

6. 全体討論

☆SSS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 26 日 (木) 機械振興会館 [5 月 15 日 (火)] テーマ: 産業安全を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

木村昌臣 (芝浦工大工学部情報工学科)

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail : masaomi@shibaura-it.ac.jp

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 5月24日(木) 13:00~17:00

会場 NTT 武蔵野開発センター (武蔵野市緑町 3-9-11, JR 中央線:三鷹駅北口よりバス 15分, <http://www.ntt.co.jp/islab/access/index.html> TEL [0422] 59-2280 中村二郎)

議題 有機材料, 作製・評価技術, 一般

- [招待講演] 有機・高分子薄膜の高次構造制御—分子をならべる, 分子をつなげる— 久保野敦史 (静岡大)
- 真空蒸着法によるイオン液体中有機単結晶の育成と FET 特性評価 ○武山洋子 (東工大)・小野新平 (電中研)・松本祐司 (東工大)
- イオン液体膜を介した ITO 基板上への板状ペンタセン薄膜の形成 ○松本祐司・萬徳真志・武山洋子 (東工大)
- 有機薄膜光電変換素子のための水分散有機半導体コロイドを用いた静電塗布 (ESD) 技術 ○青山哲也・高久英明・朱 正明 (理研)・松鷹 宏 (FLOX)・折井孝彰・山形 豊・田島右副 (理研)
- エレクトロスプレー堆積法による積層型有機 EL の製作 ○坂本哲夫・岡田崇臣・安斉秀晃 (工学院大)
- ナノミスト堆積 (NMD) 法を用いた有機薄膜の成膜と OLED への応用 ○菊池昭彦・入江崇之 (上智大)
- クロマトグラフィで分離した石炭ピッチを用いた有機 EL ○木村 翔・山岡美貴 (埼玉大)・浅見俊介 (中大)・福田武司・本多善太郎・鎌田憲彦 (埼玉大)・山下 誠 (中大)
- [招待講演] 印刷電子デバイス作製のための電極・配線形成技術 吉田 学 (産総研)
- ペンタセン中に電界効果ドーピングされたキャリアによる THz 波吸収 ○李 世光 (千葉大/奈良先端大)・松末俊夫 (千葉大)・工藤一浩 (千葉大)・中村雅一 (奈良先端大)・酒井正俊・工藤一浩 (千葉大)・中村雅一 (奈良先端大)
- (BEDT-TTF) (TCNQ) 結晶におけるインピーダンス測定 ○酒井正俊・花田光聡・山崎陽太・国吉繁一・山内 博 (千葉大)・中村雅一 (奈良先端大)・工藤一浩 (千葉大)
- フッ素化自己組織化単分子膜と正孔輸送層の界面における遷移領域形成 ○位田友哉 (名大)・佐藤敏一 (豊田中研)・森本拓也 (名大)・西川尚男 (岩手大)・森 竜雄 (名大)
- 炭素/銀薄膜を用いた水晶微小天秤 (QCM) 法による酸素プラズマ中の原子状酸素の定量並びに殺菌効果特性 ○吉野 潔・松本裕之・岩崎達行・木下 忍 (岩電)・野田和俊 (産総研)・岩森 暁 (東海大)
- 金属格子状に配置した銀微粒子による表面プラズモン共鳴と距離依存特性 ラートバチラパイボーン チュティパーン ○馬場 暁 (新潟大)・エクガシット サノン・チュチャート タマチャロエン (フェア大)・新保一成・加藤景三・金子双男 (新潟大)

【問合先】

松田直樹 (産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

酒井正俊 (千葉大)

E-mail: sakai@faculty.chiba-u.jp

告 12

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生
幹事 梅林健太・有吉正行
幹事補佐 亀田 卓・田久 修・石津健太郎

日時 5月24日(木) 9:30~18:30

25日(金) 10:00~11:40

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 (横浜市港北区日吉 4-1-1, 日吉駅下車, 徒歩 1分, <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> TEL [045] 566-1732 ext. 42286 稲森真美子)

議題 技術展示, 製品展示, ソフトウェア無線機, 無線ハードウェア技術

24日午前 一般講演 (技術展示)

- [技術展示] 3-D SiP 構造を用いた 60 GHz 帯ビームフォーミングアレイアンテナ 吉田賢史・○鈴木祐也・タトアン タン・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)
- [技術展示] Automatic Frequency Dependent I/Q Imbalance Compensation Method for Wideband Quadrature Modulator ○Minseok KIM・Yuta Maruichi・Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
- [技術展示] GPP ベースのソフトウェア無線機における OFDM 信号のタイミング同期法 ○田中佑季・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
- [技術展示] TV 帯ホワイトスペースにおいてデータベースと連携した無線通信システム ○石津健太郎・村上 誉・原田博司 (NICT)
- [技術展示] 簡易型広帯域 MIMO-OTA システム信号処理部の FPGA 実装と評価 ○中田克弘・唐沢好男 (電通大)
- [技術展示] バンドパス $\Delta\Sigma$ 変調による 1 ビット RF デジタル送信器 ○前島 貴 (住友電工)・亀田 卓・末松憲治 (東北大)
- [技術展示] 分散型電力制御ネットワーク ○グエン ヴァンキー・前原大樹・ナムシーンプ ラートウィラム・タン ザカン・阪口 啓・荒木純道 (東工大)
- [技術展示] ユーザセントリックワイヤレスホームネットワーク ○山田貴之・李 斗煥・加保貴奈・芝 宏礼・山口 陽・赤羽和徳・上原一浩・片山 穰・小林 守・吉野修一 (NTT)

24日午後 技術展示

- [技術展示] 自律的ホワイトスペースチャンネル選択機能を備えたマルチホップ車車間ネットワークの実証実験 ○吉村 力・安藤圭佑・塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)・大竹賢明・藤井威生 (電通大)・井原 隆・クレモ ハリス・アルトゥンダシュ オヌル・田中英明 (トヨタ IT 開発センター)
- [技術展示] 超高速ビットレート移動通信用ソフトウェア無線構成による 8x8 MIMO-OFDM 伝送実験系 ○須山 聡・福田裕之・鈴木 博・府川和彦 (東工大)
- パネル討論「オフロード時代に向けた複数無線規格を支えるリコンフィギャラブル技術」
- [パネル討論] 携帯端末のマルチバンド化について ○橋橋祥一・岡崎浩司・福田敦史・吉田敬幸・河合邦浩 (NTT ドコモ)

12. [パネル討論] ソフトウェア無線の発展とリコンフィギュラブルロジックへの更なる期待 眞田幸俊 (慶大)

13. 未定

14. 未定

15. パネル討論

25日 一般講演

1. 非連続サンプルフレームを用いたオーバーラップFFTによる信号検出の特性改善

○内田翔也・佐藤顕裕・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)

2. TV ホワイトスペースの利用を目指したUHFコンバータの開発 〇松村 武・原田博司 (NICT)

3. Proposal and Hardware Implementation of A DTV Sensing Method Robust to Adjacent Channel Interference

〇宋 春毅・原田博司 (NICT)

4. キャリアセンス無線アクセスと送信電力を併用したコグニティブ無線における評価シミュレータの開発と基礎検討

〇田久 修 (信州大)・山崎健生 (東大)・藤井成生 (電通大)

◎24日議題1~8は13:00~14:30に技術展示を行います。

◎24日研究会終了後、懇親会を予定しております(来往舎内ファカルティラウンジ)。皆様御参加下さい。

☆SR研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 屋久島 [5月16日(水)] テーマ: コグニティブ無線ネットワーク, ヘテロジニアスネットワーク, クロスレイヤ無線技術, (学生セッション)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

石津健太郎 (NICT)

TEL [046] 847-5098, FAX [046] 847-5110

E-mail : ishidu@nict.go.jp

◎最新情報はSR研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 石原好之 副委員長 庄山正仁

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 竹内 章

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利

日時 5月25日(金) 13:00~15:00

会場 機械振興会館地下3階6号室

議題 スイッチング電源, 家庭向け情報通信機器等のエネルギー有効利用技術及び家電・民生技術, 一般

EE-1. フィボナッチ数列構成による三次元太陽光発電モジュールの特性 〇鈴木聖治・李 多揚・谷内利明 (東京理科大)

EE-2. ジグザグ型DMFCにおける空気供給法の検討

〇石掛純徹・相原匡紀・谷内利明 (東京理科大)

EE-3. 誘導加熱用瞬時共振電流フェーザ制御高周波ソフトスイッチングインバータの実験特性 〇高見親法・

三島智和 (神戸大)・中岡睦雄 (慶南大)

EE-4. 単相高周波AC-ACダイレクトコンバータの最適設計法

〇松井光生・岡本昌幸・平木英治・田中俊彦 (山口大)

◆電気学会; 家電・民生技術委員会連催. IEEE Power Electronics Society Japan Chapter 共催

◎このプログラムは暫定版ですので, 午前に連催されます電気学会のプログラムを含む最新版は, 下記より御確認下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ee/jpn/>

☆EE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月30日(月), 31日(火) 奈良高専 [5月10日(木)]

テーマ: エネルギー技術, 半導体変換技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

竹内 章 (NTT環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-2027, FAX [0422] 59-5682

E-mail : takeuchi.akira@lab.ntt.co.jp

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 中谷多哉子 副委員長 松浦佐江子

幹事 阿萬裕久・白銀純子 幹事補佐 樋山淳雄・猿渡卓也

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 樋山淳雄・猿渡卓也 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宜

日時 5月25日(金) 13:40~17:15

26日(土) 10:30~15:20

会場 慶應義塾大学理工学部矢上キャンパス (横浜市港北区日吉3-14-1. 東急東横線/横浜市営地下鉄グリーンライン: 日吉駅から徒歩15分. JR横須賀線: 新川崎駅下車 (タクシーで約2km). <http://www.st.keio.ac.jp/access/index.html> TEL [045] 566-1619 飯島 正)

議題 一般・学生

25日 (厚生棟中会議室 [16-A 棟3階])

1. システムダイナミクスによるITサービスプロセスの評価

山本修一郎 (名大)

2. 認知文法に基づく問題領域モデリング手法の適用範囲明確化

〇酒井孝真・長村篤記・井田明男・金田重郎 (同志社大)

3. 同時に複数のプロジェクトを兼務する作業者の作業優先順序決定支援 〇橋浦弘明 (東洋大)・比護徹治・森 一樹・古宮誠一 (芝浦工大)

4. オブジェクト指向ベトリネットによるビジネスプロセスの記述と同期 〇金子良太・片山輝彦・飯島 正 (慶大)

5. 審査業務の業務分析手法の提案 〇石井 宏・古久根 敦・神戸雅一・安藤哲志・城塚吾也 (NTTデータ)

26日午前 (セミナールーム3 [14-203])

1. 複数センサと系列データマイニング手法による組立作業支援環境の構築—マルチエージェントによるCPS (Cyber-Physical-Social System) 実現に向けて— 高塚洋平・

香川雄平・〇石井愛弓・飯島 正 (慶大)

2. CPSS (Cyber-Physical-Social System) のための空間知識モデリングとその活用 飯島 正 (慶大)

3. 運用時のシステム障害の診断に向けて 〇菅谷みどり (横浜国大)・山本修一郎 (名大)・倉光君郎 (横浜国大)

26日午後 (セミナールーム3 [14-203]) (13:30~)

4. 予測誤差評価基準にAICを用いる改良形GMDH-typeニューラルネットワークアルゴリズム 〇近藤 正・上野淳二・高尾正一郎 (徳島大)

5. エージェント協調のための確率的戦略の構築

○新井成一・三浦孝夫（法政大）

6. UML 要求仕様からの Android-UI プロトタイプ自動生成手法

○松井駿介・小形真平・松浦佐江子（芝浦工大）

◎1 日目と 2 日目で会場（教室）が異なりますので、御注意下さい。キャンパスガイドを御参照下さい。

<http://www.st.keio.ac.jp/outline/guide.html>

☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 27 日（金）、28 日（土） 公立はこだて未来大〔未定〕
テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

松浦佐江子（芝浦工大）

E-mail : matsuur@se.shibaura-it.ac.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保

幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 5 月 26 日（土） 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下 3 階 6 号室

議題 インタプライズモデル化技術、一般

1. インタプライズモデル化技術の来し方行く末

○松本正雄（筑波大）・片岡信弘（東海大）・新川芳行（龍谷大）

2. ソフトウェア品質管理に向けた静的メトリックスの検討

○宇田川佳久・新部 忠（東京工芸大）

3. 軽量 Web アプリケーションフレームワークとその応用

○北野 優・須栗裕樹・富樫 敦（宮城大）

4. 3D 画像読影に対応する医療クラウドモデルの検討

野地 保・○安達大貴（東海大）

5. 投擲貼付き型デバイスによる電波ブラインド領域における情報通信

○結城 修（静岡大）・山田罔裕（東海大）

水野忠則（愛知工大）・峰野博史・西垣正勝（静岡大）

6. スマート・エージェント・ロボットによる電波ブラインド領域における情報通信

○結城 修（静岡大）

山田罔裕（東海大）・水野忠則（愛知工大）・峰野博史・

西垣正勝（静岡大）

7. 電波の方向制御・移動エージェント・デバイスによる電波ブラインド領域における情報通信

○結城 修（静岡大）

山田罔裕（東海大）・水野忠則（愛知工大）・峰野博史・

西垣正勝（静岡大）

【問合先】

片岡信弘（東海大）

E-mail : kataoka9@tokai.ac.jp

★超音波研究会 (US)

専門委員長 金井 浩 副委員長 橋本研也・蜂屋弘之

幹事 土屋隆生・三浦 光 幹事補佐 美谷周二朗

5 月 26 日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 5 月 28 日（月） 13:30~15:50

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題

1. 水熱合成 PZT を用いたキャピテーションセンサによるキャピテーションの空間分布計測 ○椎葉倫久・

植村友樹（桐蔭横浜大）・内田武吉・菊池恒男（産総研）

黒澤 実（東工大）・竹内真一（桐蔭横浜大）

2. 位相差法を用いた超低速流れ計測に関する研究

○井原智則・木倉宏成・武田 靖（東工大）

越智英治・南 和宏（日本原燃）

3. 微小液滴の非線形振動 II ○山田辰也・酒井啓司（東大）

4. 液体薄膜の表面物性のリブロン観察 ○古賀俊行・

美谷周二朗・酒井啓司（東大）

5. 高表面張力かつ高粘性液体の物性測定 美谷周二朗（東大）

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFGC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 21 日（木） 東大生研〔締切済〕 テーマ：医用超音波，アコースティックイメージング，一般（日本超音波医学会・基礎技術研究会共催）

7 月 24 日（火）、25 日（水） 名大 VBL [5 月 10 日（木）] テーマ：物性，一般（日本レオロジー学会；ナノレオロジー研究会，日本音響学会；音響化学研究会，音波と物性討論会共催）

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

美谷周二朗（東大）

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail : mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光（日大）

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail : miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報は US 研ホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀧裕真 副委員長 堀内浩規・児島史秀

幹事 藤井雅弘・高取祐介 幹事補佐 羽多野裕之・大野光平

5 月 26 日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐

専門委員長 羽瀧裕真 副委員長 児島史秀

幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 羽多野裕之・大野光平

日時 5 月 31 日（木） 14:00~16:30

会場 横須賀リサーチパーク YRP センター 1 番館会議室 1（横

須賀市光の丘 3-4. 京浜急行：YRP 野比駅からバス 5 分。

<http://www.yrp.co.jp/yrp/access/access.html> 児島史秀（NICT）

議題 ITS コア技術, 一般

1. 携帯端末のセンサーによる位置トラッキングシステムに関する一検討 ○藤井雅弘・小河原 亮・渡辺 裕 (宇都宮大)
2. ユビキタスクラークによるバーチャル企画室の実現
○藤田俊輔・間邊哲也・長谷川孝明 (埼玉大)
3. [招待講演] 長崎 EV & ITS プロジェクト—EV と ITS の連携融合から興るイノベーション— 鈴木高宏 (長崎県/東大)
4. スマートフォンを活用した道路状況センシングとその局所的
情報交換のための車車間通信の研究開発—スマートフォン
Bluetooth を用いたすれちがい通信による車車間通信の研究開
発 (第一報) — ○浜尾和秀 (ハイテク)・石川泰弘・
橋本健一 (エフシーエス)・高橋 昌 (ハイテク)・宗像友男・
石山修司 (エフシーエス)・櫻井俊明 (わか明星大)
5. スポット情報を用いた無線 LAN ポジショニングシステムの
性能向上に関する検討 ○井口裕仁・永長知孝 (関東学院大)

[問合せ先]

藤井雅弘 (宇都宮大大学院工学研究科情報システム科学専攻)
〒321-8585 宇都宮市陽東 7-1-2
TEL & FAX [028] 689-6280
E-mail: fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 石上 忍・内海邦昭 幹事補佐 内田 雄・青柳貴洋
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 内海邦昭・王 建青 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 5月31日(木) 13:00~17:00
6月1日(金) 9:30~11:45

会場 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス (千代田区外神
田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12階。JR 山手線, 京浜東北線,
総武線: 秋葉原駅より徒歩 1分。http://www.tmu.ac.jp/uni
versity/campus_guide/access.html#mapakihabara TEL
[03] 5294-0250 (会場) 多氣昌生)

議題 EMC, 一般

31日

1. 中間周波数電界を用いた人体近傍電界通信機器からの人体曝
露評価 ○芳野裕樹・伊郷翔太・桂木路彦・
多氣昌生 (首都大東京)
2. Experimental Validation of MoM-Derived Electric Field
Distribution in a Reverberation Chamber for Bio-Effect Testing
○Jerdvisanop Chakrothai・Jianqing Wang・
Osamu Fujiwara (Nagoya Inst. of Tech.)・Kanakano Wake・
Soichi Watanabe (NICT)
3. Design and validation of a multiple-frequency whole-body
exposure system for bio-effect test with rats
○Jianqing Wang・Wei Liao (Nagoya Inst. of Tech.)・
Hiroki Kawai・Kanakano Wake・Soichi Watanabe (NICT)・
Osamu Fujiwara (Nagoya Inst. of Tech.)
4. 高周波抵抗減衰器電力依存性測定の前備実験
○ウイダルト アントン・飯田仁志・川上友暉 (産総研)
5. 基板のノイズ伝搬経路可視化における印加ノイズ測定系の特
性評価 ○安藤雄二・佐々木雄一・宮崎千春・岡 尚人・
三須幸一郎 (三菱電機)

6. 家電機器が発する伝導妨害波の特徴を活用した家電機器の動
作状況推定に関する検討 ○高谷和宏・鈴木康直・
石山文彦・香西将樹・岩崎 登・田島公博 (NTT)
7. 動作状態における通信機器の入力インピーダンス測定手法の
検討 ○中村尚倫・平澤徳仁・秋山佳春 (NTT)・
桑原伸夫 (九工大)
8. [特別講演] 光ファイバ通信技術の EMC 計測への適用
桑原伸夫 (九工大)

6月1日

1. ループの有限周期配列による電波吸収体の散乱波解析
○那須拓矢・西方敦博 (東工大)
2. 平面アンテナの無限周期配列による電波吸収体の両偏波対応
設計 ○大川保純・西方敦博 (東工大)
3. 自律制御を目指した能動素子装荷型近傍界ノイズ抑制素子の
提案—物理的構造と基本特性の改善— ○村野公俊・
小塚洋司 (東海大)
4. 静電放電現象のための回路/電磁界混合シミュレーション
○高田 剛・關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)
5. Leapfrog 法と遅延 PEEC 法に基づく時間領域電磁界シミュ
レーション ○關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催 IEEE
EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎5月31日の研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参
加下さい。

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 6月22日(金) 阪大吹田キャンパス [締切済] テーマ:
EMC, 一般
- 7月19日(木) 機械振興会館 [未定] テーマ: 若手研究者発
表会
- 7月20日(金) 機械振興会館 [未定] テーマ: 放電・実装,
EMC, 一般
- 8月 休会

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

[問合せ先]

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org

——東北支部における開催——

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 桐葉佳明 副委員長 瀬世家 光・阿多信吾
幹事 菅内公德・吉原貴仁 幹事補佐 増田 健
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫
幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士

日時 5月10日(木) 9:00~18:05
11日(金) 9:00~17:40

会場 秋田大学手形キャンパス (秋田市手形学園町 1-1。秋田駅
からバスで手形山経由大学病院線, 秋田温泉線秋田大学前また
は徒歩 17分。http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/index.
html)

議題 サービス管理, 運用管理技術, セキュリティ管理, 及び一般

10日午前

1. ネットワークトラフィック変化検知のための視覚的表現法に関する検討 ○小西 航・高橋秋典・五十嵐隆治(秋田大)・上田 浩(京大)・岩谷幸雄・木下哲男(東北大)
2. Wikiと携帯型遠隔操作端末を使った情報セキュリティ対策システム 山之上 卓・小田謙太郎・下園幸一(鹿児島大)
3. Improvement of Network coding-based System for Ensuring Data Integrity in Cloud Computing Kazumasa Omote・○Tran Phuong Thao (JAIST)

ICM-4. [特別講演] TMForum Management World Asia 2012 参加報告 ○小原誠也・齋藤寛樹・櫻井淳子(NTT コムウェア)

ICM-5. [特別講演] TMF Action Week Madrid 2012 報告 ○藤原正勝(NTT)・佐々木圭一(NTT コムウェア)

ICM-6. TMF SID を使ったデータモデリングの効率化について 西尾 学(NTT)

10日午後(12:50~)

7. 情報セキュリティリスク選択に関する一考察—そこそこセキュリティとは— 頼永 忍(情報セキュリティ大)
8. NDSS 2012 会議参加報告 ○溝口誠一郎(九大)・須崎有康(産総研)・吉岡克成(横浜国大)・松浦幹太(東大)
9. ESSoS (Engineering Secure Software and Systems: セキュアソフトウェア及びシステム工学) 12 参加報告 ○松本晋一・櫻井幸一(九州先端研)
10. 認証をアウトソースするネットワークスイッチの機能設計 ○櫻井孝一・佐藤 聡・吉田健一・新城 靖(筑波大)
11. 認証基盤の効率化と「学認」への対応 只木進一・江藤博文・大谷 誠・渡辺健次(佐賀大)
12. 全学認証サーバの負荷状況と負荷分散 ○伊東栄典・笠原義晃・藤村直美(九大)

ICM-13. [招待講演] クラウドコンピューティングの技術動向 松澤寿典(NTT)

ICM-14. クラウドコンピューティングとその管理技術 吉良雄介(NTT)

ICM-15. クラウド向けオーバーレイネットワークのオンデマンド制御を可能とするユーザインターフェース機能の検討 ○橋本太郎・上水流由香・波多浩昭(NTT コミュニケーションズ)

ICM-16. クラウド型サービスの統合管理に向けた EndEnd 運用管理システムの提案 ○鈴木佑典・河嶋健吾・土居和樹・佐藤智寛・山口徹也・浦賀雅博(NTT 西日本)

ICM-17. クラウドサービスの説明能力とトレーサビリティ技術 ○中原慎一・張 一凡(NTT)

11日午前

1. 完全準同型暗号の解読法 海老原一郎(産総研)
 2. Lamport-like なワンタイムパスワード認証方式の多次元拡張について 須賀祐治(IIJ)
 3. 日本語文字と熟語及び英数字を用いた CAPTCHA に関する提案 ○金森一樹・児玉英一郎・王家 宏・高田豊雄(岩手県立大)
 4. タッチパネルを利用した CAPTCHA の実装 ○鶴田裕輔・高谷真弓・山村明弘(秋田大)
- ICM-5. BCP 対策に向けたサービス無停止バックアップの実証実験 ○岩野真依・安藤慎吾・櫛山和也・波方知行・浦賀雅博・寺本純司(NTT 西日本)
- ICM-6. Network as a Service (NaaS) の制御方式と、管理方式

の一検討 林 経正(ミヅウ)

ICM-7. Modeling the Interaction of Overlay Routing and Multihoming ISP with Game Theory ○Xun Shao・Go Hasegawa・Yoshiaki Taniguchi・Hirotaka Nakano (Osaka Univ.)

11日午後(13:10~)

8. 再生可能エネルギーの展望と ICT が地域で果たす役割 菊池 豊(高知工科大)
 9. 複数キャンパスの電力の見える化と電力制限の前後の計測 ○櫻田武嗣・萩原洋一(東京農工大)
 10. ICMP パケットの遮断による IPv6 通信における問題への対策 ○近江敬太・吉浦紀晃(埼玉大)
 11. モバイルアクセス基盤の検討 ○梅澤克之・森田伸義・磯川弘実・萱島 信(日立)
 12. Android OS におけるマスカレーディングポイントを用いたプライバシー保護 ○上松晴信・可児潤也・名坂康平(静岡大)・川端秀明・磯原隆将・竹森敬祐(KDDI 研)・西垣正勝(静岡大)
 13. 状況をつぶやくセキュリティシステム 糸魚川竜士・○大山恵弘(電通大)
- ICM-14. ネットワークオペレーションシステム開発へのフレームワーク適用 浅田 博(富士通)
- ICM-15. 分散コンポーネントで構成されたネットワークサービスのためのバックエンドサーバにおいて利用可能な波長資源を考慮した帯域管理手法 ○井上優也・木下和彦・廣田悠介・村上孝三(阪大)・戸出英樹(阪府大)
- ICM-16. P2MP-TE に適用する新 Steiner tree アルゴリズムの提案 松浦 洋(NTT)
- ICM-17. 複数 VPN に対する導通試験方式の検討 ○立石直規・田原光穂・瀬家 光(NTT)

◆情報処理学会; インターネットと運用技術研究会, コンピュータセキュリティ研究会連催

◎10日の研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ICM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月12日(木), 13日(金) 小樽[未定] テーマ: 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

ICM 研究会 幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 伊丹 誠 副委員長 眞田幸俊・佐々木重信
幹事 滝沢賢一・小野文枝 幹事補佐 小室信喜・松波 勲
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊 前原文明
幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 加藤 寧 副委員長 門脇直人・山本員市
幹事 榎木勘四郎・吉村直子 幹事補佐 西山大樹
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事
専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎
幹事 吉村直子・廣瀬貴史

◎本研究会は WBS 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 5月24日(木) 13:00~16:30
25日(金) 9:30~15:00

会場 岩手県立大学滝沢キャンパス(岩手郡滝沢村滝沢字菓子
152-52. IGR いわて銀河鉄道: 滝沢駅から徒歩15分またはJR
盛岡駅からバス30分. <http://www.iwate-pu.ac.jp/access/>)

議題 符号化, 変復調, 信号処理技術及び一般

24日

WBS-1. [奨励講演] 疑似雑音符号を用いる光強度変調法の高度化に関する研究 小澤佑介(茨城大)

WBS-2. LDPC 符号を用いたマルチレベル符号化 APSK 変調方式の設計に関する検討 ○依田大輝・落合秀樹(横浜国大)

SAT-3. 船上地球局向け分散アレーアンテナの実験的検証

○須崎皓平・鈴木義規・廣瀬貴史・杉山隆利 (NTT)

SAT-4. WINDS を利用した災害用衛星通信実験システムの開発

○高橋 卓・平良真一・藤野義之・赤石 明・浅井敏男・

吉村直子・秋岡真樹・豊嶋守生 (NICT)

共通-5. [特別講演] 2012年ITU世界無線通信会議(WRC)

結果報告—衛星軌道権益に関する攻防—

阿部宗男(三菱電機)

共通-6. [招待講演] 小型無人航空機を用いた無線中継の検討—
大規模災害時におけるネットワーク孤立地域の救済をめざして—

○三浦 龍・滝沢賢一・鈴木幹雄・井上真杉・

大和田泰伯 (NICT)

25日午前

WBS-1. 非均一電力割当て法を用いる光無線ターボ符号の性能評価 ○村田知昭・羽瀧裕真・小澤佑介(茨城大)

WBS-2. トレリスシェイピングを用いたSC-FDMA信号のピーク電力低減に関する検討 ○李 泰雨・落合秀樹(横浜国大)

WBS-3. 移動受信におけるMIMO-OFDMのキャリア間干渉除去に関する検討 ○中村 聡・大野光平・

伊丹 誠(東京理科大)

SAT-4. 階層型衛星ネットワークにおける宛先の輻輳状態を考慮した経路制御に関する検討 ○吉田和真・西山大樹・

加藤 寧(東北大)

SAT-5. 移動体衛星通信における地上制御型任意偏波形成に関する検討 ○鈴木義規・杉山隆利 (NTT)

25日午後

SAT-6. 準天頂衛星を用いたロケーション・ショートメッセージ
ジ双方向通信システムのための無線アクセス方式の基礎検討

○亀田 卓・末松憲治(東北大)・山形文啓(釧路高専)・
小熊 博(富山高専)・高木 直・坪内和夫(東北大)
WBS-7. レーダ反射断面積を用いた走行車両の状態推定

○松波 勲(長崎大)・梶原昭博(北九州市大)

共通-8. [招待講演] 高周波送信増幅器のひずみ補償回路技術

末松憲治(東北大)

◎24日講演終了後, 見学及び懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆WBS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月27日(金) 名大[5月16日(水)]テーマ:一般,ポスター講演

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小室信喜

TEL & FAX [043] 290-3274

E-mail: kmr@faculty.chiba-u.jp

☆SAT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 北大[5月10日(木)]テーマ:

衛星通信, 電波伝搬, 一般

8月30日(木), 31日(金) 高知市[未定]テーマ: 移動衛星

通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

SAT研究会幹事 E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

榎木勘四郎 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7421, FAX [049] 278-7812

吉村直子 (NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 吉田 清 副委員長 長谷川 誠・関川純哉

幹事 久我宣裕・服部康弘 幹事補佐 阿部宜輝

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 5月25日(金) 13:30~16:40

会場 東北文化学園大学5号館第2会議室(仙台市青葉区国見
6-45-1. JR仙山線: 仙台駅から約15分, 国見駅下車, 徒歩1分)

議題

1. 積層アルミニウム箔端の電磁圧接法

相沢友勝(都立産技高専)

2. 電磁コンタクト用 AgNi 接点の電極質量変化に対する電圧の影響—閉成時のみにアークを発生させた場合の諸特性—

○吉田 清・澤 孝一郎(日本工大)・鈴木健司・代島英樹・

高谷幸悦(富士電機機器制御)

3. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗とそのモデル(21)— ○和田真一・

越田圭治・サインダーノロブリン・益田直樹・石黒 明・

柳 国男・久保田洋彰(TMCシステム)・澤 孝一郎(日本工大)

4. Measurement of the Constriction Resistance in Palladium
Contacts Heated by a Heater Hiroyuki Ishida・

○Hiromichi Kubota (Tohoku Bunka Gakuen Univ.)

5. BOF を用いた光ファイバセンサによる荷重測定

- 長瀬 亮・八尾坂有輝・大槻崇文 (千葉工大)
6. 接点表面損傷形状の光学的計測システムに関する実験的検討 (第2報) ○高橋佳佑・長谷川 誠 (千歳科技大)
7. スペックルパターンの変動を利用した光ファイバへの荷重印加検出システムに関する研究 (第2報) ○川原宗貴・長谷川 誠 (千歳科技大)

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月20日(金) 機械振興会館 [未定] テーマ: 放電・実装, EMC, 一般

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研 [6月15日(金)]
 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

長谷川 誠 (千歳科技大)
 TEL & FAX [0123] 27-6059
 E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉 (静岡大)
 TEL & FAX [053] 478-1618
 E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘 (住友電装)
 TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591
 E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 堀尾喜彦 副委員長 上田哲史
 幹事 安達雅春・高坂拓司 幹事補佐 松浦隆文・坪根 正
 5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
 専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹
 幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 5月28日(月) 13:30~17:10
 29日(火) 9:30~11:45

会場 秋田市民交流プラザ市民活動センター洋室C (秋田市東通
 仲町4-1. <http://www.alve.jp/center/access/> TEL [088]
 656-7512 伊藤桃代 (徳島大))

議題

28日

1. 周期的な境界条件を有する衝突振動系にみられる1周期解の分岐点計算法 ○池田剛毅 (大分大)・合原一幸 (東大)・高坂拓司 (大分大)
2. ヒステリシス素子によって結合される2次元区分定数発振器の同期現象 ○鈴木恵介・坪根 正 (長岡技科大)
3. 整数ロジスティック写像の諸性質: 発散, 収束, 周期性 ○董 際国 (セリック)・森田啓義 (電通大)
4. 頭部姿勢空間定量化のための自己写像特性の評価 ○伊藤桃代 (徳島大)・佐藤和人 (秋田県立大)・福見 稔 (徳島大)
5. 階層構造を持つ粒子群最適化法の基礎検討 ○小森一樹 (長岡技科大)・本間和弘 (ガイックス)・坪根 正 (長岡技科大)
6. 粒子群最適化法の最良位置参照による解探索性能 ○進藤卓也・神野健哉 (日本工大)

7. 微小外力を含む4区分線形BVP発振器にみられる振幅死現象とカオスのメカニズムの解明—その3—滑らかな強制BVP発振器にみられる現象との類似性について— ○篠塚吉正・稲葉直彦 (明大)・関川宗久 (東大)・遠藤哲郎 (明大)
8. 離散力学系の2-トラスアーノルドタングについて 関川宗久 (東大)・○稲葉直彦 (明大)

29日

1. 表情表出テンポとリズムを用いた心理的ストレスの定量化 ○佐藤和人 (秋田県立大)・伊藤桃代 (徳島大)・間所洋和 (秋田県立大)・門脇さくら (SmartDesign)
2. WSNにおける移動シンクノードのための低コストな移動経路算出の提案 ○萩原由香里・中谷直司・萩原義裕・厚井裕司 (岩手大)
3. いくつかの加振機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗変動のモデリング (その2) — ○和田真一・越田圭治・久保田洋彰 (TMCシステム)・澤 孝一郎 (日本工大)
4. 2次高調波超音波を利用したボルト締結評価に関する検討 ○福田 誠・米内巨樹・今野和彦 (秋田大)
5. 非線形空間における繰り返し演算型判別分析 ○竹内洋平・伊藤桃代・福見 稔 (徳島大)

【問合先】

高坂拓司 (大分大)
 TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790
 E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

——信越支部における開催——

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一
 幹事 縄手雅彦・渡辺寛望
 幹事補佐 若月大輔・酒向慎司・和田親宗
 5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
 専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一
 幹事 縄手雅彦・渡辺寛望・若月大輔
 幹事補佐 酒向慎司・和田親宗・前田義信

日時 5月25日(金) 13:00~16:15
 26日(土) 10:00~12:00

会場 新潟大学駅南キャンパス講義室 (<http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html>)

議題 福祉情報工学一般

25日 視覚障害者支援

1. 中途視覚障害者向けの触読点字 e-learning の最適な読み上げ速度 ○大田美香 (神戸大医学部附属病院)・小田 剛・三浦研爾 (神戸大)・塚本紗代・花岡澄代・松浦正子 (神戸大医学部附属病院)・渡辺哲也 (新潟大)・喜多伸一 (神戸大)・前田英一・菅野亜紀・高岡 裕 (神戸大医学部附属病院)
2. オントロジーを利用した視覚障害者用の鍼灸領域の教材は学習効果を高める ○小田 剛 (神戸大)・菅野亜紀 (神戸大病院)・三浦研爾 (神戸大)・塚本紗代・池上峰子 (神戸大病院)・喜多伸一 (神戸大)・渡辺哲也 (新潟大)・前田英一・大田美香・高岡 裕 (神戸大病院)
3. Web上の駅構内図の調査と触地図へのニーズ調査—駅構内図

- の自動触知化に向けて— ○渡辺哲也・山口俊光・
舛田翔太 (新潟大)
4. DAISY 形式の日本語理数系教材が抱える諸問題
○山口雄仁 (日大)・鈴木昌和 (九州先端科学技研)
5. 特別講演 調整中
- 26 日 障害者支援技術
1. 高齢者施設のグループレクリエーションに適した遊びリテ
ーションシステムの開発と評価 ○岩谷智一・中泉文孝・
大須賀美恵子 (阪工大)
2. 歩行訓練支援のための靴型情報計測装置の開発—位置計測精
度向上の試み— ○和田親宗・池田 克 (九工大)・
家永貴史・木室義彦 (福岡工大)・和田 太・
蜂須賀研二 (産業医科大)
3. 地方自治体が提供する緊急情報の「見出し (Title)」のウェ
ブアクセシビリティ「見出し (Title)」の文字色とその背景
色の組合せについて— ○荻田玲子・古田一雄 (東大)
4. MyTobii における視線評価ツールを用いた視線入力の評価
○渡辺寛望・小谷信司 (山梨大)

【問合先】

渡辺寛望 (山梨大)
TEL [055] 220-8502
E-mail: hwatanabe@yamanashi.ac.jp

—東海支部における開催—

★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 山本高生 副委員長 松井 進・渡辺 尚
幹事 大坐島 智・山野 悟 幹事補佐 山本高至・大和田泰伯
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 松井 進 副委員長 渡辺 尚・村田英一
幹事 山野 悟・山本高至 幹事補佐 大和田泰伯・門田和也

★ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)

専門委員長 山里敬也 副委員長 佐藤良明・大槻知明
幹事 今田美幸・中澤 仁 幹事補佐 荒川 豊・猿渡俊介
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 佐藤良明 副委員長 大槻知明・上原秀幸
幹事 荒川 豊・中澤 仁 幹事補佐 猿渡俊介

◎本研究会は AN 研究会と USN 研究会の併催です。研究会資料
は各研究会ごとに発行されます。

日時 5月17日 (木) 10:00~18:40
18日 (金) 9:00~17:05

会場 豊橋技術科学大学 (豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1. 豊橋駅か
ら豊鉄バスで約 30 分 430 円。 [http://www.tut.ac.jp/about/ac
cess.html](http://www.tut.ac.jp/about/access.html) TEL [0532] 44-6743 上原秀幸)

議題 フレッシュマン・セッション, ユビキタス・センサネット
ワーク, ユビキタス・システム, アドホックネットワー
ク

- 17 日午前 ネットワーク
- AN-1. 無線センサネットワークのための位相ロッキング及び逆
同期期を利用した情報収集手法 ○谷口義明・
長谷川 剛・中野博隆 (阪大)
- AN-2. 無線メッシュネットワークにおける半固定ルーティング
方式に関する検討 ○板垣勇也・間瀬憲一・

今井博英 (新潟大)

AN-3. Mobile Agent を用いた位置情報利用型ルーティングにお
けるノード特性を考慮した経路構築方式 松下拓也・

○池田一樹・田中健太・塩川茂樹 (神奈川工科大)

USN-4. クラスタリングを用いた無線センサネットワークにお
けるクラスタヘッドとルータノードを用いた中継機能分離方式

○原 進一郎・小泉達也・笹瀬 巖 (慶大)

USN-5. Does the Network Coding Technique Work Well for
Congestion Control in Wireless Sensor Networks?

○KHO Chin Lee・TAN Yasuo・

LIM Azman Osman (JAIST)

17 日午後 ユビキタスデバイス (13:30~)

6. バッテリーレス・システム実現に向けた不揮発主記憶システム
の検討 ○大村 廉・内門裕紀 (豊橋技科大)

7. WYSIWYG Light: 実画像を用いた照明の最適制御

○栗山 繁・酒井郁夫 (豊橋技科大)

8. iArduino: マイコン上で対話的な開発を実現するインタプリ
タ型言語 光永法明 (阪教大)

システム 1

AN-9. 環境発電型無線センサネットワークの送信電力制御につ
いて ○河合佑介・稲葉友紀・渡辺 尚 (静岡大)

USN-10. 無線マルチホップセンサネットワークにおけるアク
ティブ期間動的制御による低遅延・省電力化方式

○甲斐成美・阪田史郎・小室信喜 (千葉大)

USN-11. Interval-based switching Kalman filters による家電の
電力消費モデル推定 ○土師浩平・加藤文和・

松山隆司 (京大)

ポスターセッション

AN-12. [ポスター講演] ポテンシャルルーティングに基づく
無線センサネットワークにおける下り方向通信の実現手段の提
案と評価 ○豊永慎也・小南大智 (阪大)・

菅野正嗣 (阪府大)・村田正幸 (阪大)・畠内孝明 (富士電機)

AN-13. [ポスター講演] スマートメータシステムのための少
数派ゲームを用いたバックオフ制御法 ○中西俊介・

三村智彦・熊川成正・山本高至・守倉正博 (京大)

AN-14. [ポスター講演] アドホックネットワークにおける空
間利用効率向上のための空間相関による NAV 設定基準

○大場昌範・宮路祐一・君島秋人・上原秀幸・

AN-15. [ポスター講演] 情報一括収集手法を用いたワイヤレ
スセンサネットワークのための情報推定方法

○遠藤朋実・藤井威生 (電通大)

AN-16. [ポスター講演] IEEE802.11n を用いた無線メッシュ
ネットワークにおける送信レート制御のための RSSI によるリ
ンク品質の評価 ○吉本明人・岡田 啓・小林健太郎・

AN-17. [ポスター講演] マルチビュービデオのネットワー
ク伝送に関する一検討 ○藤橋卓也・潘 子圓・

渡辺 尚 (静岡大)

AN-18. [ポスター講演] 風力・太陽光発電を用いる WSN シ
ミュレータによる長期運用評価 ○汪 少哲・

AN-19. [ポスター講演] マルチホップネットワークの全二重
通信メディアアクセス制御について ○玉置健太・

Ari Raptino H. (静岡大)・萬代雅希 (上智大)・

渡辺 尚 (静岡大)

AN-20. [ポスター講演] Data Aggregation for Wireless Sensor Networks based on Information Criteria

○Wuyungerile Li・Takashi Watanabe (Shizuoka Univ.)

USN-21. [ポスター講演] 無線センサネットワークにおけるランダムネットワークコーディングと経路次元符号化を用いたフレンジングの一検討

○菅尾悠貴・岡田 啓・

小林健太郎・片山正昭 (名大)

USN-22. [ポスター講演] バッテリーレス無線センサの残エネルギー適応スリープ制御の実験

○井元則克・三村智彦・

山本高至・守倉正博 (京大)

USN-23. [ポスター講演] 人間関係におけるつながり感の定量化に向けた一検討

○吉田 学・今田美幸 (NTT)・

廣瀬 慧 (阪大)・金 順暎・松尾真人 (NTT)

USN-24. [ポスター講演] セクタアンテナを用いた無線センサネットワークにおけるマイナーロープ推定による近隣発見手法

○甲斐祐弥・小田康明・富田真宏・宮路祐一・上原秀幸・

大平 孝 (豊橋技科大)

USN-25. [ポスター講演] 可視光通信を用いた路車間通信・測距統合システム

○大村明寛・山里敬也・岡田 啓・

藤井俊彰 (名大)・圓道知博 (長岡技科大)・

荒井伸太郎 (香川高専)

USN-26. [ポスター講演] CSMA/CA をベースとする時間差アクセス方式における最適パラメータ設定についての検討

○宮島 梓・間瀬憲一 (新潟大)

USN-27. [ポスター講演] サービス適応層を用いた汎用 ID 情報プラットフォーム

○五十嵐祐貴・宮崎圭太・

佐藤友紀・三次 仁 (慶大)

USN-28. [ポスター講演] Bluetooth による近接性検出タイミングの行動認識を用いた制御手法

○清水和人・

木實新一・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)

18 日午前 行動認識

1. 複数センサを用いた屋内細粒度行動認識の自動化

○西尾信彦・藤井陽光 (立命館大)

2. ウェアラブルセンサを用いた行動認識技術の欠損特微量補完による耐故障性向上

○内田稜真・大村 廉 (豊橋技科大)

3. 在宅患者見守りのための周辺器具からの情報収集システムの構築

○浦島 智・鳥山朋二・中村正樹 (富山県立大)

応用

USN-4. ユビキタスデータ共有機構 uTupleSpace における改良アクセス制御方式の実装と評価

○柏木啓一郎・

荒川 豊・中村隆幸・中村元紀 (NTT)

USN-5. 海水浴場の表層流観測に対する無線センサネットワークの適用

○芝田 浩 (広島商船高専)・岡辺拓巳・

青木伸一・北山晋平・上原秀幸 (豊橋技科大)

AN-6. 無線センサネットワークによる地震加速度の広域モニタリングに関する検討

○神能孝誠・

ネンホアンマラー ティッパワン・藤原孝洋 (函館高専)

18 日午後 システム 2 (13:20~)

USN-7. オンデマンド型電力制御システムのための蓄電池設計と充放電管理

○田村健人・加藤丈和・松山隆司 (京大)

USN-8. LSN: 論理的センサネットワークを用いた動的なセンサマッピング機構

○生天目直哉・中澤 仁・

徳田英幸 (慶大)

USN-9. DHT を用いた地理的探索手法の提案

○寺山淳基・中澤 仁・徳田英幸 (慶大)

ユビキタス応用

10. アンビエントな人物誘導のための照明制御

○神 龍太・小林祥朋・栗山 繁 (豊橋技科大)

11. 対話型移動支援システムの設計

○里中裕輔・

西尾信彦 (立命館大)

12. CHANTAKU: 多様なフィルタリングとスケール・レンジフリーな閲覧を実現するライフログ可視化システム

○北沢 匠・西尾信彦 (立命館大)

13. Mining Life-log Sensing Data to Extract User's Significant Locations and Movement

○Niken Tri Mahayani・

Takumi Kitazawa・Nobuhiko Nishio (立命館大)

◆情報処理学会;ユビキタスコンピューティングシステム研究会連合

◎17 日夕方懇親会を開催致しますので御参加下さい。

◎18 日 16:35~17:05 に AN 研究会と USN 研究会の表彰式を行います。

☆AN 研究会

【問合先】

山本高至 (京大)

TEL [075] 753-5351, FAX [075] 753-4982

E-mail: kyamamot@i.kyoto-u.ac.jp

大和田泰伯 (NICT)

TEL [042] 327-7314, FAX [042] 327-6680

E-mail: yowada@nict.go.jp

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~an/>

☆USN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 19 日 (木), 20 日 (金) 岩手大 [未定] テーマ: 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散

MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・

センサネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

今田美幸 (NTT), 中澤 仁 (慶大)

E-mail: usn-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, USN 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~usn/index.html>

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 津田邦男・須原理彦 幹事補佐 上田哲三・葛西誠也

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 島村俊重・阿部克也 幹事補佐 圓佛晃次・佐藤知正

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 遠藤哲郎 副委員長 奈良安雄

幹事 小野行徳・野村晋太郎 幹事補佐 笹子佳孝

5 月 26 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 5 月 17 日 (木) 13:00~17:10

18 日 (金) 9:00~16:30

会場 豊橋技術科学大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

3F プロジェクト研究交流室 (豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1. JR 豊橋駅からバス・タクシー利用で約 30 分. <http://www.tut.ac.jp/about/access.html> TEL [0532] 44-6721 岡田 浩)

議題 結晶成長, 評価及びデバイス (化合物, Si, SiGe, 電子・光材料)

17 日 Si ウェーハ上結晶成長・評価・デバイス応用

1. [招待講演] 一次元縦積連続シリコン系量子ドットの形成と発光ダイオードへの応用 ○牧原克典・宮崎誠一 (名大)

2. 高温成長による GaAsN 混晶の結晶性向上

○深見太志・浦上法之・関口寛人・岡田 浩・若原昭浩 (豊橋技科大)

3. Si 基板上無転位発光素子構造の実現に向けた n 型及び p 型 AlGaPN 混晶の電気的特性の評価 ○伊藤宏成・熊谷啓助・関口寛人・岡田 浩・若原昭浩 (豊橋技科大)

4. Si 基板上半極性面 (1-101) GaN ストライプ上 InGaN/GaN 多重量子井戸構造の偏光特性 ○久志本真希・谷川智之・本田善央・山口雅史・天野 浩 (名大)

5. MOVPE 法による Si 基板上 GaP の成長速度依存性

高木達也・華 俊辰・宮原 亮・○高野 泰 (静岡大)

センサ

6. MEMS ファブリペロー干渉計を用いた表面応力センサによる非標識たんばく質検出 ○高橋一浩・大山泰生・三澤宣雄・奥村弘一・石田 誠・澤田和明 (豊橋技科大)

7. γ - $\text{Al}_2\text{O}_3/\text{Si}$ 基板上のエピタキシャル PZT 薄膜を用いた超音波トランスデューサアレイの作製と送受信特性

○尾崎勝弥・西村将人・鈴木啓佑・沼田泰幸 (豊橋技科大)・岡田長也 (本多電子)・赤井大輔・石田 誠 (豊橋技科大)

8. 光化学堆積 SnO_2 薄膜を用いた小型携帯式水素センサの試作

○オ ドンボリル・森口幸久・市村正也 (名工大)

9. Ga_2O_3 酸素センサの作製と評価

○以西雅章・山本貴弘・鳥井琢磨 (静岡大)

18 日午前 FET, 界面・結晶評価

1. 半導体ドレイン層及び狭チャネルメサ幅による縦型 InGaAs チャネル MISFET の高電圧利得化 ○柏野壮志・平井 準・池田俊介・藤松基彦・宮本恭幸 (東工大)

2. ドライエッチ面を含む $\text{Al}_2\text{O}_3/\text{AlGaIn}/\text{GaN}$ 構造の界面評価

○谷田部然治・堀 祐臣・金 聖植・橋詰 保 (北大)

3. 縦型 GaN デバイスを旨とした GaN 基板の評価

○加地 徹・上杉 勉 (豊田中研)

ワイドギャップ及び Ge (成長・評価・物性)

4. N 間欠供給による n-GaPN:S の有機金属気相成長と電気的特性の検討 ○永本勇矢・松岡勝彦・関口寛人・岡田 浩・若原昭浩 (豊橋技科大)

5. 金属誘起結晶成長法による SiC 薄膜の低温結晶化の試み

○阿部克也・牛草遼平・坂口優也・周 澤宇・山上朋彦 (信州大)

6. 低エネルギー電子線照射を施した p 型 4H-SiC における再結合中心の評価 ○吉原一輝・加藤正史・市村正也 (名工大)・畑山智亮 (奈良先端大)・大島 武 (原子力研)

7. SiGe 基板上へのひずみ Ge エピタキシャル層成長と結晶物性評価 ○山羽 隆・中塚 理 (名大)・木下恭一・依田眞一 (JAXA)・財満鎮明 (名大)

18 日午後 酸化物 (成膜・評価), 電子源

8. 第一原理計算によりもとめた $\text{CdS}/\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$ ヘテロ接合界面バンドオフセットの結晶構造と面方位依存性

○ホウ ウジスグリム・市村正也 (名工大)

9. Electrodeposition of Ga_2O_3 Thin Films from Aqueous Gallium Sulfate Solutions ○Junie Jhon M. Vequizo・Masaya Ichimura (Nagoya Inst. of Tech.)

10. 電気化学堆積 Cu_2O 薄膜への H_2O_2 処理

○宋 瑛・市村正也 (名工大)

11. 柱状 Si ナノ構造における局所電気伝導と電子放出特性評価

○竹内大智・牧原克典 (名大)・池田弥次 (広島大)・宮崎誠一 (名大)・可貴裕和・林 司 (日新電機)

光材料・デバイス

12. スパッタリング法による LiMn_2O_4 薄膜の生成と評価

○丹羽彬夫・以西雅章・中村光宏・野口貴史 (静岡大)

13. TiO_2 薄膜の光触媒特性向上のための助触媒効果

○以西雅章・中村郁太・稗田祐貴・深澤史也 (静岡大)・星 陽一 (東京工芸大)

14. 静電マイクロアクチュエータを用いたサブ波長格子可変カラーフィルタ ○本間浩章・宮尾 肇・高橋一浩・石田 誠・澤田和明 (豊橋技科大)

15. WGM を介した光周波数信号伝達の検討 ○福原誠史・ユーイエンリン・相原卓磨・中川恭平・山下裕隆 (豊橋技科大)・山口堅三 (香川大)・福田光男 (豊橋技科大)

◆応用物理学会共催, 豊橋技科大 VBL 協賛

◎17 日研究会終了後, 豊橋技科大 VBL ラボツアー及び懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ED 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 27 日 (水)~29 日 (金) 沖縄県青年会館 [未定] テーマ: 2012 先端半導体デバイスの基礎と応用に関するアジア太平洋ワークショップ

7 月 26 日 (木), 27 日 (金) 福井大 [5 月 21 日 (月)] テーマ: 半導体プロセス・デバイス (表面, 界面, 信頼性), 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

原 直紀 (富士通研)

TEL [046] 250-8242, FAX [046] 250-8168

E-mail: hara.naoki@jp.fujitsu.com

津田邦男 (東芝)

TEL [044] 549-2142, FAX [044] 520-1501

E-mail: kunio.tsuda@toshiba.co.jp

須原理彦 (首都大東京)

TEL & FAX [042] 677-2765

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北大通研 [6 月 15 日 (金)] テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 21 日 (木) 名大 [締切済] テーマ: ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術 (応用物理学会; シリコンテクノロジー分科会共催)

6月27日(水)~29日(金) 沖縄県青年会館〔未定〕テーマ:2012 先端半導体デバイスの基礎と応用に関するアジア太平洋ワークショップ

8月2日(木),3日(金) 札幌市〔未定〕テーマ:低電圧/低消費電力技術,新デバイス・回路とその応用

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小野行徳 (NTT)
TEL [046] 240-2641, FAX [046] 240-4317
E-mail : ono.yukinori@lab.ntt.co.jp

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 榮藤 稔・大町真一郎
幹事 玉木 徹・藤吉弘巨 幹事補佐 飯山将晃・関 真規人
5月26日からの専門委員長,副委員長,幹事,幹事補佐
専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 堀田政二・田中 宏

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 5月17日(木) 10:00~17:15
18日(金) 9:30~16:45

会場 名古屋工業大学講堂会議室(会場1),3号館2階機械工学科会議室(会場2)(名古屋市昭和区御器所町。JR:鶴舞駅から徒歩7分,地下鉄:鶴舞駅から徒歩10分,地下鉄:吹上駅から徒歩16分。<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>
TEL [052] 735-5113 福嶋慶繁)

議題 医療における多次元大規模データ解析

17日午前 一般セッション1 (10:00~11:30)

- 位相限定相関法によるスローアウェイチップのアライメントフリー検査 ○新井佑哉・段 桂芳・陳 延偉 (立命館大)
- 固有空間法による単視点顔画像から3次元表情動画の生成 ○大澤隼也・石本 守・段 桂芳・陳 延偉 (立命館大)
- K-CPD: Learning of Dictionaries for Tensor Sparse Coding ○Guifang Duan・Yen-Wei Chen (Ritsumeikan Univ.)

一般セッション2 (10:00~11:30)

- Sparse Dictionary Representation and Propagation for MRI Volume Super-Resolution ○Xianhua Han・Yen-Wei Chen (Ristumeikan Univ.)
- ベクトル量子化と多様体学習を用いた超解像技術 ○谷口和輝・韓 先花・岩本祐太郎・笹谷 聡・陳 延偉 (立命館大)
- 変分原理によるオペティカルフロー場の時間超解像に関する研究 ○稲垣 俊・井宮 淳 (千葉大)

17日午後 特別講演セッション (13:00~13:50)

- 〔特別講演〕非剛体位置合わせのための曲面の統計形状モデル 本谷秀堅 (名工大)

テーマセッション1 (14:30~16:00)

- A novel method for modes selection in statistical shape model for computer-aided diagnosis ○Jie Luo・Shinya Kohara・Xian-Hua Han・Tomoko Tateyama (Ritsumeikan Univ.)・Shuzo Kanasaki (Shiga Medical Science Univ.)・Akira Furukawa (Tokyo Metropolitan Univ.)・Yen-Wei Chen (Ritsumeikan Univ.)

- SPHARM ベース統計形状モデルと点分布ベース統計形状モデルとの性能比較 ○健山智子・桶川 萌・小原伸哉・韓 先花 (立命館大)・古川 顕 (首都大東京)・金崎周造 (武田病院)・陳 延偉 (立命館大)

- 人工股関節カップ3次元手術計画自動立案における学習データ構築自動化のための実験的検討 ○中西裕紀・音丸 格・横田 太 (神戸大)・鍵山善之 (山梨大)・中本将彦・高尾正樹・菅野伸彦 (阪大)・多田幸生 (神戸大)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)

テーマセッション2 (16:15~17:15)

- 正常部分空間の直交補空間を用いた臓器形状の疾患部分空間に基づく正常・疾患の識別 ○東浦圭佑 (立命館大)・岡田俊之 (阪大)・横田 太 (神戸大)・堀 雅敏・高尾正樹・菅野伸彦 (阪大)・陳 延偉 (立命館大)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)

- ラベルのない領域情報を用いた Self-training と大腸内視鏡 NBI 画像診断への応用 竹田孝碑史・○玉木 徹・ライチエフ ビゼル・金田和文・栗田多喜夫・吉田成人・竹村嘉人・藤地啓市・宮木理恵・田中信治 (広島大)

18日午前 一般セッション3 (9:30~11:30)

- 不均一分散を特徴とする Procrustes 解析とその応用 ○小林由佳 (MUSK)・数藤恭子 (NTT)・金子 博 (東邦大)・田貝和俊 (NEC)・佐野睦夫 (阪工大)
- 局所特徴量の部分空間を用いた複雑背景下での3次元特定物体認識 ○岡田拓郎・柏木隆宏・黄瀬浩一 (阪府大)
- 色の固有空間学習を用いたメイク転写システムの開発 ○牟田賢司・河原崎康友・大村瑞穂・瀬尾昌孝・陳 延偉 (立命館大)

- Generalized N-Dimensional Independent Component Analysis and its Application to Multiple Feature Selection and Fusion for Image Classification ○Ai Danni・Duan Guifang・Han Xianhua・Chen Yen-Wei (Ritsumeikan Univ.)

18日午後 特別講演セッション2 (13:00~13:30)

- 〔特別講演〕国際会議 MICCAI (Medical Image Computing and Computer Assisted Intervention) 森 健策 (名大) 一般セッション4 (13:30~15:00)

- Analysis of hepatic blood vessels for liver surgery planning based on multislice CT datasets ○Ahmed S. Maklad・Mikio Matsuhiro・Hidenobu Suzuki・Yoshiki Kawata・Noboru Niki・Toru Utsunomiya・Mitsuo Shimada (Tokushima Univ.)・Noriyuki Moriyama (National Cancer Center)

- 大血管と臓器領域間の最適経路探索に基づく多時相三次元腹部 CT 画像からの血管名自動対応付け一血管候補領域抽出法の改善一 ○鈴木裕紀・岡田俊之 (阪大)・横田 太 (神戸大)・堀 雅敏・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)

- 胃内視鏡画像からの早期がん自動検出に関する基礎的検討 ○木村翔太・長谷川純一 (中京大)・森 健策 (名大)・三澤一成 (愛知県がんセンター)

一般セッション5 (15:15~16:45)

9. 脊椎構造解析による骨粗鬆症診断支援アルゴリズム

○高橋英治・河田佳樹・仁木 登 (徳島大)・
中野恭幸 (滋賀医科大)・原田雅史 (徳島大)・
森山紀之 (国立がん研究センター)

10. チェーンコードを用いた等値面データの情報量削減

○山下主税・西尾孝治・小堀研一 (阪工大)

11. 3次元位相限定相関法を用いた非剛体ボリウムレジストレーションに関する検討

○田島裕一郎・伊藤康一・
青木孝文 (東北大)

◎17日14:00~14:30にPRMU賞・MI賞の授賞式を行います。

☆IE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月 関東〔未定〕テーマ: IPTV, 画像符号化, ストリーム技術, マルチメディアホームネットワーク, ウェアラブルコンピューティング, コンテンツネットワーク, モバイルマルチキャスト及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

内藤 整 (KDDI 研)

E-mail: ie-kanji2011@mail.ieice.org

☆PRMU研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月29日(金), 30日(土) 早大〔締切済〕テーマ: 自然言語とパターン認識の境界

【問合先】

PRMU研究会幹事宛

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆MI研究会

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121 内線 2423, FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 小倉邦男

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 小山 良・今村勝徳

5月26日からの専門委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 富田 茂

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

日時 5月24日(木) 14:00~18:35

25日(金) 9:00~12:35

会場 飛騨・世界生活文化センター (高山市千島町900-1. JR高山駅からバス20分. <http://www.hida-center.jp/access/in dex.html> TEL [0577] 37-6111)

議題

24日

1. [招待講演] OFC/NFOEC2012 報告—光ファイバ関連—

山本義典 (住友電工)

2. コネクタ接続を考慮した多角形クラッドのマルチコアファイバ

○田中正俊・八若正義・藤巻洋介・楠 修一・

第一種研究会開催案内

谷口浩一 (三菱電線)

3. モード多重伝送用モードファイバの設計に関する検討

○笠原基幹・齊藤晋聖 (北大)・坂本泰志・半澤信智・
松井 隆 (NTT)・小柴正則 (北大)・富田 茂 (NTT)

4. 空孔付加型 Aeff 拡大低マイクロバンド損失のメカニズムとその最適化検討

○土田幸寛・武笠和則・杉崎隆一 (古河電工)

5. [特別招待講演] 高性能・高信頼性石英系光ファイバの研究開発

小倉邦男 (古河電工)

6. 量子ドットレーザとホーリーファイバによる O-band 光伝送システムの評価

○倉田泰成・小見川 祐・五十子拓哉・

外林秀之 (青学大)・山本直克・赤羽浩一・

川西哲也 (NICT)・吉岡毅毅・高井祐司 (東京電機大)

7. 半導体光増幅器を用いた多波長一括光信号波形変換

○井上翔太・松浦基晴・來住直人 (電通大)

8. 広波長域低損失大口径ファイバ

○愛川和彦・

麻野将弘・林 和幸・宮地正巳・工藤 学 (フジラ)

9. Long-period fiber grating with multi resonant wavelengths fabricated by a CO₂ laser for high temperature distributed sensing

○Yutaka Katsuyama・Saburo Kasahara・

Yutaka Tokunaga・Osanori Koyama (Osaka Pref. Univ.)

25日

1. [チュートリアル講演] 光ファイバセンサの技術動向

山内良三 (フジラ)

2. 光ファイバプローブを用いたレーザブレイクダウン分光による土壌成分分析の試み

○関 竜介・片桐崇史・

松浦祐司 (東北大)

3. 誘電体薄膜で構成された中空光ファイババンドルの提案と製作

○小林 駿・片桐崇史・松浦祐司 (東北大)

4. 通線ワイヤの自己位置推定に関する検討

○川野友裕・

真鍋哲也・東 祐司 (NTT)

5. 被覆除去機能付き現地組立光コネクタ

○佐野知巳・

佐々木 大・高橋俊明・大塚健一郎 (住友電工)・為国芳享・

斎藤和人 (SEOF)

6. 隙間配線インドア光ファイバケーブルの開発

○伊藤直人・福手貴朗・佐山忠義・塩原 悟・村田 暁・

岡田直樹 (フジラ)

7. 心線対照可能な通信光と対照光のレベル差の検討

○中澤賢一・榎本圭高・碓 茂樹 (NTT)

8. 光線路試験システムの経済化及び光ケーブル被災状況把握への適用

○榎本圭高・中澤賢一・藏谷 渉・碓 茂樹 (NTT)

◎24日の研究会終了後, 懇親会を予定しています。後日, 懇親会の参加アンケートをとりますので御協力下さい。

☆OFT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月30日(木), 31日(金) サンリフレ函館 [6月15日

(金)] テーマ: 【光ファイバ伝送路】 光ファイバケーブル・

コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線

路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技

術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光

信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工,

ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT 研究会では、2011 年 1 月より「奨励賞」, 「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので、積極的な御投稿をお願い致します。

◎選奨規定については、OFT ホームページを御参照下さい。
<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

——北陸支部における開催——

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 勝山 造 副委員長 津田裕之

幹事 宮本智之・篠田和典

5 月 26 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治

幹事 篠田和典・田中 有

日時 5 月 25 日 (金) 9:30~16:10

会場 福井大学文京キャンパス総合研究棟 I 13 階大会議室 (福井市文京 3-9-1. http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/access.html 川戸 栄)

議題 量子光学, 非線形光学, 超高速現象, レーザ基礎, 及び一般

1. 広帯域パルスの単色成分位相変調を用いた位相敏感 CARS 分光
○鈴木隆行・三沢和彦 (東京農工大)
2. 垂直入射型 Si 光検出器と光導波路の集積化に向けた導波路型回折格子結合器の解析
○李 根・江渕真伍・橋本康典・丸山武男・飯山宏一 (金沢大)
3. PLZT 埋め込み型導波路を用いた 200 GHz チャンネル間隔アレ導波路回折格子の変調波長特性
○浅倉秀明 (慶大)・梨本恵一・David Kudzuma・Masahiko Hashimoto (エレクトロニクス)・津田裕之 (慶大)
4. トライアント型光スポットサイズ変換器を用いた Si 基板上集積光源
○羽鳥伸明 (光電子融合基盤技研/PECST)・岡野 誠 (PECST/産総研)・石坂政茂・清水隆徳・山本剛之・賣野 豊 (光電子融合基盤技研/PECST)・森 雅彦 (PECST/産総研)・中村隆宏 (光電子融合基盤技研/PECST)・荒川泰彦 (PECST/Univ. of Tokyo)
5. 通信波長帯量子ドットを用いた励起子状態のコヒーレント制御
○宮澤俊之 (東大)・中岡俊裕 (上智大)・渡邊克之・熊谷直人 (東大)・横山直樹 (富士通研)・荒川泰彦 (東大)
6. 光ピンセットで伸長した 1 分子 DNA を用いた精密力測定
○村山能宏・過足勇良・岩本卓也 (東京農工大)
7. ナノスリットグレーティングを有する表面プラズモン検出器
○相原卓磨・中川恭平・福原誠史・福田光男 (豊橋技科大)
8. 単一単色撮像素子を用いたカディジタルカラーホログラフィ
○喜入朋宏・茨田大輔・杉坂純一郎・黒田裕之・早崎芳夫・谷田貝豊彦 (宇都宮大)
9. 2 台の空間光変調素子を用いたホログラフィックフェムト秒レーザー加工システム—波長分散補正と偏光ベクトル制御—
○長谷川智士・早崎芳夫 (宇都宮大)
10. CMOS プロセスで作製した APD の青色波長帯での特性評価
○霜島敏之・前北和晃・丸山武男・飯山宏一 (金沢大)
11. 半導体光増幅器での強度雑音と周波数雑音の理論解析
山田 実 (金沢大)
12. 半導体光増幅器での強度雑音の実測
○武内伸仁・作本恭平・桑村有司・山田 実 (金沢大)

◆レーザー学会共催

◎お昼休みに懇親会を開催しますので是非御参加下さい。
会費: 一般 500 円 当日受付にてお申し込み下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 22 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: アクティブデバイスと集積化技術, 一般 [材料デバイスサマーミーティング]

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北大通研 [6 月 15 日 (金)]
テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8249

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 吉田正樹 副委員長 小池康晴

幹事 新川拓也・井澤 淳 幹事補佐 中村英夫・吉村奈津江

5 月 26 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・未定 幹事補佐 吉村奈津江・未定

日時 5 月 25 日 (金) 10:30~17:00

会場 富山大学工学部五福キャンパス (富山市五福 3190. JR 富山駅から市内電車で 10 分, または富山空港から車で 30 分。
<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/access/index.html> TEL [076] 445-6720 中島一樹)

議題 ME, 一般

1. 黒目面積を用いた瞬き検出における自動閾値設定法
○加藤秀太・高野博史・中村清実 (富山県立大)
 2. 瞳孔変動を用いた快・不快推定システムの開発
○河合修平・高野博史・中村清実 (富山県立大)
 3. サイレントスピーチ BCI—発話ジャンケン時とサイレントジャンケン時の運動準備電位—
○山田雅也・山崎敏正 (九工大)・上條憲一 (NEC)・山ノ井高洋 (北海学園大)
 4. 連合野—内嗅野—海馬系 (AEH) モデルによる顔認識における方位選択性特徴の効果
○小塩達也・高野博史・中村清実 (富山県立大)
- 午後 (13:30~)
5. 調節鏡視下手術のコンピュータ支援のための鏡視画像を用いた 2D/3D レジストレーション
○中村亮介・林 豊彦・大森 豪・渡邊 聡・前田義信・渡辺哲也 (新潟大)
 6. 24 時間心拍変動モニタリングによる敗血症性ショック発症の予知
○河村洋子・横田康成 (岐阜大)・松丸直樹・白井邦博 (岐阜大医学部附属病院)

7. 野球の投球動作にみられる「胸の張り」の評価法
○井田元樹・林 豊彦・前田義信・渡辺哲也（新潟大）・
田中 洋・二宮裕樹・駒井正彦・信原克哉（信原病院）
8. 義足のアライメント変化による、主観評価と立位姿勢の関係
性-Inset・Outset 時の現象—
○須田裕紀・林 豊彦（新潟大）
9. 視覚障害者向け能動的歩行器のガイドロボットの開発
○吉田卓矢・チャピ ゲンツィ（富山大）
10. ロボットアームによるの自発的リハビリ支援機器の開発
チャピ ゲンツィ（富山大）
11. 腕時計型光電容積脈波センサによる運動時心拍数推定
○福島隼人・河中治樹・小栗宏次（愛知県立大）
12. 青色と近赤外 LED を用いた光電脈波法で検出される呼吸波形の比較
○長谷川敬志・中島一樹・金 主賢・
斎藤建夫・佐々木和男（富山大）
- ◆日本生体医工学会；ME とバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
6月22日（金）北大〔締切済〕テーマ：ME，一般

【問合せ先】

中村英夫（阪電通大）
〒575-0063 四條畷市清滝 1130-70
TEL & FAX [072] 876-5128
E-mail : h-nakamu@isc.osakac.ac.jp

— 関西支部における開催 —

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 三好正人 副委員長 小野一穂
幹事 木村敏幸・大谷 真 幹事補佐 戸上真人
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 山田 功 副委員長 大田恭士・澤田 宏
幹事 湯川正裕・大谷 猛 幹事補佐 木下慶介
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延
幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 山下洋一
幹事 北岡教英・森 大毅 幹事補佐 坂野秀樹・藤本雅清
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒
幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 5月24日（木） 10：45～17：35
25日（金） 10：00～16：50

会場 大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53. 京
阪中之島線：中之島駅より徒歩約5分，JR 環状線：福島駅よ
り徒歩約12分，地下鉄四つ橋線：肥後橋駅より徒歩約10分.
<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/> TEL[06]6444-2100 川村 新
議題 音声・音響信号処理，音声及び一般

24日午前 A会場（10：45～12：00）

- 経験的モード分解と変調スペクトル分析を用いた音声区間検出の耐性向上に関する検討 ○金井康昭・
鵜木祐史（北陸先端大）
- 変調伝達関数に基づいたパワーエンベロープ回復処理における音声区間検出の検討 ○鵜木祐史（北陸先端大）・
ル シュガン（NICT）・ペトリック リコ（ドレスデン工科大）・
森田翔太・赤木正人（北陸先端大）・
ホフマン ルディガー（ドレスデン工科大）
- 実環境下における情報提示音声の位相干渉に基づく音響測距法の検討 ○中山雅人（立命館大）・根木佑真・
中迫 昇（近畿大）・上保徹志（ワイヤデバイス）・
西浦敬信（立命館大）

B会場（10：45～12：00）

- 外れ値の除去を伴う事例ベース画像インペインティング法
○三崎寛晃（阪大）・中静 真（千葉工大）・飯國洋二（阪大）
- 方向成分を考慮した輝度-色差重畳法によるカラー画像復元
○宮下侑子（宇都宮大）・田中雄一（東京農工大）・
長谷川まどか・加藤茂夫（宇都宮大）
- Adaptive Generalized Eigen-pair Extraction by A Combination of Normalization and Quasi-Newton Algorithm
Tuan Duong Nguyen・○Isao Yamada（Tokyo Inst. of Tech.）

24日午後 A会場（13：20～14：35）

- 工場雑音環境下における DSP ボードを用いた雑音抑圧法
○寺島大雅・守谷英純・名取隆廣（諏訪東京理科大）・
若御子雅英（ミクロン精工）・田邊 造（諏訪東京理科大）・
古川利博（東京理科大）
- 2周波数混合波形による瞬時周波数計測の精度測定
○西江純教・赤木正人（北陸先端大）
- 母音ホルマント分布に基づく男女間平均声道長比の推定
○坂田 聡・上田裕市・渡邊 亮（熊本大）

B会場（13：20～14：35）

- FXLMS アルゴリズムの統計力学的解析とその精度
○三好誠司・梶川嘉延（関西大）
- バーチャルマイクロホンを用いたフィードバック ANC システムに関する検討 ○宮崎信浩・梶川嘉延（関西大）
- オールパスフィルタの付加によるダクト用アナログ ANC 回路の性能向上 ○兵藤 樹・朝倉 岳・塚田 究・
加藤正史（名工大）

A会場（14：45～16：25）

- スペクトル包絡に基づくパラメトリックスピーカの復調評価
○生藤大典・中山雅人・森勢将雅・西浦敬信（立命館大）
- ランキング方式を適用した IGA によるオーディオイコライザのパラメータ自動調整法 ○横田真弘・梶川嘉延（関西大）
- 多面体スピーカを用いた母音・子音放射特性の模擬
○吉元直輝・中山雅人・森勢将雅・西浦敬信（立命館大）
- 実時間音源位置推定のための空間・周波数領域多重解像度走査の評価 ○林田亘平・中山雅人・森勢将雅・西浦敬信・
山下洋一（立命館大）

B会場（14：45～16：25）

- 再帰的なデータ最小二乗法を用いたダイレクトブラインド ZF 等化器 ○堀内 亮（諏訪東京理科大）・八木利弘・
名取隆廣（東京理科大）・田邊 造（諏訪東京理科大）・
古川利博（東京理科大）
- MC-CDMA 通信方式のためのブロック長制御を考慮したアフィン射影型ブラインドマルチチューザ検出器

- 大場正太・名取隆廣（東京理科大）・
田邊 造（諏訪東京理科大）・古川利博（東京理科大）
19. ゼロ位相信号解析に基づく減衰振動を伴う打撃音の除去
○香村紗友梨・川村 新・飯國洋二（阪大）
20. 有理数周期をもつ正弦波入力に対する NLMS アルゴリズム
の収束値 ○里見祐樹・川村 新・飯國洋二（阪大）

A 会場（16：35～17：35）

21. [招待講演] 音声強調処理における高次統計量の利用
○猿渡 洋・宮崎亮一・鹿野清宏（奈良先端大）

25 日午前 A 会場（10：00～11：40）

1. 巡回型と非巡回型縦続接続適応フィルタの音響エコーキャン
セラへの適用に関する検討 ○澤田拓也・桑原祐輔・
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・
森本雅和（兵庫県立大）
2. 混合音響信号からの伴奏音の一除去法 ○田中耕治・
相川直幸（東京理科大）
3. SS 法に基づく雑音残響除去法の実環境下における評価
○小谷恭平・王 龍標・甲斐充彦（静岡大）
4. 2 チャネル音源分離のための単一話者区間検出法の検討
○足舄昇平・川村 新・飯國洋二（阪大）

25 日午後 A 会場（13：00～14：00）

5. [招待講演] アレイ信号処理の基礎と応用
浅野 太（産総研）
- A 会場 オーガナイズドセッション：スピーチエンハンスメント
（14：10～15：25）
6. SPLICE に基づく音声・口唇画像情報を用いた雑音環境下音
声認識 ○柏木陽佑・鈴木雅之・峯松信明・
広瀬啓吉（東大）

7. 雑音抑圧と SPLICE を組み合わせた雑音環境下音声認識
○甲斐常伸・鈴木雅之・峯松信明・広瀬啓吉（東大）
8. 残響マルチコンディションモデルを用いたマルチステージ非
日常音識別の検討 ○小川純平・林田亘平・中山雅人・
森勢将雅・西浦敬信・山下洋一（立命館大）

A 会場 オーガナイズドセッション：スピーチエンハンスメント
（15：35～16：50）

9. 周波数領域適応線スペクトル強調器による音声強調の研究—
相関分離パラメータとその適用帯域の適応的制御—
○中西 功・難波宏徳・李 仕剛（鳥取大）
10. 残響下音声認識における発話様式の実験的分析と評価
○福森隆寛・中山雅人・森勢将雅・西浦敬信・
山下洋一（立命館大）
11. ブラインドインパルス応答推定を用いた残響下音源位置推定
法の提案 ○倉谷泰弘・林田亘平・中山雅人・森勢将雅・
西浦敬信・山下洋一（立命館大）

◆日本音響学会；電気音響研究会，音声研究会，IEEE Signal
Processing Society Japan Chapter 共催

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 6月8日（金）ヤマハ [締切済] テーマ：一般
7月19日（木），20日（金）北海道医療大 [5月14日（月）]
テーマ：応用（電気）音響，音楽音響，聴覚，一般
8月 仙台市内 [未定] テーマ：音響信号処理，聴覚，一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

大谷 真（信州大工学部）
TEL [026] 269-5474, FAX [026] 269-5495

E-mail : otani@cs.shinshu-u.ac.jp

☆SIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 7月2日（月），3日（火）京都市ササケパーク [締切済]
テーマ：システムと信号処理及び一般
10月 盛岡 [未定] テーマ：プロセッサ，DSP，画像処理技
術及び一般
1月 呉 [未定] テーマ：無線通信のための信号処理及び一般
3月 藤沢周平記念館（鶴岡市） [未定] テーマ：ネットワー
ク，通信のための信号処理及び一般

[問合先]

湯川正裕（新潟大）
TEL & FAX [025] 262-7549
E-mail : yukawa@eng.niigata-u.ac.jp

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 6月14日（木），15日（金）NTT 厚木研究開発センタ [締
切済] テーマ：音声知覚生成／聴覚コミュニケーション，一
般（日本音響学会；聴覚研究会共催）

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司
幹事 西川健二郎・加屋野博幸 幹事補佐 佐藤 圭・鴨田浩和
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 大平 孝
副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司
幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 5月24日（木）14：00～17：10
25日（金）9：00～14：40

会場 京大生協存環研究所木質ホールセミナー室（宇治市五ヶ
庄，JR 奈良線：黄檗駅下車徒歩4分，京阪宇治線：黄檗駅下
車徒歩5分。http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/access.html
TEL [0774] 38-3807 篠原真毅）

議題 マイクロ波一般

24日 マイクロ波一般

MW-1. 高周波バンドパス位相進み回路を用いたカルテシアン
フィードバック増幅器の広帯域化 ○松永直子・
堀口健一・林 亮司・檜枝護重（三菱電機）

MW-2. W-CDMA 用マルチ出力モード増幅器の高性能化
○嘉藤勝也・松永直子・新庄真太郎・堀口健一・
檜枝護重（三菱電機）

MW-3. 同軸共振器装荷 BJT 発振器の Q の解析と評価
○三輪清孝・森正朝也・伊東健治・別段信一・牧野 滋・
廣田哲夫・野口啓介（金沢工大）・大平 孝（豊橋技科大）

無線電力伝送

WPT-4. Characteristic Analysis on Double Side Spiral
Resonator's Thickness Effect on Transmission Efficiency-
Distance Features for Wireless Power Transmission

○Wei Wei (Univ. of Tokyo)・Yoshihiro Kawahara (GIT)・
Naoki Kobayashi・Hiroshi Fukuda・
Tsuneo Tsukagoshi (NEC)・Manos Tentzeris (GIT)・
Tohru Asami (Univ. of Tokyo)

WPT-5. 電磁界共鳴結合共振器を用いた複共振形 ZVS ワイヤレ
ス給電システムの動作解析 細谷達也（村田製作所）

WPT-6. 結合共振型無線電力伝送における開放型，短絡型スバ

イラルアンテナに関する検討 ○小松佳奈子・天野智博・平山 裕・菊間信良・榊原久二男 (名工大)
WPT-7. 受電体の設置角度に依存しないシームレスな非接触給電 ○石田哲也 (龍谷大)・粟井郁雄 (リユテック)・石崎俊雄 (龍谷大)

25 日午前 マイクロ波一般

MW-1. A Miniaturized Millimeter Wave Singly Balanced Mixer Including Input/Output Baluns On MMIC

○Jang Hyeon Jeong・Eui-Hoon Jang・Sung-Jo Han・Young Yun (Korea Maritime Univ.)

MW-2. Electron Devices Fabricated On Diamond Film Surface For Application To Hard Electronics ○Young Yun・Jang-Hyeon Jeong・Eui-Hoon Jang・Sung-Jo Han (Korea Maritime Univ.)

MW-3. An Experimental and Theoretical Investigation on Basic Characteristics of Transmission Line Employing 3D Capacitive Coupling Transmission Structure ○Eui-Hoon Jang・Jang-Hyeon Jeong・Sung-Jo Han・Young Yun (Korea Maritime Univ.)

MW-4. ビアレス平面型マイクロストリップ線路導波管変換器の広帯域設計 ○村瀬敬祐・榊原久二男・菊間信良・平山 裕 (名工大)

MW-5. メアングラフ共振器の並列配置構成を用いた多モード有極形帯域通過フィルタの設計について ○大平昌敬・馬 哲旺 (埼玉大)

MW-6. H 面導波管ウイルクソン型電力分配器

○飯尾憲一 (古野電気)・太田 勲 (兵庫県立大)

午後 無線電力伝送

WPT-7. 飛翔体への無線電力伝送に使用するインピーダンスマッチングシステムに関する研究 ○石田 隼・小泉正剛・水野嘉祐・小紫公也 (東大)

WPT-8. マイクロ波地上エネルギー伝送実験の概要と進捗

○斉藤 孝・三原荘一郎・中村修治・伊地智幸一 (USEF)

WPT-9. LSSPS の雲の透過を含む (昼夜の) 大気透過率検討

○小林智尚 (岐阜大)・熊須啓介 (JR 東海建設)・嶋田 進・吉野 純 (岐阜大)・吉田裕之・木皿且人 (JAXA)

WPT-10. SPS 小型衛星用ブレッドボードモデルを用いたソフトウェアレトロディレクティブ方式によるマイクロ波ビーム制御に関する基礎実験 ○高橋将司 (東京理科大)・田中孝治・牧 謙一郎・川原康介・佐々木 進 (JAXA)

◆無線電力伝送研究会併催, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎24 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 岐阜大 [締切済] テーマ: マイクロ波信号発生と計測技術 / 一般

【問合先】

佐藤 圭 (NTTドコモ)

TEL [046] 840-6230, FAX [046] 840-3789

E-mail: satokei@nttdocomo.co.jp

西川健二郎 (鹿児島大)

E-mail: nisikawa@ieee.org

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 宮寺庸造

幹事 小尻智子・渡辺健次 幹事補佐 森田裕介

日時 5 月 26 日 (土) 10:25~15:40

会場 近畿大学東大阪キャンパス (東大阪市小若江 3-4-1. 近鉄大阪線: 長瀬駅下車, 徒歩約 10 分. <http://www.kindai.ac.jp/access/honbu.html> TEL [06] 6730-5880 越智洋司)

議題 インタフェース技術と学習支援システム / 一般

1. 順序回路の学習支援システムの開発と評価 ○出口幸子・高木章宏 (近畿大)
2. Twitter 活用型プレゼンテーション用レスポンスシステムの開発 ○中筋浩之・越智洋司・井口信和 (近畿大)
3. 解答時間を用いた適応型テストの Moodle への実装とその評価 ○堂上 哲・荻木禎史・宇佐川 毅 (熊本大)
4. クラウド環境を利用した協調演習を可能とする IP ネットワーク構築演習支援システムの検討 ○北澤友基・越智洋司・溝淵昭二・井口信和 (近畿大)

午後

5. 読解支援における言語情報多重提示方式の試作 ○溝淵昭二 (近畿大)・安藤一秋 (香川大)・越智洋司 (近畿大)
6. 講義利用を考慮したタブレット端末型ドローイングシステムの開発 ○井手勝也・越智洋司 (近畿大)
7. 子供向け電子絵本における集中力持続のためのインタフェースの開発と初期評価 ○栗飯原 萌・菅原祐人・武田智裕・古市昌一 (日大)
8. フルオンライン学習における学生ノートの記述内容分析 ○中山 実 (東工大)・六浦光一 (信州大)・山本洋雄 (東工大)
9. 初心者への情報セキュリティの教育機会としてのハッキングゲーム CTF ○中矢 誠・富永浩之 (香川大)
10. Kinect センサーを利用した拡張現実に基づく講義支援システムの開発 ○稲垣 宏・近藤吉峰 (豊田高専)
11. Kinect を利用したモーションマイニングシステムの開発 ○武田悠也・越智洋司 (近畿大)

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 23 日 (土) 名大 [締切済] テーマ: 教育・学習支援に対する新展開 / 一般

7 月 28 日 (土) 東北学院大 [5 月 14 日 (月)] テーマ: Web 技術と先端的学習支援 / 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺健次 (佐賀大)

TEL [0952] 28-8828

E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には, 自動的に発表キャンセルとなります. 原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏
幹事 馬渡宏泰・田村信幸
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 5月25日(金) 13:00~17:45
会場 出雲グリーンホテルモーリス(出雲市駅南町2-3-4. JR
出雲市駅から徒歩1分. <http://www.hotel-morris.co.jp/izumo/access.htm> TEL [0853] 24-7700(会場) 岡村寛之)

議題 ソフトウェアの信頼性, 信頼性一般

1. チェンジポイントを考慮したソフトウェア信頼性評価のための
のハザードレートモデルに関する一考察 ○井上真二・
林田志穂・山田 茂(鳥取大)
2. 開発属性データを用いたGMDHによるソフトウェアの信頼
性予測に関する一考察 ○嶋田遼平・木村光宏(法政大)
3. 二種類の不完全点検切り替え点に関する一考察
佐藤 毅(鳥取大)
4. 消費電力制約を伴うシステム信頼性設計に関する考察
○古賀俊孝・土肥 正・岡村寛之(広島大)
5. マルコフ連鎖モンテカルロ法による位相型分布のバイズ推定
○渡辺 龍・岡村寛之・土肥 正(広島大)
6. The Availability Importance Analysis of Components in
Virtualized System ○Junjun Zheng・
Hiroyuki Okamura・Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)
7. On the Role of Weibull-type Distributions in Binomial
Software Reliability Modeling ○Xiao Xiao・
Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)
8. 取替時に二重系期間をもつシステムの最適方策
○水谷聡志(愛知工科大)・中川覃夫(愛知工大)
9. ダイナミックフォルトツリーのベイジアンネットワークモデ
リング ○弓削哲史・柳 繁(防衛大)
10. A Note on Software Performability Evaluation with System-
ability ○Koichi Tokuno・Shigeru Yamada (Tottori Univ.)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会
協賛

◎研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆R研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月15日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 電子・電気
機器の信頼性, 故障解析, 劣化診断, 信頼性一般

7月27日(金) 未定 [5月18日(金)] テーマ: 信頼性理論,
通信ネットワークの信頼性, 信頼性一般

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研 [6月15日(金)]
テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

田村信幸(法政大)
TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126
E-mail: tamura@hosei.ac.jp

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏
幹事 藤崎清孝・安藤芳晃 幹事補佐 後藤啓次
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏
幹事 安藤芳晃・平山浩一 幹事補佐 中嶋正徳

日時 5月25日(金) 9:30~16:45
会場 広島市立大学講堂小ホール(広島市安佐南区大塚東3-4-
1. JR広島駅よりJR山陽本線: 横川駅下車. バス「花の季
台・こころ西公園・こころ産業団地」方面行きバス(約13分)
で「沼田料金所前」バス停下車, 徒歩約8分. <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html>)

議題 電磁界理論一般

1. CIP-BS法における不均質媒質中の伝搬の解析
○高橋祐輔・安藤芳晃(電通大)
2. 電流分布解析におけるフレネルゾーンに基づく領域分割
○小濱臣将・安藤 真(東工大)
3. 積分方程式法とFILT法によるナノ領域過渡電磁界解析
○岸本誠也・大貫進一郎・芦澤好人・中川活二(日大)・
Chew Weng Cho (Univ. of Illinois)
4. FDTD法によるMaxwell-Schrodinger方程式混合数値解析一
ナノプレート中における電子と光の相互作用一
大貫進一郎・○竹内 嵩・佐甲徳栄・芦澤好人・
中川活二(日大)・田中雅宏(岐阜大)・
Chew Weng Cho (Univ. of Illinois)
5. FDTD法を用いた次元周期構造における有効誘電率に関する
数値的検討 ○松元和正・横田光広(宮崎大)
6. エアホール型誘電体導波路による欠陥部のエネルギー分布
○尾崎亮介・山崎恆樹(日大)
7. 埋設物探査用地中レーダの応答波形の解析(II) 一埋設物同
定のための特徴量について一 ○吉田大祐・西本昌彦・
太田 亘・田邊将之(熊本大)
8. 電磁波伝搬論に関する一考察
高橋秀臣(城所数値解析耐雷研究室)
9. 欠陥のあるラメラグレーティングによる平面波散乱問題に対
するRigorous Coupled-Wave Analysisの定式化
○渡辺仰基・中武義将(福岡工大)
10. ナノ金粒子クラスターによる光散乱吸収の解析
○松田豊稔・小田川裕之(熊本高専)・
川野光則(Lumerical Solutions)
11. フーリエ変換の方法を用いた導体曲面のエッジによる過渡散
乱界の近似解析法 ○後藤啓次・レ ホアン ロク(防衛大)

◆電気学会: 電磁界理論技術委員会連催

◎研究会終了後に同会場にて懇親会を予定しています。奮って御
参加下さい。

【問合先】

安藤芳晃(電通大)
TEL & FAX [042] 443-5160
E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 関 浩之 副委員長 中島 震
幹事 高田喜朗・満田成紀 幹事補佐 鷺崎弘宜
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治
幹事 鷺崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

日時 5月10日(木) 14:00~16:45
11日(金) 9:30~11:45

会場 愛媛大学(松山市文京町3. JR松山駅または松山市駅から伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車. <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> 阿萬裕久)

議題

10日

1. 派生開発方法論 XDDP からのプロダクトライン開発導入
○中西恒夫(九大)・クラエス イェーガー ハンセン・
ハンス ヴェルナー グリーベントローク(UHOH)・
久住憲嗣・福田 晃(九大)
2. Detecting API Patterns from Software Repositories Using
Multilevel Sequential Mining ○Rizky Januar Akbar・
Takayuki Omori・Katsuhisa Maruyama (Ritsumeikan Univ.)
3. GPGPU を用いたりポジトリマイニングのための外部ドメイン
専用言語 QORAL の提案 ○中村央記・永野梨南・
久住憲嗣・亀井靖高・鶴林尚靖・福田 晃(九大)
4. コードの内容と文脈を用いた類似コード分析手法の提案
神谷年洋(公立はこだて未来大)
5. 飛行船自動航行ソフトウェアの事例による設計段階でのス
ループット性能検証手法の評価 ○嘉戸 彰・
中田明夫(広島市大)

11日

1. 変数の生存期間を考慮してヒープメモリ使用量削減を行うマ
ルチタスクスケジューリング手法の検討 ○船瀬広岐・
中田明夫(広島市大)
2. A Weighted-Pushdown-System-Based Formal Model for
Information-Based Access Control
○Pablo Lamilla Alvarez・
Yoshiaki Takata (Kochi Univ. of Tech.)
3. Malbolge の高級アセンブリ言語への配列機能の追加
○安藤 聡・酒井正彦・坂部俊樹・草刈圭一朗・
西田直樹(名大)
4. Static Dependency Pair Method in Rewriting Systems for
Functional Programs with Product, Algebraic Data, and ML-
Polymorphic Types Keiichirou Kusakari (Nagoya Univ.)

☆SS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月27日(金), 28日(土) 公立はこだて未来大〔未定〕
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

高田喜朗(高知工科大)
TEL [0887] 57-2207, FAX [0887] 57-2220
E-mail: takata.yoshiaki@kochi-tech.ac.jp

○最新の情報は SS 研究会ホームページで御確認下さい。
<http://www.info.kochi-tech.ac.jp/sigss/>

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 浅野哲夫 副委員長 牧野和久
幹事 伊藤健洋・河内亮周
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事
専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄
幹事 全 真嬉・河村彰星

日時 5月14日(月) 10:00~17:00

会場 愛媛大学総合情報メディアセンター(松山市文京町3. 路
面電車「鉄砲町」下車. 正門は「赤十字病院前」が近いで
すが, 会場は「鉄砲町」が近いです. <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> 河村泰之)

議題

1. L 字形描画のコンパクトな符号
Md. Rezaul Karim (Univ. of Dhaka)・○中野真一(群馬大)・
Md. Saidur Rahman (BUET)
- COMP-2. 同期リングにおけるモバイルエージェント均一配置
アルゴリズム ○妻鹿敏也・大下福仁・角川裕次・
増澤利光(阪大)
- COMP-3. 非同同期リングにおけるモバイルエージェント部分集
合アルゴリズム ○柴田将拓・川合慎治・大下福仁・
角川裕次・増澤利光(阪大)
4. 木に含まれる限定サイズ部分木の列挙
○和佐州洋(北大)・宇野毅明(NII)・有村博紀(北大)
5. 完全独立全域木の十分条件について 荒木 徹(群馬大)
- COMP-6. 離散凸解析から見た Dijkstra 法
室田一雄(東大)・○塩浦昭義(東北大)
- COMP-7. 制限付き後戻り下向き構文解析器では認識不可能な
文脈自由言語について 松原俊一(青学大)
8. 非線形最適化による一様に分布するドットパターン生成
○今道貴司・沼田英俊・井手 剛(IBM)
9. The Number of Different Unfoldings of Polyhedra
○Takashi Horiyama・Wataru Shoji (Saitama Univ.)

◆情報処理学会; アルゴリズム研究会主催

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
6月21日(木) 北大〔締切済〕

【問合せ先】

伊藤健洋(東北大学院情報科学研究科)
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05
E-mail: takehiro@ceci.tohoku.ac.jp

★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉
幹事 金子晋丈・田村 基
幹事補佐 檜原 茂・鶴岡行雄・上村郷志
5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉
幹事 鶴岡行雄・檜原 茂
幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

日時 5月21日(月) 9:00~17:45
22日(火) 9:00~16:20

会場 沖縄県青年会館(那覇市久米2-15-23. モノレール: 旭橋)

駅下車徒歩5分または那覇バスターミナル下車徒歩10分。
<http://www.okiseikan.or.jp/new/page.php?7>

議題 モバイルアプリケーション、ユビキタスサービス、モバイル分散クラウド、モバイルアドホックネットワーク、センサネットワーク及び一般

21 日午前 MoMuC-1

MoMuC-1. DTN における中継ノード移動ルート決定手法の検討
○新居大治・小坂隆浩（同志社大）

MoMuC-2. 災害情報共有システムの提案
○蛭田瑞生（電通大）・鶴岡行雄（NTT）

MoMuC-3. Weather Nowcasting via Smartphones—An alternative to detect guerilla rain events—
○Jane Louie Fresco Zamora・Shigeru Kashihara・Suguru Yamaguchi（NAIST）

MoMuC-4. 忠実な動作抽出アルゴリズムを用いた手振り個体識別
○山本健太郎・上岡英史（芝浦工大）

MoMuC-2

MoMuC-5. [奨励講演] 情報化施工のためのアドホック無線測位システムにおける高精度測位手法
○三輪直樹・田頭茂明（九大）・松田浩朗・筒井隆規（飛鳥建設）・荒川 豊・福田 晃（九大）

MoMuC-6. 無線 LAN 環境におけるマルチキャスト/ユニキャスト併用型映像伝送システムの開発
○横山彰之（広島市大）・近堂 徹（広島大）・前田香織（広島市大）

21 日午後 MoMuC-3-1（12:50~）

MoMuC-7. M2M 網での無線ランダムアクセス発呼における端末グループ間の公平な輻輳制御方式の一検討
○小川猛志・小田部悟士・西沢秀樹・中村秀文・柴田高穂（NTT）

MoMuC-8. Mobile Data Offloading through the Evolved Packet System
○Dae Sun Kim・Yujin Noishiki・Yoshinori Kitatsuji・Hidetoshi Yokota（KDDI R & D Labs.）

MoMuC-9. 無線 LAN におけるピース分割とオーバヒアリングを用いた冗長トラヒック削減方式
○横瀬広明・大坐島 智・加藤聰彦（電通大）

MBL-1-1（システム基盤）

10. 新幹線車内インターネット環境の高速化に関する一考察
○寺田雅徳・寺岡文男（慶大）

DPS-1（P2P, ネットワークサービス）

11. 非構造化 P2P ネットワークにおけるピアの行動変化を考慮したファイル交換要求分散手法の検討
○牛窪洋貴・矢嶋 充・重野 寛（慶大）

12. 共生コンピューティング基盤の設計(1)
藤田 茂（千葉工大）

13. SNS を利用した情報家電の遠隔制御・監視システムの提案
○大野淳司・安本慶一・玉井森彦（奈良先端大）

14. SNS を用いた所有動画の遠隔ユーザ間での同時視聴支援システム
○池田惇耶・玉井森彦・安本慶一（奈良先端大）

DPS-2（無線通信）

15. 無線メッシュネットワークにおける通信安定化のための動的な転送リンク切替手法
○金岡弘道・吉廣卓哉（和歌山大）

16. 高接続無線マルチホップネットワークのための球形移動無線ノード
○木ノ内隆幸・松垣博章（東京電機大）

17. 経路修正とネットワークコーディングの組み合わせによる無線マルチホップ配送
○村木裕一郎・松垣博章（東京電機大）

22 日午前 MBL-1-2（システム基盤）

1. モバイルアクセス基盤システムの開発
○梅澤克之・森田伸義・磯川弘実・萱島 信（日立）

2. NTMobile の Android 端末への実装と評価
○上醉尾一真・鈴木秀和（名城大）・内藤克浩（三重大）・渡邊 晃（名城大）

3. 無線 LAN におけるスループット公平性改善手法 Compound TCP+ のパラメータ検討及び評価
○織田弘樹・久松潤之・登尾啓史（阪電通大）

MoMuC-3-2

MoMuC-4. 多端末環境下における IEEE802.11 と LTE のスループット性能に関する一検討
○高木由美（神戸大）・金田 茂（阪大/STE）・田中義三（住友電工）・太田 能（神戸大）・高井峰生（UCLA）・岡田洋侍（住友電工）

DPS 招待講演セッション

5. DPS 研主査レポート
勝本道哲（NICT）

6. 未定
青野真士（理研）

22 日午後 MBL-2（センサネットワーク）（13:15~）

7. 観測データの相関を利用した符号化テーブルの削減手法
○伊藤裕作・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭（名大）

8. A Simulator for Streaming Network Coding on Privacy Preservation WSN
○Chenchao Li・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki（Univ. of Tokyo）

9. 2-hop Scheme for Data Collection in Wireless Sensor Networks
○VUONG An Hong・TAN Yasuo・LIM Azman Osman（北陸先端大）

10. 健康指向歩行ナビゲーションのためのスマートフォンによる身体的負担度の推定
○隅田麻由・今津真也・水本旭洋・安本慶一（奈良先端大）

MBL-3（ワイヤレスネットワークング）

11. OFDM 協調通信を用いるマルチホップフラディング方式
○内藤克浩・萩野智幸・森 香津夫・小林英雄（三重大）

12. 大規模災害時の安否確認システムと広域無線網利用可能エリアへの DTN に基づいたメッセージ中継法
○小山 由・水本旭洋・今津真也（奈良先端大）・安本慶一（奈良先端大/JST CREST）

13. ドロネーオーバレイネットワークの迂回路を用いた後追い構成法の検討
○大西真晶・原井洋明（NICT）

◆情報処理学会；マルチメディア通信と分散処理研究会，モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会連催

◎21 日 10:50~11:00 MoMuC 表彰式，18:10~20:10 懇親会を行います。

☆MoMuC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 関東 [未定] テーマ：IPTV，画像符号化，ストリーム技術，マルチメディアホームネットワークング，ウェアラブルコンピューティング，コンテンツネットワーク，モバイルマルチキャスト及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

金子晋丈（慶大）

E-mail: kaneko@dmc.keio.ac.jp

田村 基（NTT ドコモ）

E-mail: tamuramo@nttdocomo.co.jp

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 竹内勇剛 副委員長 上杉 繁・渡辺昌洋

幹事 伊藤京子・松田昌史

幹事補佐 渡邊伸行・林 勇吾・井上智雄

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 大西 仁 副委員長 金子寛彦・安藤英由樹

幹事 梅村浩之・洪井 進

幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 5月22日(火) 10:00~17:30

23日(水) 10:00~16:30

会場 沖縄産業支援センター(那覇市宇小禄1831. <http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/modules/tinyd01/index.php?id=4>)

議題 コミュニケーション支援及びヒューマンコミュニケーション一般

22日午前 HCS(1)(10:00~12:05)

HCS-1. 発話速度変換会話音声の印象分析 ○池原仙一・齋藤博人・武川直樹(東京電機大)

HCS-2. 発話交替円滑化手法を用いた話速変換環境下における会話の評価 ○瀬戸洋紀・齋藤博人・武川直樹(東京電機大)

HCS-3. 沈黙時における音声・動作行動の時系列分析—非円滑な発話交替場面での修復行動と印象形成の関係—

○佐々木寛紀・武川直樹・木村 敦・徳永弘子(東京電機大)

HCS-4. Speakershipに着目した共食参与者の戦略的発話・摂食行動の分析 ○徳永弘子・武川直樹・木村 敦(東京電機大)

HCS-5. 発話中の眼球運動に現れる個人性 ○白間 綾・小泉 愛・北川智利(NTT)

HIP(1)(10:00~12:05)

HIP-6. 身体に加わる加速度とサウンドの音像移動に関する心理学実験報告(1) 長嶋洋一(静岡文芸大)

HIP-7. Eye Gesture 入力インタフェースシステムの開発

○高 トククン・中井直輝・板倉直明・水戸和幸(電通大)

HIP-8. 情報提示画面におけるキャラクターの使い方—キャラクターの注意誘導効果—

○中根 愛・中谷桃子・大野健彦(NTT)

HIP-9. 見守りのための電波型センサを用いた転倒検知方式

○磯部 翔・前野蔵人(OKI)

HIP-10. Heart Beat Drum: 未病診断のための心電図聴覚化

○柳田拓人・沖田善光(静岡大)・中村晴信(神戸大)・

甲田勝康(近畿大)・杉浦敏文・三村秀典(静岡大)

22日午後 HCS(2)(13:35~15:15)

HCS-11. 奥行き方向での視線位置が表情知覚に及ぼす影響

○小泉 愛・白間 綾・北川智利(NTT)

HCS-12. 店員エージェントの存在がフェアトレード商品の購買意欲に及ぼす影響

○木村 敦・武川直樹・

湯浅将英(東京電機大)・山本真菜(日大)・

増田知尋(農業・食品産技総研機構)・岡 隆(日大)・

和田有史(農業・食品産技総研機構)

HCS-13. Kinect センサを用いた人間らしさと個人らしさに寄与する動作認知の分析

○仲地一世(東京工芸大)・

竹内勇剛(静岡大)・片上大輔(東京工芸大)

HCS-14. 携帯型遠隔操作コミュニケーションロボットを用いたLED発光による感情の伝達

○藤江祐平・堀 磨伊也・吉村宏紀・岩井儀雄(鳥取大)

HI(1)(13:35~15:40)

15. マイクログログ投稿数の日内・週内変動と居住地域の関係

○大西佳太郎・木村龍馬・小森政嗣(阪電通大)・

三浦麻子(関西学院大)・松村真宏(阪大)

16. 分散環境下におけるアウェアネス情報提示とプライバシーの両立のための「見られている感」の向上の検討

○松井 淳・山本景子・倉本 到・辻野嘉宏(京都工繊大)

17. 頭部運動の併用によるPC作業時割込拒否度推定法の改善

○安部亮介・田中貴紘・藤田欣也(東京農工大)

18. 調停による円滑なインタラクション開始支援の検討

○田中貴紘・藤田欣也(東京農工大)

19. キネクトセンサーを用いた3次元ビデオ対話システム

○前田和甫・長谷川洗平・小森政嗣(阪電通大)

HCS(3)(15:50~17:30)

HCS-20. 発達障害児への作業療法におけるセラピストの専門的技法—熟達者と非熟達者の比較—

○長岡千賀・

小山内秀和・前田駿太(京大)

HCS-21. シニアを対象としたタッチパネルの使いやすさに関する研究

○林 阿希子・齋藤晴美・渡辺昌洋・安部伸治・

浅野陽子(NTT)

HCS-22. タッチパネル式インタフェースを持つ情報端末のアクセシビリティ

○橋本 遼・渡辺昌洋・浅野陽子(NTT)

HCS-23. ウェブアクセシビリティ簡易手法

○渡辺昌洋・

朝井大介・浅野陽子(NTT)

HIP(2)(15:50~17:30)

HIP-24. 生理心理計測による3DTV視聴時の感情状態推定の試み

○阪本清美・浅原重夫・坂下誠司(パソナ)・

山下久仁子・岡田 明(阪市大)

HIP-25. 瞳孔径変動を利用した潜在的注意位置及び潜時の推定

○田中 翼・金子寛彦(東工大)

HIP-26. 加齢は質の異なる抑制機能を低下させる—フランクナー課題とサイモン課題中の脳活動計測を用いて—

川合伸幸(名大)・久保(川合)南海子(愛淑大)・

○久保賢太(JST)・寺澤多恵(名大)・正高信男(京大)

HIP-27. 日本語と英語における老視者の読字特性

○田中辰彦(九大)・川野晋慈・積山 薫(熊本大)・

廣瀬信之・森 周司(九大)

23日午前 HCS(4)(10:00~11:40)

HCS-1. デモグラフィック属性及び自己肯定感が対人認知構造に及ぼす影響について—Webアンケートによる大規模調査の解析結果から—

○金 順映(NTT)・廣瀬 慧(阪大)・

今田美幸・吉田 学・松尾真人・藤井竜也(NTT)

HCS-2. 「魅力的なもの」によってポジティブ感情は生まれるのか?—さまざまな刺激により生じられるポジティブ感情の調査—

石川知夏(成城大)

HCS-3. SNSは友人関係を悪化させるか?—若者を対象としたSNS利用における既存友人との対人トラブル実態調査—

○大沼美由紀・木村 敦・佐々木寛紀・武川直樹(東京電機大)

HCS-4. 高齢者の日常コミュニケーションと公衆浴場—城崎温泉での調査—

山本吉伸(産総研)

HI(2)(10:00~11:40)

5. コミュニケーションが困難な発達障害のある学生の学習支援—テクノロジーの利用と環境調整による支援効果の事例的検討—

岡 耕平(滋慶医療科学大)

6. 公共空間の大型ディスプレイへの情報提示インタフェースに関する検討

○飯塚重善(神奈川大)・内藤 航・

郷 健太郎 (山梨大)

- 7. タイルディスプレイ越しの遠隔指さしに対するカメラ配置の影響 ○山本聖子・葛岡英明・山下 淳 (筑波大)
- 8. Gaze Cone を考慮したデュアルディスプレイ型広範囲視線計測システムの開発 ○江川晃一・中川浩伸・山本倫也 (関西学院大)・菅野隆一・長松 隆 (神戸大)

23 日午後 HCS (5) (13:00~14:40)

- HCS-9. シーン映像自動編集—イベント駆動構図規則の適用によるカメラ映像の逐次選択— ○野田佑帆 (芝浦工大)・菅原 将 (NTT テラ)・榎津秀次 (芝浦工大)
- HCS-10. 物語テキストからのアニメーション自動生成—言語情報に基づくシーン分割とショット構図導出— ○星名研吾 (芝浦工大)・加賀屋裕紀 (NTT テラ)・榎津秀次 (芝浦工大)
- HCS-11. 読者の印象を反映させた書籍表紙画像色の抽出 飯田拓也・○梶山朋子・大内紀知 (青学大)・越前 功 (NII)
- HCS-12. 絵葉書に描写された都市景観の持つ感性情報の分析とその応用: ハルビンの歴史的絵葉書資料を事例として ○高橋 望・貫井隆弘・高橋 仁・鈴木竜太・吉田宏之・谷 聖一・松重充浩・山田 寛 (日大)

HCS-11. 読者の印象を反映させた書籍表紙画像色の抽出

飯田拓也・○梶山朋子・大内紀知 (青学大)・越前 功 (NII)

HCS-12. 絵葉書に描写された都市景観の持つ感性情報の分析とその応用: ハルビンの歴史的絵葉書資料を事例として

○高橋 望・貫井隆弘・高橋 仁・鈴木竜太・吉田宏之・谷 聖一・松重充浩・山田 寛 (日大)

HIP (3) (13:00~14:40)

- HIP-13. 日記記入時の打鍵間隔時間に基づく感情推定の試み ○山本景子・橋本光平・倉本 到・辻野嘉宏 (京都工繊大)
- HIP-14. 接近物体の輪郭の不明瞭性が到達時間推定に与える影響—ガウスフィルタによる検討— ○吉村礁太・廣瀬信之・森 周司 (九大)
- HIP-15. タブレット PC をベースにしたデジタル教科書による小学生の読解学習支援—読みパターンのログの分析から— ○高橋麻衣子・巖淵 守・中邑賢龍 (東大)

HIP-16. 色覚特性による色の目立ちやすさの違いを考慮したデザイン手法の検討 ○齋藤晴美・渡辺昌洋・浅野陽子 (NTT)

HI (3) (14:50~16:30)

- 17. 実空間共有型エデュテインメントシステムにおけるごっこ遊びコミュニケーションの効果 ○鐘ヶ江宏樹・山根 大・山本倫也 (関西学院大)・渡辺富夫 (岡山県立大)
- 18. タブレット型協調購買インターフェースの提案 ○酒巻隆治・小池宏幸 (楽天)

19. 魅力的なサービス創出のためのデザイン方法論—場のデザインからサービスデザインへ ○中谷桃子・大野健彦・朝井大介・中根 愛 (NTT)

20. ユーザ体験のデザインプロセス—体験の何をデザインすべきか ○大野健彦・中根 愛・齋藤晴美・中谷桃子 (NTT)

◆ヒューマンインタフェース学会; コミュニケーション支援専門研究委員会連催

☆HCS 研究会

【問合先】

竹内勇剛 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1455

E-mail: takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>

☆HIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月30日(土), 7月1日(日) 室蘭工大〔締切済〕テーマ: 「実・バーチャル空間の知覚・認知」及びヒューマン情報処理一般

【問合先】

清河幸子 (中部大)

TEL [0568] 51-9374

E-mail: kiyo@isc.chubu.ac.jp

◎最新情報は、HIP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hip/>

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 5月24日(木) 10:30~17:40

25日(金) 10:30~11:45

会場 アクロス福岡 会議室 608 (福岡市中央区天神 1-1-1. 地下鉄空港線: 天神駅から徒歩 3分 (16番出口)). <http://www.acros.or.jp/access/>

議題

24 日午前

1. 一次元ビーム走査可能なセンターフィード形式反射鏡アンテナ ○瀧川道生・稲沢良夫・米田尚史・小西善彦 (三菱電機)
2. HF 帯受信アンテナへのスーパーディレクティブアレーの適用検討 ○谷口将一・紀平一成・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)
3. スーパーゲインとはどうゆう現象か 後藤尚久 (東工大)

24 日午後

4. ショートプリアンプルを利用した MIMO アダプティブアレー ○西森健太郎 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)
5. Utilization of Coordinated Multi-point Scheme for Disaster Recovery in MIMO Multi-Cellular System Using Multistream Transmission ○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa・Nobuo Nakajima (Univ. of Electro-Comm.)
6. 部屋体積依存性を考慮した人体周辺 UWB 遅延プロファイルの統計モデル ○広瀬 幸・小祝将人・山本浩延・小林岳彦 (東京電機大)
7. 不平衡給電超低姿勢逆 L アンテナを用いた無線電力伝送システム 田口光雄・○平田拓朗 (長崎大)
8. 直交励振を利用した指向性可変マイクロストリップアンテナ 西山英輔・○近藤志志・牛嶋 優・豊田一彦 (佐賀大)
9. Linear Polarization Switchable Patch Array Antenna using Orthogonal Feed and Magic-T bias circuit ○Md. Azad Hossain・Eisuke Nishiyama・Ichihiko Toyoda (Saga Univ.)

○Md. Azad Hossain・Eisuke Nishiyama・Ichihiko Toyoda (Saga Univ.)

10. [チュートリアル講演] 円偏波アンテナの高機能化を目指した給電方法の提案と考察 福迫 武 (熊本大)
11. [IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演] 佐賀藩の科学技術と電信 (口頭発表) 末岡暁美

25 日

1. CTF に基づくモーメント法における FGMRES の高速化 ○千葉英利・深沢 徹・宮下裕章・小西善彦 (三菱電機)
2. 異なるチルト角を実現可能な周波数共用基地局アンテナ用右手/左手系複合移相器 ○道下尚文・北原裕久・山田吉英 (防衛大)・長 敬三 (NTT ドコモ)

3. FM 放送波を回収する直流出力増加効果を有するレクテナの検討 ○新井宏之・吉田 稔・チョモラ ミケカ (横浜国大)

◆IEEE AP-S Fukuoka Chapter, URSI-F 共催

◎24日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月14日(木) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：一般

7月26日(木), 27日(金) 北大〔5月10日(木)〕テーマ：衛星通信, 電波伝搬, 一般

8月27日(月), 28日(火) 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」〔6月10日(日)〕テーマ：測定, 電力伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

石井 望 (新潟大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 古賀弘樹・井坂元彦 幹事補佐 桑門秀典

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

日時 5月25日(金) 14:00~17:40

会場 福岡県立飯塚研究開発センター (飯塚市川津 680-41. JR 新飯塚駅よりバス 15分, 徒歩 5分. 同駅から出る九州工業大学のスクールバスを御利用頂けます。 <http://www.cird.or.jp/access.htm> TEL〔0948〕22-5655 戒田高康 (近畿大))

議題

情報源符号化

1. 2値無記憶情報源に対するハフマン符号の性質に関する一検討 ○吉田隆弘・地主 創 (青学大)

2. FF 符号における冗長度と符号化レートの関係について ○有村光晴 (湘南工科大)・古賀弘樹 (筑波大)・岩田賢一 (福井大)

3. On Heegard-Berger Coding Problem under Logarithmic Distortion Measure Shigeaki Kuzuoka (Wakayama Univ.)

情報理論応用

4. 情報システム理論の代謝ネットワークへの応用—バイオメダイカルインフォマティクス研究開発センター紹介—

倉田博之 (九工大)

5. 符号の重み分布に基づくランダムグラフにおける最小カット重み分布の解析 ○藤井勇樹・和田山 正 (名工大)

情報セキュリティ

6. 乱数制約された確率的符号化による秘匿メッセージ付放送型通信路 ○渡辺 峻 (徳島大)・大濱靖匡 (電通大)

7. 二次元コードを利用した携帯電話で復号可能な秘密分散法 ○本庄俊太郎・古賀弘樹 (筑波大)

8. Rational Secret Sharing for Non-Simultaneous Channels Akinori Kawachi (Tokyo Inst. of Tech.)・Yoshio Okamoto (JAIST)・Keisuke Tanaka (Tokyo Inst. of Tech.)・Kenji Yasunaga (ISIT)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日(木), 20日(金) 豊田工大〔5月16日(水)〕

テーマ：フレッシュマンセッション, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IT 研究会幹事, 幹事補佐

E-mail: it-sec@mail.ieice.org

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・弘中哲夫

幹事 堀 洋平・渡邊誠也 幹事補佐 山口佳樹

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・渡邊 実

幹事 渡邊誠也・山田 裕 幹事補佐 山口佳樹

日時 5月29日(火) 9:00~18:00

30日(水) 9:00~18:15

会場 沖縄県男女共同参画センター (那覇市西 3-11-1 三重城 合同庁舎内. 最寄バス停「三重城」より徒歩 3分. http://www.tiruru.or.jp/?page_id=31 TEL〔098〕895-8745 長名保範)

議題 リコンフィギャラブルシステム, 一般

29日午前 画像処理(1)

1. FPGA を用いたグラフカットセグメンテーションの高速化 ○小堀大智・丸山 勉 (筑波大)
2. FPGA を用いた撮像制御システム ○矢葺 徹・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)
3. 動画像からのリアルタイム瞳検出手法の FPGA による実装 ○畑中優磨・土肥慶亮・大戸和博・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

デバイスアーキテクチャと性能評価技術

4. 動的再構成プロセッサアレイ MuCCRA-3 のメモリコントロールの研究 ○片桐 徹・弘中和衛・天野英晴 (慶大)
5. しきい値電圧をプログラム可能な超低消費電力 FPGA 用デモシステムの開発 ○河並 崇 (金沢工大)・日置雅和 (産総研)・松本洋平 (東京海洋大)・堤 利幸 (明大)・中川 格・関川敏弘・小池汎平 (産総研)
6. 超電力アクセラレータ CMA における構成情報削減を目指した PE アレイ接続網の最適化 ○宇野理恵・小崎信明・天野英晴 (慶大)

29日午後 数値計算と高速化 (13:10~)

7. 浮動小数点データストリーム圧縮ハードウェアの試作実装と評価 ○上野知洋・高野芳彰・佐野健太郎・山本 悟 (東北大)
8. An FPGA Implementation for a 3-layer Perceptron with the FDFM Processor Core Approach ○Yuki Ago・Yasuaki Ito・Koji Nakano (Hiroshima Univ.)
9. 再構成型プロセッサ DS-HIE における開平演算の実装 ○上田孝志・谷川一哉・弘中哲夫 (広島市大)
10. 格子ボルツマン法による流体計算に対する密結合 FPGA クラスタのスケラビリティ評価 ○高野芳彰・佐野健太郎・山本 悟 (東北大)

リコンフィギャラブル応用(1)

11. 単一 FPGA 内における三重冗長モジュールの動的再配置によるハードエラー回避手法 ○田中宏樹・一ノ宮佳裕

宇佐川貞幹・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・
末吉敏則 (熊本大)

12. 組み込みシステムにおける動的な再構成の活用のためのモジュール相互接続網と再構成制御部の一設計 水野友和・木田義彰・○上出 亮・寺田 慎・徳田充祥・泉 知論 (立命館大)

13. FPGA 配線部のハードエラー検出及び再構成による回避手法 ○西谷祐樹・井上万輝・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

リコンフィギュラブル応用(2)

14. 高位合成による STP エンジン及び FPGA への AES/ADPCM の実装と評価 ○石田薫史・柴田誠也・安藤友樹・本田晋也・高田広章・枝廣正人 (名大)

15. FPGA を用いた DC-DC コンバータのデジタル制御における遅延制御法の検討 ○山邊芳彦・中島華菜子・浜脇一馬・山下健太郎・梶原一宏・黒川不二雄・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

16. ヘテロジニアスマルチコアプロセッサ向けアプリケーション開発 ○小泉佑介・佐々木瑛一・天野英晴 (慶大)・並木美太郎 (東京農工大)

30日 画像処理(2)

1. FPGA を用いた Level Set 法の高速計算 ○津山治久・丸山 勉 (筑波大)

2. FPGA を用いたフォトンマッピング法高速化手法の提案と性能評価 ○久原拓也・吉見真聡・三木光範 (同志社大)

3. FPGA を用いたリアルタイムコーナー検出システムの構築と平面検出への応用 ○畢 春萌・丸山 勉 (筑波大)

- 高位合成と開発環境
4. シンベル指数に基づく SOM ベース FPGA 配置手法 ○濱田哲郎・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

5. JavaRock を用いた HW/SW 協調設計の検討 ○三好健文・船田悟史 (イテリズ・ジャパン)

6. ランタイムバイナリアクセラレーションに向けたドメイン固有言語とツールチェインの提案 ○宮島敬明 (慶大)・デビッド トーマス (イベリア)・天野英晴 (慶大)

7. Impulse-C を用いた Connect-6 思考アルゴリズムのハードウェア化と FPGA による実装評価 ○荒川尚久・泉 知論 (立命館大)

招待講演 (17:15~18:15)

8. DAPDNA: 粗粒度動的再構成アーキテクチャ (新シリーズ) の紹介とこれまでの製品事例について 東京計器

◎30日 13:45~16:45, FPGA デザインコンテストを行います。詳細は以下の Web でご確認ください。

<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/~yoshiki/FPGA/Contest/>

【問合先】

山口佳樹 (筑波大システム情報系情報工学域)

TEL & FAX [029] 853-5760

E-mail: yoshiki@cs.tsukuba.ac.jp

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 宇佐美公良 副委員長 山田晃久

幹事 小林和淑・竹中 崇

5月26日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠

幹事 竹中 崇・中武繁寿

日時 5月30日(水) 14:30~17:20

31日(木) 9:30~11:45

会場 北九州国際会議場 11 会議室 (北九州市小倉北区浅野 3-9-30. <http://www.convention-a.jp/access/> TEL [093] 695-3268 中武繁寿 (北九州市大))

議題 システム設計及び一般

30日 システム設計

VLD-1. SA 法を用いたマルチプロセッサ・タスク割当て最適化手法 ○柳父悠一郎・坂圭主史・武内良典・今井正治 (阪大)

VLD-2. HDR アーキテクチャを対象とした高速かつ効率的な複数電源電圧指向の高位合成手法 ○阿部晋矢・柳澤政生・戸川 望 (早大)

VLD-3. 状態遷移の解析に基づく磁気フリップフロップ書き込み制御手法 ○岡田直也 (早大)・中村祐一 (NEC)・木村晋二 (早大)

VLD-4. 潜在的な依存関係を利用した高位設計デバッグ支援手法 ○小野翔平・松本剛史・藤田昌宏 (東大)

VLD-5. [招待講演] 微細化による LSI の信頼性諸問題とその解決策 小林和淑 (京都工繊大)

31日 物理設計

VLD-1. 再収斂パスにおける部分パス遅延量推定手法 永塚誠也・○高島康裕 (北九州市大)

VLD-2. 重ね合わされるプリント基板への素子配置手法 ○松浦哲也・藤吉邦洋 (東京農工大)

VLD-3. A Comparator Energy Model Considering STI for Circuit Synthesis by Geometric Programming

○Gong Chen・Yu Zhang・Bo Yang・Shigetoshi Nakatake (Kitakyushu Univ.)

設計環境

VLD-4. 束データ方式による非同同期回路の FPGA 設計支援ツールセットの構築 ○滝澤恵多郎・飯塚 成・齋藤 寛 (会津大)

VLD-5. 誤差を有するシステムのシミュレーション結果に対する統計的解析とそのハードウェアによる高速化

○大島浩資・小野翔平・松本剛史・藤田昌宏 (東大)

◆情報処理学会; システム LSI 設計技術研究会連係
◎30日のセッション終了後に, 下記の要領で懇親会を予定しております。

会場: フラミンゴカフェ小倉 (北九州国際会議場の隣接ビル)
北九州市小倉北区浅野 3-8-1 AIM ビル 2F

TEL [093] 513-7817

参加を御希望の方は, 5月22日(火) 15:00までに SLDM 幹事の戸川 (sldm2012@tog.cs.waseda.ac.jp) まで, 以下の情報を御連絡下さい。参加費は5,000円を予定しております。

—5月研究会 (VLD/SLDM) 懇親会 参加申込フォーム—
※宛先: sldm2012@tog.cs.waseda.ac.jp

※人数確認の都合上, 5月22日(火) 15:00までにお申込み下さい。

全員の御名前：， 全員の E-mail：， 御所属：， 参加人数
の合計： 名

☆VLD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月2日(月)，3日(火) 京都市サウチパーク [締切済]
テーマ：システムと信号処理及び一般

【問合先】

小林和淑 (京都工繊大)
TEL [075] 724-7452
E-mail : kazutoshi.kobayashi@kit.ac.jp
◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~vld/>

— 今後の予定 —

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 岡田真人 副委員長 西井 淳
幹事 花沢明俊・小澤誠一 幹事補佐 三浦健一郎・佐藤直行
5月26日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐
専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生
幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月30日(月)，31(火) 立命館大 [5月14日(月)] 発表募
集テーマ：一般 日本神経回路学会，IEEE CIS-Japan 共催

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行って下さい。
<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合先】

小澤誠一 (神戸大)
TEL [078] 803-6466
E-mail : ozawasei@kobe-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●光通信システム研究会 25周年記念シンポジウム OCS 25周年記念「光通信実用化とグローバル戦略」

実行委員長 石田 修 (NTT)
実行副委員長 水落隆司 (三菱電機)
光通信システム (OCS) 研究会では，活動 25周年を記念して，
5月18日(金)に記念シンポジウムを開催致します。

概要

今年で活動 25周年を迎える光通信システム研究会は，光通信
技術の実用化・グローバル展開を学会活動の側面から支えてきま
した。本記念シンポジウムでは，技術的議論に重点を置いた通常
の研究会とは一線を画し，技術史やインダストリーの観点から，
研究開発技術の実用化，あるいはそのグローバル展開といった
テーマについて，これまでの四半世紀を振り返るとともに，これ
からの方向性について展望します。関係者多数の御参加をお待ち
しております。

日時 平成 24年 5月 18日 (金) 15:30~17:50

◎18:00~19:30 に懇親会を行います。

会場 機械振興会館地下 2階ホール (港区芝公園 3-5-8, 東京メ

トロ日比谷線：神谷町駅下車徒歩 6分，都営地下鉄三田線：御
成門駅下車徒歩 8分，都営地下鉄大江戸線：赤羽橋駅下車徒歩
10分，都営地下鉄浅草線・大江戸線：大門駅下車徒歩 10分，
JR 線：浜松町駅下車徒歩 15分。 <http://www.jspmi.or.jp/kai-gishitsu/access.html>

【参加費，懇親会】

参加費：無料，懇親会費 3,000 円

【参加申込方法】

OCS ホームページよりお申し込み下さい (メ切 5/11)。
<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

プログラム

1. [基調講演] 光通信開発 30 年からインターネットの時代へ
小林郁太郎 (元東大)

2. [招待講演]

(1) 国際通信と日本の技術・日本の役割
秋葉重幸 (KDDI 研)

(2) 光伝送システムの海外事業展開と今後の展望
池内 聡 (富士通)

(3) 新パラダイムへの挑戦と国際連携
西原基夫 (NEC)

(4) 光通信のインパクトと学会の役割
萩本和男 (NTT)

*タイトル等変更の場合有。最新プログラムは，OCS 研究会 HP
を御参照下さい。 <http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

【講演内容等に関する問合先】

平野 章 (NTT 未来ねっと研)
〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1
TEL [046] 859-2576, FAX [046] 859-5541
E-mail : hirano.akira-ocs@lab.ntt.co.jp

【参加申込並びに申込に関する問合先】

佐々木 隆 (住友電工光通信研究所)
〒244-8588 横浜市栄区田谷町 1
TEL [045] 853-7172, FAX [045] 851-1565
E-mail : ocscom@info.sei.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会

●第 3 回情報ネットワーク科学研究会

委員長 村田正幸 (阪大)
副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)
日時 平成 24年 5月 18日 (金) 13:30~17:30
会場 首都大学東京秋葉原キャンパス (http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html#mapakihabara)

プログラム

1. Primitive Chao から現れる Graph
○小笠原義仁・大石進一 (早大)

2. センシングと符号化の協同現象とクラメル の定理
○村山立人 (NTT)・デイビス ピーター (テelogニックス)

3. [招待講演] ネットワーク科学におけるいくつかの確率的手法
大久保 潤 (京大)

4. [招待講演] 時間発展のネットワーク分析: Wikipedia, Music, & Chaos
井庭 崇 (慶大)

5. [招待講演] 複雑系数理モデル学に基づく通信システム最適化
長谷川幹雄 (東京理科大)

◎最新情報や今後の研究会の予定等は情報ネットワーク科学時限
研究専門委員会の Web サイトを御参照下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

【問合先】

成瀬 誠 (NICT)・巳波弘佳 (関西学院大)
久保 健 (KDDI 研)・井上 武 (JST ERATO)
E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org
主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 48 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 48 回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成 24 年 6 月 8 日 (金)

会場 関西大学千里山キャンパス (吹田市山手町 3-3-35)

一般申込締切: 5 月 11 日 (金)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W8-65
TEL [03] 5734-3799, FAX [03] 5734-3501
E-mail : hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp
主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●平成 24 年度第 1 回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史 (明大)

期日 平成 24 年 6 月 13 日 (水)

会場 東京工業大学大岡山キャンパス

テーマ 「医療情報通信技術一般」

講演申込締切 5 月 11 日 (金)

参加費 一般 3,000 円 (講演資料代を含む)、学生無料 (講演資料代は別途 2,000 円)

プログラム <http://www.ieice.org/~mict/>に掲載されます。

参加方法 事前参加登録は不要です。参加を希望される方は、当日、会場受付にお越し下さい。

◎医療情報通信技術研究会では、平成 24 年度第 1 回研究会の一般講演を募集致します。講演申込に必要な情報や連絡先を医療情報通信技術研究会ホームページに掲載致しておりますので、御参照下さい。 <http://www.ieice.org/~mict/>

【問合先】

前山利幸 (拓殖大)

E-mail : mict-sec@mail.ieice.org

主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

●第 4 回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 裏 升吾 (京都工繊大)

副委員長 柏川秋彦 (古河電工)

日時 平成 24 年 7 月 27 日 (金) 13:00~17:30

会場 東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 3 階電気系会議室 1 (文京区本郷 7-3-1. http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html)

テーマ: 「大容量短距離光通信用集積デバイスとその応用、その他集積光デバイス一般」

第 4 回研究会を下記の内容で開催し、一般講演を募集します。

長距離通信インフラに大きな市場を開拓してきた光技術は、徐々に短距離用途への展開が始まっています。近年では特に、電気配線における配線の複雑さや伝送速度などの限界を乗り越えるために電気配線を光で置き換える「光インターコネクション」と呼ばれる分野の研究が盛んです。光インターコネクション分野では、光ファイバ・光導波路などの伝送路、送受信光モジュール、光源・変調用などの光デバイスに対し高性能化、高信頼性化、低コスト化が強く求められています。第 4 回集積光デバイスと応用技術研究会では、このような大容量短距離光通信用集積デバイスとその応用、及び集積光デバイス一般に関する講演を広く募集します。多数の方々の御応募と御参加をお待ちしております。

発表申込 5 月 18 日 (金) までに、講演題名、概要 (数行)、著者名、所属、連絡先 (住所、TEL、FAX、E-mail) を下記の第 4 回研究会担当委員もしくは幹事までお知らせ下さい。

原稿提出 6 月 28 日 (木) 締切。A4 判、6 枚程度。

参加資格 特に問いません。

参加申込 研究会開催当日、会場にて受け付けます (事前申込み不要)。

参加費 一般参加者 5,000 円、学生 1,000 円

【講演に関する申込・問合先】 第 4 回研究会担当委員

石川卓哉 (古河電工)

TEL [045] 311-2293, FAX [045] 314-5190

E-mail : ishikawa.takuya@furukawa.co.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

大磯義孝 (NTT フォトニクス研)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4345

E-mail : ohiso@aecl.ntt.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail : yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ

第1回情報ネットワーク科学 (NetSci) ワークショップ

委員長 村田正幸 (阪大)

副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)

第1回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) ワークショップ

委員長 梅野 健 (京大)

副委員長 岡本英二 (名工大)・田中久陽 (電通大)

開催趣旨

情報通信技術は、私たちの生活や社会を支える最重要技術としてめざましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報通信技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。そこで、このような問題意識を共有する、通信サイエティ「情報

ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)」と基礎・境界サイエティ「非線形理論とその応用」サブサイエティ (NOLTA)「複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS)」が、横断的で学際的な議論の場を持つべく、合同でワークショップを開催致します。

一般講演を各々の研究専門委員会で募集致します。御投稿、御参加を御検討頂けましたら幸いです。

日時 平成24年8月9日 (木)、10日 (金)

会場 北海道大学

講演申込締切 6月15日 (金) (NetSci, CCSともに)

◎講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については、投稿先の研究会のホームページに掲載致しておりますので御参照下さい。

NetSci : <http://www.ieice.org/~netsci/>

CCS : <http://synchro4.ee.uec.ac.jp/~CCS/>

【問合せ先】

NetSci : 巳波弘佳 (関西学院大)・成瀬 誠 (NICT)・

久保 健 (KDDI 研)・井上 武 (JST ERATO)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

CCS : 長谷川幹雄 (東京理科大)・中尾裕也 (東工大)・

青野真士 (理研)・関屋大雄 (千葉大)・鳥飼弘幸 (阪大)

E-mail : hasegawa@ee.kagu.tus.ac.jp

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会／複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

併催 科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトワークショップ

本会発行新刊案内

プログラムによる実動作の理解

Excel で学ぶ組込みシステム要素技術

並木淳治 著

B5 判並製 定価 2,940 円(税込)

日本の産業競争力の基盤となる家電、携帯情報端末等の機器には“組込みソフト”と呼ばれるソフトウェアが実装され、特有のサービスを提供している。その多くは、体系的・継続的な開発よりも“一品開発”的要素が強く、個々の要素技術について洗練されたエレガントな理解力を得ることは難しい。そこで今回、組込み系に必要な代表的要素技術を抽出・網羅し、全て Excel による状態変数解析で実際の動作を理解できる教育プログラムを作成した。各要素技術に関わるパラメータのスライド変化等によって、その本質を理解し、更に具体的処理内容についても事例で追えるようにした。本書は、組込み系の修士課程程度の学生を対象に書かれているが、難易度からは学部低学年学生や、既に職場で活躍されている技術者の方々にも受入可能な内容となっている。是非、一度手にとり御購読頂きたい。

《内容目次》制御基礎 (一次系制御)／高次系制御／最適制御／位相同期／直交原理に基づく第二の制御形／マルコフ過程の定常解／直交変換／暗号化／複雑系／電話網設計／ランダムアクセス／誤り制御／変復調方式／サンプル値系の折返し雑音／回路解析／ラプラス多項式の時間解／付録

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

●…… 2012年ソサイエティ大会開催案内 ……●

期 日 2012年9月11日(火)～14日(金)

会 場 富山大学(富山市) 五福キャンパス

電子情報通信学会ソサイエティ大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2012年4月27日(金)～7月4日(水) 17:00(厳守)

2012年ソサイエティ大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の交付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集PDF原稿の送信期限」・「紙面による論文原稿の送付期限」については、全て上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願いします。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録されている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込みWeb登録上のお願い

講演申込み締切日とその2～3日前は回線が大変混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演登録ができます。

講演参加費(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・参加章)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：8月下旬)

7月下旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員 : 10,000円(講演発表料+DVD)

学生員 : 3,000円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 20,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員 : 11,000円(講演発表料+DVD)

学生員 : 3,500円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 22,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,500円(講演発表料+DVD)

*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会は会員扱いとなります。

[講演申込みの流れ]

(1) 論文集原稿をPDFで電子投稿する場合

学会Web上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

(2) 論文集原稿を紙面に投稿する場合

学会Web上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行って下さい。正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者本人で必ずプリントアウトして保管して下さい。詳細はトップメニューにある「論文作成案内(紙面投稿用)」を御参照下さい。登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず、内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。

(3) インターネットを使用できない場合には、学会事務局までお問合せ下さい。

(4) ソサイエティ大会聴講参加・冊子講演論文集申込み案内等については、2012年7、8月号会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては、法政大学(東京)においてFIT2012を開催致します。

開催案内は下記を御覧下さい。

<http://info.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

平成 24 年度春季 先端オープン講座開講 —— 御案内と受講者募集 ——

本講座は、平成 24 年度から年 1 回の開講となり、平成 24 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
- ・基礎から専門分野まで幅広く対応
- ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
- ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
- ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
- ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携

詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 16 日～)
- Aa. NGN とインターネット及び IP ネットワーク技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 30 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 16 日, 23 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 30 日, 7 月 7 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 7 日, 14 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 16 日～)

専門分野別推薦コース表 (H24 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット、モバイル、NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印：特にお勧め、○印：お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 24 年 6 月 16 日・23 日・30 日, 7 月 7 日・14 日各土曜日, A コースは 6 月 16 日～5 回, Aa コースは 6 月 30 日～3 回, Cs コースは 6 月 16 日, 23 日, Cp コースは 6 月 30 日, 7 月 7 日, D コースは 7 月 7 日, 14 日, F コースは 6 月 16 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし、F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、6 月 4 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申込先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金、消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は、受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
会 員	維持員に所属する非会員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	非 会 員	60,000 円	50,000 円	35,000 円	30,000 円	
団 体 受 講	会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット	Aa: インターネット
	団体受講	Cs: ソフト	Cp: PM
		D: プロトコル	F: セキュリティ
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会:) (会員番号:)	3. 維持員に所属する非 会員
		4. 非会員	5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ()	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ()	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ()	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線

Ⅲ 平成24年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます. (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>)

C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

各コース

(敬称略)

- A. 情報通信ネットワーク技術 6月16日から開講
 - Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術
(A コース後半3回) 6月30日から開講
-
- (6月16日 9:00~12:00) 情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)
上山 憲昭 (N T T)
- (6月16日 13:00~16:00) IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)
萱島 信 (日 立)
- (6月23日 9:00~12:00) 無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術)
関 智弘 (N T T)
- (6月23日 13:00~16:00) 光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム)
森田 逸郎 (K D D I 研)
-
- (6月30日 9:00~12:00) インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)
山口 実靖 (工 学 院 大)
- (6月30日 13:00~16:00) インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
- (7月7日 9:00~12:00) モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth)
榎木勘四郎 (K D D I 研)
- (7月7日 13:00~16:00) モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式)
鈴木 俊博 (NTT ドコモ)
- (7月14日 9:00~12:00) 次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)
中村 秀文 (N T T)
- (7月14日 13:00~16:00) 特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(ネットワーク仮想化, OpenFlow, SDN, Data/Contents Centric Network, ネットワークのエネルギー最適化制御)
岡本 聡 (慶 大)

(敬称略)

●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月16日, 23日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月16日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月16日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月23日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月23日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月30日, 7月7日9:00~17:00)

- (6月30日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月30日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (IPA/SEC)
- (6月30日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (沖 電 気)
- (7月7日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月7日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

●D. 情報通信プロトコル技術

(7月7日, 14日9:00~16:00)

- (7月7日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聡彦 (電 通 大)
- (7月7日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月14日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月14日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

●F. 情報通信セキュリティ技術

6月16日から開講

1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
2. 無線ネットワークのセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 佐藤 亮太 (N T T)
4. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)

●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 24 年度電気関係学会

東北支部連合大会——

期 日 平成 24 年 8 月 30 日 (木), 31 日 (金)
 8 月 30 日 (木) 午前：一般講演, 製品カタログ展示会
 午後：一般講演, 製品カタログ展示会, 特別講演会
 夜：懇親会
 8 月 31 日 (金) 午前：一般講演, 製品カタログ展示会
 午後：一般講演, 製品カタログ展示会
 会 場 秋田県立大学本荘キャンパス (由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4)
 講演内容 各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等.
 ・講演者は主催学会会員に限ります (入会手続き中を含む).
 ・講演時間は 1 件 15 分以内 (討論時間を含む) とします.
 ・使用言語は, 日本語または英語のこと.
 ・発表用のプロジェクトを各講演室に準備しますが, PC は各自御準備下さい.

Student Session について:

1. 目的及び趣旨: 電気・情報系に学ぶ学生・大学院生の国際性の育成とプレゼンテーション技術の向上のため英語により予稿を準備し, 発表にあたっては学生同士で切磋琢磨しあうセッションを設ける.
2. 参加資格: 高専生及び大学生・大学院生 (後期課程含む)
3. 原稿: 英文による A4 判 1 枚 (通常の予稿と同じ)
4. 発表方法及び使用言語: 英語による発表とする.
5. テーマ: 連合大会を構成する全てとし, 特定しない.
6. 申込方法: 大会 HP 上にある通常の論文申込方法と同時に申し込み, 要項の下にある「Student Session を希望します」と

いうボタンをクリックし, 所属・学年等を記入して下さい.

申込方法:

1. 講演申込み及び論文投稿をインターネットで行います. 大会 HP: <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/> Web 上の説明に従って, 申込みを行って下さい. 詳しくは「申込要項」を御覧下さい. (5 月中旬頃から投稿を受付予定です.)
2. プログラムについて 7 月中旬頃にプログラム (案) を上記 HP に掲載致しますので, 講演者と参加者の方々は各自御参照下さい. 表彰についても HP から必要な書類をダウンロードして下さい.
3. 講演原稿執筆の際には「予稿の書き方」をよく読んで下さい.
4. 講演筆頭著者としての申込件数は, 1 名 2 件までとします. ただし連名による申込みに制限はありません. また, 内容が著しく不適当と思われる場合は講演を制限する場合があります.
5. 講演申込金は 1 件につき 4,000 円とします. (参加費, 論文集代を含みます.)

申込・原稿締切日: 6 月 15 日 (金) 必着厳守 (申込みと原稿を同時締切とします.)

参加 (聴講) 費: 一般参加者 (座長を含む) 1,000 円, 学生無料
 論文集: 発表者には, 大会当日受付にて配布します. 大会当日販売も行いますが, 郵送を希望される場合は, 連合事務局までお申込み下さい. (1 部 3,000 円, 郵送料別)

特別講演会: 日時 8 月 30 日 (木) 15:30~17:00

会場 秋田県立大学本荘キャンパス共通施設棟 AV ホール

講師・演題 未定

懇親会: 日時 8 月 30 日 (木) 17:30~19:30 (予定)

会場 ホテルアイリス (由利本荘市肴町 5)

会費 一般: 5,000 円, 学生: 3,000 円 (予定)

※大会の詳細につきましては, HP に掲載致しますので, そちらを御参照下さい.

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・日本音響学会・映像情報メディア学会・情報処理学会・電気設備学会各東北支部, IEEE SENDAI SECTION, 秋田県立大学

——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では, 各種の証明, 閲覧について, 下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい.

なお, 突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので, 必ず前もって御連絡下さるようお願い致します.

TEL [03] 3433-6691 ※は, TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊 (綴) ごととします.

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は, 非会員の料金となります.

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

——関西支部——

●電気四学会関西支部日帰り見学会「第3回『でんきの礎』受賞先：琵琶湖疎水記念館と蹴上発電所」

琵琶湖疎水は着工から5年後の明治23年に竣工し、翌年それを利用した蹴上発電所が国内初の事業用電力発電所として発電を開始した。その電力供給を受けた路面電車として、京都電気鉄道伏見線が明治28年に開業した。明治期の古都におけるこれらの事柄は、電気の普及に向けた発電から鉄道に至る当時の先進的かつ全体的な取り組みとして高く評価されることから、電気学会の記念事業として日本の電気工学の過去120年を振り返り、歴史的に記念される“モノ”，“場所”，“こと”，“人”を顕彰する「でんきの礎」に選定されました。

これを機に、「第3回『でんきの礎』受賞先：琵琶湖疎水記念館と蹴上発電所」の見学会を下記により開催致します。平成21年12月にリニューアルオープンした琵琶湖疎水記念館、蹴上発電所、疎水周辺を見学することによって、疎水の意義と先人の偉業を体感して頂けるものと存じます。奮って御参加下さい。

見学先 琵琶湖疎水記念館、蹴上発電所

日時 平成24年6月8日(金) 13:00~17:00

集合時刻 13:00(時間厳守、晴雨不問)

集合場所 京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」改札口集合

行程 13:00 京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」改札口集合(インクライン散策)

13:20 琵琶湖疎水記念館到着

概要説明(30分)

館内見学(30分)

14:20 琵琶湖疎水記念館出発

14:30 関西電力蹴上発電所到着

発電所概要説明及び見学(60分)

15:30 蹴上発電所出発～琵琶湖疎水周辺散策

15:50 水路閣

16:10 蹴上発電所送水管

16:20 旧九条山浄水場ポンプ室(第一・第二疎水の合流点)

17:00 京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」解散

参加費 無料

定員 40名(申込み先着順、定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

申込方法 電気学会関西支部のHP(<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>)の申込フォームからお申込み下さい。なお、電話、FAXまたはE-mailからお申込み頂けます。所属、氏名、連絡先を御記入の上、下記の申込先に御連絡下さい。(お知らせ頂きました個人情報は、行事の運営に必要な場合のみに使用します。)

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25

中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, 2530, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

共催 電気学会中国支部・四国支部

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

トライボロジー会議2012春 東京(※)

期日 平成24年5月14日(月)~16日(水)

会場 オリピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

問合せ 日本トライボロジー学会事務局

TEL [03] 3434-1926, FAX [03] 3434-3556

<http://www.tribology.jp>

第8回技術者のための技術者倫理セミナー—事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント—(※)

期日 平成24年5月21日(月)

会場 葺手第2ビル(東京都港区)

問合せ 日本機械学会技術と社会部門 担当 曾根原

sonehara@jsme.or.jp, FAX [03] 5360-3508

第69回ロボット工学セミナー「ロボットに利用できるコンピュータビジョン技術」(※)

期日 平成24年5月22日(火)

会場 東京大学本郷キャンパス武田先端知ビル(東京都文京区)

問合せ 日本ロボット学会事務局 担当 水谷

TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628

soumu@rsj.or.jp

第48回真空技術基礎講習会(※)

期日 平成24年5月22日(火)~25日(金)

会場 大阪府立産業技術総合研究所(和泉市)

問合せ 大阪府技術協会 担当 山中(大阪府立産業技術総合研究所内)

TEL [0725] 53-2329, FAX [0725] 53-2332

yamanaka@tri.pref.osaka.jp

<http://www.tri.pref.osaka.jp/dantai/g-kyoukai/>

SICEセミナー—ロバスト制御入門—線型システム論の基礎からH ∞ 制御系設計の適用法まで(※)

期日 平成24年5月24日(木), 25日(金)

会場 東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)

問合せ 計測自動制御学会 部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

「技研公開2012」(NHK放送技術研究所一般公開)

期日 平成24年5月24日(木)~27日(日)

会場 NHK放送技術研究所(東京都世田谷区)

問合せ NHK放送技術研究所

TEL [03] 5494-1125, FAX [03] 5494-3125

<http://www.nhk.or.jp/str/>

第49回光波センシング技術研究会講演会

期日 平成24年6月5日(火), 6日(水)

会場 東京理科大学神楽坂校舎森戸記念館(東京都新宿区)

問合せ 同研究会事務局 佐々木豊

TEL & FAX [042] 381-0446 lstsapjpn@gmail.com

<http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

第 120 回技術講習会「強力超音波の基礎と応用」講習会 (※)

期 日 平成 24 年 6 月 11 日 (月)
会 場 全国家電会館 (東京都文京区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

第 121 回技術講習会「音源定位と音源分離の基礎」講習会 (※)

期 日 平成 24 年 6 月 14 日 (木), 15 日 (金)
会 場 全国家電会館 (東京都文京区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

Cat-CVD 研究会 第 9 回研究集会 (※)

期 日 平成 24 年 6 月 22 日 (金), 23 日 (土)
会 場 日本大学生産工学部 60 周年記念棟 (習志野市)
問合先 実行委員長 清水耕作 (日本大学生産工学部)
TEL [047] 474-2387, FAX [047] 474-2387
shimizu.kousaku@nihon-u.ac.jp

講習会「マルチボディシステム運動学の基礎」(※)

期 日 平成 24 年 7 月 2 日 (月)
会 場 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
問合先 日本機械学会機械力学・計測制御部門 担当 大竹
otake@jsme.or.jp
TEL [03] 5360-3505, FAX [03] 5360-3509

講習会「マルチボディシステム動力学の基礎」(※)

期 日 平成 24 年 7 月 3 日 (火)
会 場 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
問合先 日本機械学会機械力学・計測制御部門 担当 大竹
otake@jsme.or.jp
TEL [03] 5360-3505, FAX [03] 5360-3509

安全工学シンポジウム 2012

期 日 平成 24 年 7 月 5 日 (木), 6 日 (金)
会 場 日本学会会議 (東京都港区)
問合先 同シンポジウム幹事学会事務局
日本化学会 担当 企画部 美園
TEL [03] 3292-6163, FAX [03] 3292-6318
anzen2012@chemistry.or.jp

第 53 回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」(※)

期 日 平成 24 年 7 月 10 日 (火)~12 日 (木)
会 場 東京大学山上会館 (東京都文京区)
問合先 日本表面科学会
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897
shomu@sss.org http://www.sssj.org

第 27 回 2012 スイッチング電源技術シンポジウム (※)

第 20 回 2012 バッテリー技術シンポジウム (※)

第 12 回 2012 熱設計・対策技術シンポジウム (※)

第 26 回 2012 EMC・ノイズ対策技術シンポジウム (※)

第 3 回 2012 環境発電開発者会議 (※)

期 日 平成 24 年 7 月 11 日 (水)~13 日 (金)
会 場 東京ビッグサイト (東京都江東区)

問合先 日本能率協会 TECHNO-FRONTIER2012 事務局
TEL [03] 3434-1410, FAX [03] 3434-3593
tech-con@jma.or.jp

第 40 回薄膜・表面物理セミナー (2012) 半導体 SiC の基礎と応用 (省エネ・低炭素社会を目指したパワーデバイス開発の将来) (※)

期 日 平成 24 年 8 月 3 日 (金)
会 場 東京工業大学蔵前会館 (東京都目黒区)
問合先 応用物理学会事務局 分科会担当 上村
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250
kamimura@jsap.or.jp

2012 年日本液晶学会講演会・討論会

期 日 平成 24 年 9 月 4 日 (火)~7 日 (金)
会 場 千葉大学西千葉キャンパス (千葉市)
問合先 日本液晶学会事務局
TEL [03] 5925-2840, FAX [03] 5925-2913
jlcs@adthree.com

生体医工学シンポジウム 2012 (JBMES2012)

期 日 平成 24 年 9 月 7 日 (金), 8 日 (土)
会 場 大阪大学基礎工学部 (豊中市)
問合先 同シンポジウム事務局 (大阪大学大学院基礎工学研究科
大城研究室内) 井村誠孝
TEL [06] 6850-6497, FAX [06] 6850-6502
jbmes2012-jimu@bpe.es.osaka-u.ac.jp

第 28 回ファジィシステムシンポジウム「脳と知の融合をめざして一隣りを知ろう」(※)

期 日 平成 24 年 9 月 12 日 (水)~14 日 (金)
会 場 名古屋工業大学 (名古屋市)
問合先 日本知能情報ファジィ学会事務局 担当 國安 (ファジィシステム研究所内)
TEL [0948] 24-3355, FAX [0948] 24-3356
soft@flsi.cird.or.jp

平成 24 年度電気学会基礎・材料・共通部門大会

期 日 平成 24 年 9 月 20 日 (木), 21 日 (金)
会 場 秋田大学工学部 (秋田市)
問合先 電気学会事業サービス同大会 担当 山本
TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704
yamamoto@iee.or.jp

インターオプト 2012

期 日 平成 24 年 9 月 25 日 (火)~27 日 (木)
会 場 パシフィコ横浜 (横浜市)
問合先 ICS コンベンションデザイン
TEL [03] 3219-3643, FAX [03] 3219-3628
interopto@ics-inc.co.jp

センサエキスポジャパン 2012

期 日 平成 24 年 10 月 10 日 (水)~12 日 (金)
会 場 東京ビッグサイト (東京都江東区)
問合先 フジサンケイビジネスアイ営業・事業本部 担当 橋本
TEL [03] 3273-6180, FAX [03] 3241-4999
ken.hashimoto@sankei.co.jp
http://www.sensorexpojapan.com

ビジュアルメディア Expo 2012

期 日 平成 24 年 12 月 5 日 (水)~7 日 (金)
会 場 パシフィコ横浜 (横浜市)
問合先 アドコム・メディア 担当 喜多
TEL [03] 3367-0571, FAX [03] 3368-1519
vmexpo@adcom-media.co.jp

全国高等専門学校第 23 回プログラミングコンテスト

期 日 平成 24 年 10 月 13 日 (土), 14 日 (日)
会 場 大牟田文化会館 (大牟田市)
問合先 有明工業高等専門学校電子情報工学科 松野良信
TEL [0944] 53-8720
p23-office@cc.ariake-nct.ac.jp

Neo Ceramics 2013 「先端セラミックス & 機能性ガラス先進応用
技術展・会議」

期 日 平成 25 年 1 月 30 日 (水)~2 月 1 日 (金)
会 場 東京ビッグサイト (東京都江東区)
問合先 Neo Ceramics 事務局 (ICS コンベンションデザイン内)
TEL [03] 3219-3568, FAX [03] 3219-3628
ceramics@ics-inc.co.jp



本会発行新刊案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス, フォトニクスをはじめ種々の光技術は, 今や社会を支える上でなくてはならない基盤技術である. そして光技術の根幹の一つが光波工学である. 様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し, 光波利用の新しい着想を得たり, 技術分野を切り開いていく上で, 光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが, 極めて重要である.

本書ではその基礎として, 光波を電磁波として捉え, マクスウェルの方程式を土台に, 平面波から光波モードの概念導入までをまとめている. 読者には, 電気系の大学卒業程度の知識を前提とし, 大学院学生, あるいは, 技術分野で活躍する社会人が, これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている.

《内容目次》電磁波としての光波/平面波の反射と透過/多層構造における反射と透過/フーリエ解析/応答とスペクトル/光波と媒質/複屈折/回折/ビーム波/光導波現象, 導波モード/放射モード, その他のモード/種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員, 学生会等の個人会員の方の注文を承ります. 2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい.

一般社団法人 電子情報通信学会

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第4回コミュニケーションとエレクトロニクス国際会議 (ICCE2012)

期 日 2012年8月1日(水)~3日(金)
会 場 ベトナム社会主義共和国 フエ(会場未定)
問合先 NTT アクセスサービスシステム研究所 島田達也
TEL [046] 859-2275
shimada.tatsuya@lab.ntt.co.jp

第8回 SPIE アジア-パシフィックリモートセンシング会議

期 日 2012年10月29日(月)~11月1日(木)
会 場 京都国際会館(京都市)
問合先 同会議実行委員会 委員 水谷耕平
TEL [042] 327-6955, FAX [042] 327-6667
mizutani@nict.go.jp <http://spie.org/ae/>

第44回ストカスティックシステムシンポジウム (SSS '12)

期 日 2012年11月1日(木), 2日(金)
会 場 国土館大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)
問合先 立命館大学工学部電気電子工学科
SSS 組織委員会 Secretary 久保幸弘
TEL [077] 561-5972, FAX [077] 561-2663
ykubo@se.ritsumeiji.ac.jp

国際再生エネルギー研究応用会議 (ICRERA 2012)

期 日 2012年11月11日(日)~14日(水)
会 場 ベストウエスタンプレミアホテル長崎(長崎市)
問合先 長崎大学大学院工学研究科 黒川不二雄
TEL [095] 819-2553, FAX [095] 819-2558
fkurokaw@nagasaki-u.ac.jp

第25回国際超電導シンポジウム (ISS 2012)

期 日 2012年12月3日(月)~5日(水)
会 場 タワーホール船堀(東京都江戸川区)
問合先 国際超電導産業技術研究センター
TEL [03] 3536-5703, FAX [03] 3536-5717

国際パワーエレクトロニクスとドライブシステム会議 (PEDS 2013)

期 日 2013年4月22日(月)~25日(木)
会 場 北九州国際会議場(北九州市)
問合先 福岡大学工学部電子情報工学科 末次正
TEL [092] 871-6631(内線6394)
FAX [092] 865-6031
suetsugu@fukuoka-u.ac.jp

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

人は、どのように感じて知覚へと昇華させ認知するのか

『**感覚・知覚・認知の基礎**』

【監修】乾 敏郎(京都大学) ○定価3990円(本体3800円+税) / A5判・282頁

本書は、感覚・知覚から認知、さらに関連する記憶も含めて体系的に概説したものです。基礎から最新の知見まで歴史を追いながら解説したもので、専門家でなくても読み進められます。

◎このような方におすすめ

- 人の知覚や認知に興味を持ち、この分野の専門家を目指す学生
- ヒューマンインタフェースやコミュニケーション、通信など周辺の技術者・研究者

◆目次◆

明るさと色の感覚/聴覚と音声/触覚と体性感覚/味嗅覚/視覚系の空間周波数特性/運動視/立体視/知覚と記憶における特徴の統合/3D物体の認知/形とイメージ/絵画の知覚・認知/空間のイメージ/身体のイメージ/文字と単語の認知/記憶の分類/記憶の符号化と検索



電子情報通信学会 編

発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641(代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

「理想の追求」
平成24年6月1日(金)～7月13日(金)15時
問合せ キヤノン財団 <http://www.canon-foundation.jp>

——平成24年度東レ科学技術賞及び

東レ科学技術研究助成——

東レ科学振興会から本会宛てに上記候補者の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。なお、東レ科学振興会内の選考において国家的な賞を既に受けている場合は、東レ科学技術賞の授賞対象外となるようですので念のため申し添えます(例えば文化勲章、学士院賞など)。

東レ科学技術賞 候補者の対象 本会に関する分野で、下記に該当する方。

(1)学術上の業績が顕著な方 (2)学術上重要な発見をした方 (3)効果大きい重要な発明をした方 (4)技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方、1件につき賞状、金メダル及び賞金500万円(2件前後)

東レ科学技術研究助成 候補者の対象 本会に関する分野で国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者。(原則として推薦時45才以下)総額1億3,000万円、1件最高3,000万円程度まで計10件程度。

本会からの候補者推薦可能件数 東レ科学技術賞 2件以内
東レ科学技術研究助成 2件以内

推薦方法 所定の用紙に必要な事項記載の上、平成24年8月17日(金)までに本会事務局サービス部調査課宛て提出のこと。本会からの推薦候補者は理事会で選考し会長名で推薦します。所定の用紙送付希望は上記調査課宛て返信用アドレス(そのまま貼れる形で)を明記の上郵送またはFAXで申し出るか、下記HPからダウンロード(6月中旬から可)して下さい。

問合せ 東レ科学振興会
TEL [047] 350-6103, FAX [047] 350-6082
<http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

——キヤノン財団第4回(2012年)研究助成——

●研究助成プログラム「産業基盤の創生」

情報・通信、エレクトロニクス、機械・精密、オプティクス・フォトンクス、応用化学、応用物理、ナノテクノロジー・材料などの既存の分野だけでなく、医工連携などの融合分野や新興分野における新たな挑戦的な研究に助成。

助成金：新規採択総額約2億円。1件当たり2,000万円以下。

●研究助成プログラム「理想の追求」

大きなイノベーションを起こすことが期待される、独創的で先駆的な分野融合型研究プロジェクトに助成。2012年募集課題は「海」に関する研究。

助成金：新規採択総額約1億円。1件当たり5,000万円程度。

応募期間 「産業基盤の創生」

平成24年6月1日(金)～29日(金)15時

受賞候補者募集等

——第10回新機械振興賞——

対象 独創性、革新性及び経済性に優れた機械工業技術に係る研究開発及びその成果の実用化により、新製品の製造、製品の品質・性能の改善または生産の合理化に顕著な業績を上げたと認められる企業等及び研究開発担当者とする。

ただし、当該研究開発は、おおむね過去3年以内に成立したものに限る。

表彰 特に優秀と認められるものについて経済産業大臣賞及び中小企業庁長官賞の授与を申請する。その他の受賞者に対し、会長名の賞状を贈呈。

賞金 経済産業大臣賞：80万円、中小企業庁長官賞：50万円
機械振興協会会長賞：30万円

推薦期間 平成24年4月2日(月)～5月14日(月)

問合せ 機械振興協会技術研究所
TEL [042] 475-1168, FAX [042] 476-4870
prize@tri.jspmi.or.jp <http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/>

——第3回(平成24年度)日本学術振興会 育志賞——

趣 旨 日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年11月に御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設しました。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

受賞 受賞数は16名程度とし、受賞者には、賞金、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈。

対象者 平成24年4月1日現在34歳未満であり、次に該当する者であって、平成24年5月1日において我が国の大学院博士後期課程に在学している者

・大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者
また、海外からの留学生で大学院博士後期課程に在学する者についても、推薦することができます。

受付期間 平成24年6月13日(水)～15日(金)(必着)

その他 推薦書等は、所定の様式を使用して下さい。なお、推薦書等はHPよりダウンロードすることができます。

問合せ 日本学術振興会総務部 研究者養成課「日本学術振興会育志賞」担当
TEL [03] 3263-0912, FAX [03] 3222-1986
<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

——宇宙科学振興会若手・シニア研究者の
国際学会参加費用の支援——

支援対象 宇宙物理学（地上観測を除く）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者（当該年度4月2日で35歳以下）またはシニアの研究者（当該年度4月2日で63歳以上で定年退職した者）で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

助成金額 約10～25万円程度/件、10～15件程度/年

受付時期 随時受け付けます。（7月1日以降の出発者：5月15日まで。選考は年3回）

問合せ先 宇宙科学振興会事務局 TEL〔042〕751-1126
admin@spss.or.jp <http://www.spss.or.jp>

——宇宙科学振興会による国際学会開催の支援——

助成対象 国内の学術団体（研究所、大学等）で、宇宙物理学（地上観測を除く）及び宇宙工学に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

助成金額 30～50万円程度/件、5～6件程度/年

受付時期 随時受け付けます。申請書の提出は会議開催の3か月以上前とする。

問合せ先 宇宙科学振興会事務局 TEL〔042〕751-1126
admin@spss.or.jp <http://www.spss.or.jp>

——平成24年度（第2回）RIEC Award——

趣 旨 電気情報通信分野の学術研究の発展に顕著な貢献があり、将来にわたり、当該分野の発展に寄与することが期待される優秀な若手研究者を顕彰することで、当該分野の発展を図ることを目的としています。特に本賞は、大きな賞の受賞経験のない、将来性の高い若手研究者を対象としています。

対象分野 電気情報通信に関連する、広い意味での電気工学、電子工学、情報工学、通信工学各分野。

受賞条件 (1) 関連分野で、将来的な発展が期待できる顕著な研究業績をあげた者。

(2) 平成24年4月1日現在45才以下であること。

推薦方法 (1) 封筒には「RIEC Award 申請書類在中」と朱書き下さい。

(2) 候補者の推薦は他薦によるものとし自薦不可。

(3) 必要書類は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.riec.tohoku.ac.jp/riecaward/2012/shinsei.doc>

(4) 提出期限は、平成24年7月27日（金）必着

受賞等 受賞者は毎年度1名とし、受賞者には賞状、賞牌及び副賞として賞金20万円を贈呈。

問合せ先 東北大学電気通信研究所庶務係
TEL〔022〕217-5420 shomu@riec.tohoku.ac.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●東京農工大学

公募人員 大学院工学研究院先端情報科学部門 テニュアトラック准教授2名

専門分野 情報科学・情報工学

応募資格 博士の学位及び、博士の学位取得後10年以内

着任時期 平成24年10月1日、または平成24年度内のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年5月14日（月）必着

問合せ先 先端情報科学部門教授 金子敬一

TEL & FAX〔042〕388-7489, k1kaneko@cc.tuat.ac.jp

詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>

●明星大学

公募人員 総合理工学科（電気電子工学系）准教授または助教1名

専門分野 電気電子工学関連の交通工学あるいは航空宇宙工学

応募締切 平成24年5月31日（木）必着

問合せ先 総合理工学科電気電子工学系 水野文夫

TEL〔042〕591-7157, mizuno@ee.meisei-u.ac.jp

詳細 <http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/>

●岡山大学

公募人員 助教1名

所 属 自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座

専門分野 データマイニング、Web関連技術、音声情報処理等

応募資格 着任時に博士の学位を有しているか取得見込みであり、心身共に健康で、教育・研究に意欲的な方

着任時期 平成24年9月1日以降のできる限り早い時期

応募締切 平成24年6月1日（金）必着

問合せ先 計算機科学講座 阿部匡伸

TEL〔086〕251-8175, abe@cs.okayama-u.ac.jp

詳細 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>

●大阪工業大学

公募人員 工学部電子情報通信工学科 特任教授または特任准教授1名（最長5年の有期雇用、再任・専任の可能性あり）

専門分野 通信工学（電気磁気学、電磁波工学、情報通信基礎、電子情報通信実験、卒業研究等を担当）

応募資格 博士の学位、理論と実務に明るく教育に熱意あること

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年6月11日（月）必着

問合せ先 電子情報通信工学科長 矢野満明

TEL〔06〕6954-4313, yano@elc.oit.ac.jp

詳細 <http://www.oit.ac.jp/japanese/saiyo/download.html>

●大阪工業大学

公募人員 工学部電気電子システム工学科 特任准教授または特任講師いずれか1名
 専門分野 実践的なハードウェアまたは回路設計, アナログ電子回路に関する研究分野
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年6月11日(月) 必着
 問合先 学科長 長田昭義, nagatak@ee.oit.ac.jp
 詳細 http://www.oit.ac.jp/www-ee/saiyo/saiyo2013.html

●大阪工業大学

公募人員 下記①, ②は各1名, ③は4名(計6名)
 専門分野 ①情報基盤システム, ソフトウェア工学
 ②情報デザイン分野
 (Webデザイン, メディアデザイン)
 ③演習授業補助
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年6月11日(月) 必着
 公募詳細照会先 情報科学部事務室
 TEL [072] 866-5301, jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp
 詳細 ホームページ参照 http://www.oit.ac.jp/

●東北学院大学

公募人員 工学部電子工学科 教授, 准教授または講師1名
 専門分野 電子回路を基礎としたエレクトロニクス応用分野
 応募資格 博士の学位を有し, 学部と大学院の教育・研究に対し熱意と意欲がある方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年6月20日(水) 必着
 問合先 工学部電子工学科長 原 明人
 TEL & FAX [022] 368-7282
 akito@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp
 詳細 http://www.tohoku-gakuin.ac.jp

●青山学院大学

公募人員 理工学部電気電子工学科 教授または准教授2名
 専門分野 電気電子材料, 電気物性, 光・半導体デバイス, 磁気デバイス関連分野
 応募資格 着任時に博士の学位を有し, 学生の教育に熱意があり, キリスト教に理解のある方. 電気電子工学分野専攻の方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年6月29日(金) 必着
 問合先 kobo.agu@ee.aoyama.ac.jp
 詳細 理工学部 HP 参照 http://www.agnes.aoyama.ac.jp/

●早稲田大学

公募人員 理工学術院 電気・情報生命工学科及び電気・情報生命専攻 教授または准教授1名
 専門分野 電子・電気材料, 電子・電気物性に関連する分野
 担当講義 電磁気学及び専門に関する科目
 応募資格 博士の学位を有すること. 国籍は問わない
 着任時期 平成25年4月以降できるだけ早い時期
 応募締切 平成24年8月20日(月) 必着
 問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和
 TEL [03] 5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp
 詳細 http://www.eb.waseda.ac.jp/top/news/20120321_recruit.html

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 7月号掲載分 平成24年5月25日(金) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので, 併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

進化を続ける医療分野の情報化のすべてがわかる

『医療情報システム』

【監修】黒田知宏(京都大学) ○定価3150円(本体3000円+税)/A5判・222頁

本書は、医療分野で進められているさまざまな電子化・情報化について、システム全般の基礎から応用までをていねいに概説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図などを多く掲載しています。

◎このような方におすすめ

- 医療情報システムに興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- 医療情報関連に携わる方

◆目次◆

病院情報システム/医事会計と病院経営/医療業務とオーダエントリー/記録情報の管理/端末群とネットワーク/物流管理への貢献/医療安全への貢献/部門の情報管理/診療記録の活用/診療画像情報の活用/遠隔医療/医療情報の共有と活用/医療情報の未来



電子情報通信学会 編

発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

—平成 24 年度会費お払込みのお願い—

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みをお願いしておりますが、4 月中旬で入金確認がとれない方につきましては、4 月末に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

—転勤・引越し及び

学生員申請の届出について—

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいませようお願い致します。

また、4 月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

—平成 24 年 5 月号及び 6 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ—

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

5月号 [和文] 暗号と情報セキュリティ実装技術

（通信ソサイエティ）

5月号 [英文] Frontiers of Information Network Science

6月号 [英文] Towards Management for Future Networks and Services

（エレクトロニクスソサイエティ）

5月号 [英文] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

6月号 [英文] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies

（情報・システムソサイエティ）

5月号 [和文] インターネット技術とその応用

5月号 [英文] *Recent Advances in Multimedia Signal Processing Techniques and Applications—Special Section on APSIPA ASC 2010—

* Formal Approach

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——「本会出版物に掲載された論文等の著作権の利用申請基準」の一部改正について——

著作権管理委員会

著作者あるいは著者所属機関が、本会論文誌に掲載された論文を所属機関のホームページ等に掲載して公開する場合、これまで、論文誌発行後6か月間の公開制限を設けておりましたが、このたび公開時期の制限を撤廃致しました。

これにより、著作者の所属機関が運営する Web ページであれば、一定条件を満たすことを前提に発行後ただちに論文の掲載が可能となりました。

一定条件の詳細につきましては下記の表「利用申請基準」を御参照下さい。

(利用申請基準は、下記 URL 『著作権規程』と解説』の末尾にも掲載されています。)

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/chosakukenkitei.html>

本会出版物に掲載された論文等の著作権の利用申請基準

＜利用にあたっての基本方針＞											
以下の表は、①発行後による利用であること、②非営利目的による利用であること、③本会の利益を不当に侵害しない範囲における利用であること、を前提とする。営利目的の場合は、すべて利用申請が必要。営利目的の場合の諾否については本会著作権管理委員会において審議する。また著作権法（第30条（私的使用のための複製）、32条（引用）、35条（教育機関における複製）など）で認められている利用の範囲であれば、いずれの場合も利用申請は不要である。											
事例	申請者	利用対象	利用先媒体	学会への書面による利用申請	論文誌（注5）		会誌、大会講演論文集等		技術研究報告		
					利用可能時期	不要であること の条件	利用可能 時期	不要であること の条件	利用可能 時期	不要であること の条件	
1	著作者	自分の論文全文	自分個人のサーバ（注1）、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	右記の条件を満たせば不要（注2）	発行後	A, B, C, E	発行後	A, B, C	発行後	現在検討中	
2			所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体								
3			紙媒体								
4		自分の論文の一部（図面など）	自分個人のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行後（注3）	A, C	発行後（注3）	A, C	発行後（注3）	現在検討中	
5			所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体								
6			紙媒体								
7	著作者の所属機関	著作者の論文全文	所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	右記の条件を満たせば不要	発行後	A, B, C, D, E	発行後	A, B, C, D	発行後	現在検討中	
8			紙媒体								
9		著作者の論文の一部（図面など）	所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行後	A, C, D	発行後	A, C, D	発行後	A, C, D	現在検討中
10			紙媒体								
11	著作者または著作者の所属機関以外の第三者	論文全文	自機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	要	発行日から6か月後	(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, B, C, D, E, F	発行後	(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, B, C, D, F (注4)	発行後	現在検討中	
12			紙媒体		発行後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F
13		論文の一部（図面など）	自機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行日から6か月後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F (注4)
14			紙媒体		発行後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F

条件A 権利表示（例 copyright © 2012 IEICE）
 条件B 出版社版 PDF（発行された紙版をスキャンで作成したもの含）の掲載。著者最終版は不可。
 条件C 出所の明示（例 著作者名、書名（題号）、雑誌名、巻、号、頁、発行年など）
 条件D 著作者の了解
 条件E IEICE Transactions Online トップページへのリンク
 条件F 許諾番号の表示

注1：自分個人のサーバ：著作者がアップロードや削除を他の人の同意なしに行えるサーバ。大学研究室や企業の研究室のサーバは機関のサーバとみなす。
 注2：事例1～6で、論文を共同執筆の場合、利用後にトラブルが発生しないよう著作者間での連絡をお願いしたい。
 注3：事例4、5、6の場合については、発行前のもので許諾することがある。
 注4：会誌並びに大会講演論文集については、それぞれ法人用DVD、CD-ROMを発行している。それらを購入の上同封の「同意書」を本会事務局まで送付した場合は、機関においてローカルPC上での利用、またはネットワーク（LAN）上でのファイル共有による閲覧が可能。
 注5：“IEICE Electronics Express”, “Nonlinear Theory and its Applications, IEICE”, “IEICE Communications Express”含む。

——ネットワーク制御システムの基礎理論と
応用小特集号（英文論文誌 A）論文募集——

ネットワーク制御システムの基礎理論と
応用小特集編集委員会

ネットワーク制御システムは、ネットワークを介して環境をセンシングしターゲットの制御を行うシステムであり、ファクトリーオートメーションやスマートグリッドなどへの応用が期待されています。各種アプリケーションにおいて安定した制御を実現するためには、通信ネットワークの高信頼化、遅延耐性、スケラビリティなどが重要となり、従来の人を中心とした情報通信とは異なる新たな制御通信技術の構築が必要となります。このような制御と通信の学問を融合したネットワーク制御に関する研究開発を促進するために、高信頼制御通信（RRRC）時限研究専門委員会では、他の学会や研究専門委員会と協力して研究会及び大会シンポジウムなどを開催してきました。これらのトレンドを鑑み、ネットワーク制御システムに関する基礎理論からスマートグリッドなどの具体的なアプリケーションまでをターゲットとした本論文小特集号（平成 25 年 5 月号）を企画致します。

1. 対象分野

ネットワーク制御理論, 高信頼制御通信理論, 無線制御理論, 大規模制御通信ネットワーク, 遅延耐性ネットワーク, 環境センシング, 無線センサネットワーク, 制御通信プロトコル, 分散制御アルゴリズム, 制御通信ネットワークトポロジー, ユーティリティネットワーク, ファクトリーオートメーション, エネルギーマネジメントシステム, 遠隔制御システム, スマートグリッド, スマートシティ, グリーン ICT, その他ネットワーク制御に関するトピックス

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文執筆と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度（最大 4 ページ）とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj_ess.html) に従って下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。論文掲載の場合、別刷代をお支払い頂きますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 8 月 10 日（金）必着

（copyright transfer, confirmation sheet 全て）

4. 投稿方法

電子投稿を推奨します。以下の手順で御投稿下さい。なお、電子ファイルの作成や投稿論文管理システムの利用が困難な場合は、下記の間合せ先まで御相談下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Transactions”で [Special-EA] Reliable Robust Radio Control Technology を選択して下さい。[Regular-EA] Fundamentals を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 印刷した Confirmation Sheet of Manuscript Registration 及び Copyright Transfer and Page Charge Agreement に必要事項を記入したものを論文投稿締切日である平成 24 年 8 月 10 日（金）（必着）までに下記送付先に到着するよ

うに送付して下さい。郵送、スキャン PDF の電子メールのいずれの方法でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。なお郵送の場合は、封筒に「ネットワーク制御システムの基礎理論と応用」と朱記して下さい。

5. 書類送付先及び問合せ先

阪口 啓 東京工業大学電気電子工学専攻
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1
TEL(03)5734-3910 E-mail:sakaguchi@mobile.ee.titech.ac.jp

6. 小特集編集委員

委員長 片山正昭（名大）
幹事 阪口 啓（東工大）
委員 田中宏和（東芝）、中嶋信生（電通大）、福永 茂（OKI）、
迫田和之（ソニー）、三浦 龍（NICT）、竹林知善（富士通）、
島田修作（横河電機）、石井秀明（東工大）、川崎邦弘（鉄道総研）、
貞清一浩（清水建設）、原 晋介（阪市大）

——Special Section on Advances and Applications in Nonlinear Time Series Methods——

We are pleased to announce a Special Section (SS) of the IEICE's new journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE," to be published in April 2013. The major part of this SS will focus on recent progress on both methodological advances in and novel applications of nonlinear time series methods. The topics of interest within the scope of this SS include, but are not limited to, the following areas :

- Nonlinear time series methods for scalar time series: embedding, invariants and non-stationarity
- Embedding and reconstruction
- Multivariate recordings—causality and correlation
- Novel network and recurrence based methods
- Complex networks, complex systems and time series
- Applications: climate, physiology and medicine, finance, physical processes

Papers submitted to this SS will be peer-reviewed under the handling of the editorial committee of the SS. The deadline of the paper submission is July 10, 2012. Prospective authors are requested to carefully follow the submission process described below :

(1) Submit a paper using the IEICE Web site (https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA).

Authors should choose “[Special-EN] Nonlinear Time Series Methods” as a “Type of Issue (Section)/Transactions” on the line screen. Please do not choose “[Regular-EN]”.

(2) Send “Copyright Transfer and Article Charge Agreement” and “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” by

1. E-mail, FAX or postal mail to the following address :
Tomomichi Nakamura
Graduate School of Simulation Studies, University of Hyogo
7-1-28 Minatojima-minamimachi, Chuo-ku, Kobe, Hyogo
650-0047, Japan
E-mail : nolta.timeseries@gmail.com
Fax : +81-78-303-1985 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges until 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE 60,000 JPY
Otherwise 65,000 JPY

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by July 10, 2012. We cannot start the review process without them, even if we receive their manuscripts. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following site : <http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if accepted, authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications, page charge cannot normally be waived.

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership :

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

- Guest Editors :
Michael Small The University of Western Australia
Tomomichi Nakamura University of Hyogo
- Advisory Editor :
Yoshifumi Nishio Tokushima University
- Guest Associate Editors :
Michael Tse Hong Kong Polytechnic University
Yoshito Hirata Tokyo University
Dimitris Kugiumtzis Aristotle University of Thessaloniki
Max Little MIT Media Lab
David Walker Melbourne University
Xiaoke Xu Hong Kong Polytechnic University
Jie Zhang Fudan University

——フォーマルアプローチ小特集号 (英文論文誌 D) 論文募集——

フォーマルアプローチ小特集編集委員会

フォーマルアプローチ(形式手法・形式技法・形式理論)は、情報システムの設計開発における信頼性向上の鍵となる重要な基盤です。これまで、設計対象のモデル化、要求分析と仕様記述、コード自動生成、テストと検証、保守と再利用などに関する技術と理論的知見を生み出してきました。近年の情報技術の進展に伴う対象領域の拡大に伴い、フォーマルアプローチは従来にも増して多様な分野で用いられるようになり、ますます発展しています。

本小特集は、情報システムの設計・運用におけるフォーマルアプローチについて、基礎理論から応用まで、幅広い研究を対象にしています。個別の対象領域に特化したケーススタディから、分野横断的な手法や理論まで、様々な方面から、フォーマルアプローチ研究に携わる若手研究者を奨励するとともに、この分野の研究が更に発展することを目指しております。

奮って御投稿下さいますよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

主な対象は以下のとおりですが、これに限らず、「情報システム及びそれを取り巻く環境を定式化した上で、そのシステムの振舞いの解析や性質の導出を厳密に行い、設計・運用に関わる種々の問題の解決を図る」ことを目指した論文を広く募集します。

- 基礎理論：要求、仕様、検証、静的・動的解析等のフォーマ

ルアプローチに関する理論。

- 方法論：軽量フォーマルメソッド、モデルベース設計、詳細化等のフォーマルアプローチに関する方法論。
- 言語：仕様記述言語、モデリング言語、モデルベースプログラミング言語、ハードウェア記述・検証言語。
- ツール：モデル検査器、定理証明器、静的・動的解析器。
- 応用：組込みシステム、ハイブリッドシステム、社会システム(内部統制等)等の形式解析、コンコリックテスト等のテスト技法、形式仕様からのコード生成。

2. 論文の執筆と取扱い

論文(一般論文)、レター、及びサーベイ論文を募集します。投稿規定等は電子情報通信学会の英文誌の規定と同じです。以下の規定を御参照下さい。

"The Information for Authors" (IEICE Transactions on Information and Systems)

http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html

3. 主なスケジュール

論文投稿締切	平成 24 年 7 月 18 日(水) 23 : 59 JST
第一回判定通知予定	平成 24 年 9 月 14 日(金)
初回修正締切	平成 24 年 11 月 13 日(火)
最終判定通知予定	平成 24 年 12 月 22 日(土)
発行予定	平成 25 年 6 月号

4. 投稿方法

本小特集では、電子投稿のみを受け付けます。

手順 1 : 論文を https://review.ieice.org/regist_e.aspx から投稿して下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。投稿の際には"Type of Section (Issue)/Transactions" "[Special ED] Formal Approach" を選択して下さい。データ登録時点で論文原稿のアップロードができない場合、「郵送による投稿」を選択して登録を一旦完了させて下さい。論文原稿のアップロードは、登録後に送付される電子メールに記載の URL にアクセスして行って下さい。

手順 2 : 仮登録後に作成される"Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" に記入、署名し、論文投稿締切日までに下記問合せ先まで電子メールまたは郵便にてお送り下さい(電子メールが望ましいです)。郵送の場合、封筒に『フォーマルアプローチ特集』と記載して下さい。

5. 小特集編集委員会

委員長 緒方和博(北陸先端大)
幹事 岡野浩三(阪大)、磯部祥尚(産総研)、土屋達弘(阪大)、結縁祥治(名大)
委員 岩沼宏治(山梨大)、河辺義信(愛知工大)、小林孝一(北陸先端大)、坂本比呂志(九工大)、寺内多智弘(名大)、中村正樹(富山県立大)、蓮尾一郎(東大)、浜口清治(阪大)、廣川直(北陸先端大)

6. 送付及び問合せ先

本特集のホームページ :

(和文) <http://www.jaist.ac.jp/~ogata/FA/index-j.html>

(英文) <http://www.jaist.ac.jp/~ogata/FA/>

緒方和博 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
〒923-1252 能美市旭台 1-1

FAX [0761] 51-1149 E-mail : fa-submit@jaist.ac.jp

論文特集号論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
アナログ回路技術小特集	・24年5月25日(金) ・英文誌 A 25年2月号	古田雅則：(株)東芝研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリー TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806 E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp	3月号	A分冊 3～5月号 EA分冊 3～5月号
ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集	・24年7月6日(金) ・和文誌 A 25年4月号	中西 透：岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻情報通信システム学講座 TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255 E-mail: nakanisi@cne.okayama-u.ac.jp	4月号	A分冊 4～6月号
Special Section on Advances and Applications in Nonlinear Time Series Methods	・24年7月10日(火) ・NOLTA 25年4月号	Tomomichi Nakamura: Graduate School of Simulation Studies, University of Hyogo FAX [078] 303-1985 E-mail: nolta.timeseries@gmail.com	5月号	
ネットワーク制御システムの基礎理論と応用小特集	・24年8月10日(金) ・英文誌 A 25年5月号	阪口 啓：東京工業大学電気電子工学専攻 TEL [03] 5734-3910 E-mail: sakaguchi@mobile.ee.titech.ac.jp	5月号	A分冊 5～7月号 EA分冊 5～7月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ネットワーク社会の更なる発展を支える光通信技術特集	・24年6月11日(月) ・和文誌 B 25年3月号	可見淳一：NTT アクセスサービスシステム研究所 TEL(046)859-2196 E-mail:kani.junichi@lab.ntt.co.jp 宮田英之：富士通研究所ネットワークシステム研究所 TEL(044)754-2636 E-mail:hmiyata@jp.fujitsu.com	1月号	B分冊 1～3月号 EB分冊 1～3月号
ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム小特集	・24年5月11日(金) ・英文誌 B 25年1月号	鈴木敏明：日立製作所中央研究所ネットワークシステム研究部 TEL [045] 860-2177 E-mail: nv + paper_1@mail.ieice.org	2月号	B分冊 2～4月号 EB分冊 2～4月号
通信技術の進展を支える学生論文特集	・24年5月24日(木) ・和文誌 B 25年2月号	佐波孝彦：千葉工業大学情報工学科 TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549 E-mail: saba@m.ieice.org	2月号	B分冊 2～4月号
生活の質を向上させる通信サービスの品質小特集	・24年5月31日(木) ・英文誌 B 25年2月号	大崎博之：大阪大学大学院情報科学研究科 TEL [06] 6879-4551, FAX [06] 6879-4554 E-mail: special-eb-qos@ispl.jp	3月号	B分冊 3～5月号 EB分冊 3～5月号
多様化する電磁環境におけるEMC対策設計・評価技術特集	・24年7月19日(木) ・和文誌 B 25年4月号	馬杉正男：立命館大学理工学部電気電子工学科 TEL [077] 599-4192 E-mail: masugi@fc.ritsumeit.ac.jp	4月号	B分冊 4～6月号

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
進化するマイクロ波・ミリ波フォトンクス技術小特集	・24年5月31日(木) ・英文誌 C 25年2月号	戸田裕之：同志社大学理工学部電子工学科 TEL [0774] 65-6356, FAX [0774] 65-6801 E-mail: htoda@mail.doshisha.ac.jp	2月号	C分冊 2～4月号 EC分冊 2～4月号
SQUID とその応用小特集	・24年6月30日(土) ・英文誌 C 25年3月号	立木 実：独立行政法人物質・材料研究機構環境・エネルギー材料部門 TEL [029] 859-2315, FAX [029] 859-2301 E-mail: TACHIKI.Minoru@nims.go.jp	3月号	C分冊 3～5月号 EC分冊 3～5月号

分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開小特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年6月30日(土) 英文誌 C 25年3月号 	中村二郎：NTT 環境エネルギー研究所 TEL [0422] 59-2280 E-mail：nakamura.jiro@lab.ntt.co.jp	3月号	C分冊 3～5月号 EC分冊 3～5月号
集積回路設計技術に関する小特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年7月23日(月) 英文誌 C 25年4月号 	石黒仁揮：慶應義塾大学理工学部電子工学科 TEL [045] 566-1815, FAX [045] 566-1529 E-mail：ishikuro@elec.keio.ac.jp	4月号	C分冊 4～6月号 EC分冊 4～6月号

◎情報・システムソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
顔の知覚と認知小特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年6月10日(日) 英文誌 D 25年3月号 	鈴木健嗣：筑波大学システム情報系 TEL [029] 853-5761, FAX [029] 853-5761 E-mail：kenji@ieee.org	12月号	D分冊 12～2月号 ED分冊 12～2月号
学生論文特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年6月3日(日) 和文誌 D 25年3月号 	一般社団法人電子情報通信学会和文論文誌 D 担当 TEL [03] 3433-6692 E-mail：wabun-d1@ieice.org	1月号	D分冊 1～3月号
医用画像特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年6月15日(金) 和英文誌 D 25年4月号 	【和文誌 D】 目加田慶人：中京大学情報理工学部 TEL [0565] 46-6909, FAX [0565] 46-1299 E-mail：y-mekada@sist.chukyo-u.ac.jp 菅 幹生：千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻 TEL [043] 290-3083, FAX [043] 290-3083 E-mail：mikio.suga@faculty.chiba-u.jp 【英文誌 D】 諸岡健一：九州大学大学院システム情報科学研究院 TEL [092] 802-3615, FAX [092] 802-3615 E-mail：morooka@ait.kyushu-u.ac.jp	2月号	D分冊 2～4月号 ED分冊 2～4月号
Special Section on the Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures	<ul style="list-style-type: none"> 24年5月28日(月) 英文誌 D 25年2月号 	Eiji Kawai：National Institute of Information and Communications Technology TEL [03] 3510-6271, FAX [03] 3272-3062 E-mail：ieice-ed2013@is.saga-u.ac.jp	3月号	D分冊 3～5月号 ED分冊 3～5月号
データ工学と情報マネジメント特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年7月2日(月) 和英文誌 D 25年5月号 	【和文誌 D】 鈴木伸崇：筑波大学図書館情報メディア系 E-mail：nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp 中島伸介：京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科 E-mail：nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp 【英文誌 D】 春本 要：大阪大学大学院工学研究科 TEL [06] 6879-4221, FAX [06] 6889-4219 E-mail：harumoto@eng.osaka-u.ac.jp	3月号	D分冊 3～5月号 ED分冊 3～5月号
フォーマルアプローチ小特集	<ul style="list-style-type: none"> 24年7月18日(水) 英文誌 D 25年6月号 	緒方和博：北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 FAX [0761] 51-1149 E-mail：fa-submit@jaist.ac.jp	5月号	D分冊 5～7月号 ED分冊 5～7月号

通信ソサイエティオンラインジャーナル

IEICE Communications Express (ComEX)

創刊のお知らせ

IEICE Communications Express 編集委員会
編集委員長 菊間信良

■ 創刊の主旨

英文論文誌 B では、毎年、数多くのレターが投稿されております。レターを投稿された著者は、迅速な研究成果の公表と優先性の確保を主たる目的とされているものと思えます。

そのニーズに応え、更なる掲載までの期間の短縮を図るため、通信ソサイエティでは 2012 年 6 月より、ウェブを用いた英文オンラインジャーナル IEICE Communications Express (ComEX) を創刊することとなりました。ComEX では、採録が決定したレターは、校正後、随時掲載致します。したがって、迅速な成果公開が可能です。なお、ComEX 創刊に伴い、2012 年 5 月 31 日付で英文論文誌 B のレター（研究速報）の投稿受付は停止致します。

ComEX では、エレクトロニクスソサイエティのオンラインジャーナル IEICE Electronics Express (ELEX) と同様に文字数、図表点数に制約を加えたフォーマットを採用した点が、英文論文誌 B のレターからの大きな変更点となります。ただし、著者の皆様に、新規性、有効性の主張点を簡潔に記述して頂くことで、よりスピーディで正確な査読・編集作業が実現できるものと考えております。

しばらくの間、会員/非会員にかかわらず閲覧可能となります。また、2013 年 5 月 31 日までに投稿頂いたものに対しては掲載料を半額とします。皆様からの最新の研究成果の御投稿をお待ちしております。

対象分野 ▶

英文論文誌 B が網羅する全ての分野

スケジュール ▶

投稿受付開始：2012 年 3 月 1 日

ComEX 創刊：2012 年 6 月 1 日

問合せ先 ▶

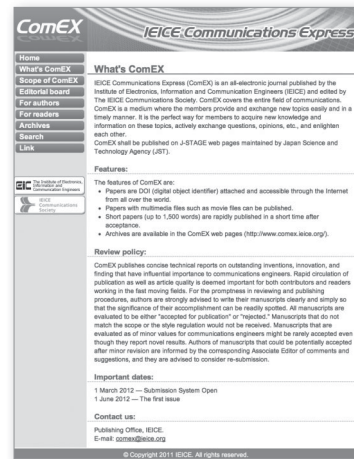
電子情報通信学会編集出版部 (comex@ieice.org)

■ IEICE Communications Express 編集委員会

編集委員長：菊間信良（名工大）

編集副委員長：山田寛喜（新潟大）、太田能（神戸大）

編集委員：大槻知明（慶大）、上山憲昭（NTT）、関口高志（三菱）、関屋大雄（千葉大）、関谷勇司（東大）
太郎丸真（福岡大）、長谷川幹雄（東京理科大）、原井洋明（NICT）、萬代雅希（上智大）
藤元美俊（福井大）、松本隆太郎（東工大）、米永一茂（NTT）、Jian Yang（清華大）



ComEX ウェブサイト
(<http://www.comex.ieice.org/>)



ComEX 原稿サンプル